

人権に関する意識調査報告書

平成 31 年 3 月

赤 磐 市
赤磐市教育委員会

「人権に関する意識調査報告書」の刊行に当たって

赤磐市における人権教育・啓発の推進につきまして、平素より多大な御支援御協力をいただき、心より感謝いたしております。

「人権に関する意識調査報告書」は、赤磐市人権教育・啓発推進計画の基本方針をより具体的に計画し推進させる際の有力な資料として、人権に関する市民意識の現状を把握し、今後の人権施策を総合的・効果的に推進する上での参考とするため実施した調査結果を取りまとめたものです。

この報告書をできるだけ多くの皆様に御覧いただき、今後の人権教育・啓発のあり方について、皆様御自身のお考えを深めていただくきっかけにいただければ幸いです。

平成31年3月

赤磐市・赤磐市教育委員会

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	4
2	調査項目	4
3	調査方法	4
4	回収結果	4
5	回収の属性	4
6	報告書の見方	4

II 調査結果

1	人権全般に対する意識について	
(1)	基本的人権に関する知識	5
(2)	人権尊重社会に関する意識	6
(3)	回答者自身の人権に関する意識	7
(4)	将来が人権尊重社会になるかどうかに関する意識	8
(5)	差別や偏見に関する意識	9
(6)	人権の学習に関する意識	10
(7)	人権の学習を経験した回答者自身の変容	11
(8)	個人の考えや生き方の重視に関する意識	13
2	人権問題への対応について	
(1)	人権課題に対する関心	14
(2)	差別や人権侵害の経験	17
(3)	差別や人権侵害の内容	18
(4)	人権問題解決のための取り組みに関する意識	20
(5)	人権問題解決のための回答者自身の方策に関する意識	22
(6)	他の人の人権を尊重することの有無に関する意識	23
(7)	他の人の人権を侵害したことの有無に関する意識	24
(8)	人権を話題にすることの有無に関する意識	25
(9)	人権問題解決のための方策に関する意識	26
(10)	人権問題解決のための効果的な教育・啓発活動に関する意識	28
3	赤磐市の人権に対する取り組みについて	
(1)	赤磐市人権教育・啓発推進計画の周知度	30
(2)	赤磐市男女共同参画基本計画の周知度	31
(3)	赤磐市の実施する人権教育・啓発事業への参加の有無	32
(4)	赤磐市の実施する人権教育・啓発事業へ参加しなかった理由	33
(5)	市内全戸配布の人権カレンダー活用の有無	34
(6)	人権の作品募集・表彰式・作品展開催などに関する事業の周知度	35
(7)	人権尊重のために心がけるべき行動指針に関する意識	36
4	さまざまな人権課題の意識や考え方について	
(1)	女性に関する人権上の問題点	38

(2)	女性の人権を尊重するために必要な方策	40
(3)	子どもに関する人権上の問題点	42
(4)	子どもの人権を尊重するために必要な方策	44
(5)	高齢者に関する人権上の問題点	46
(6)	高齢者の人権を尊重するために必要な方策	48
(7)	障がいのある人に関する人権上の問題点	50
(8)	障がいのある人の人権を尊重するために必要な方策	52
(9)	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律	54
(10)	同和問題に関する人権上の問題点	55
(11)	同和問題を解決するために必要な方策	57
(12)	性的少数者に関しての人権問題	59
(13)	同和問題を解決するために必要な方策	61
5	その他	63

Ⅲ 資料編

1	人権に関する意識調査票	80
---	-------------	----

I 調査の概要

1 調査の目的

社会状況の急速な変化に伴って新たな人権課題が生まれ、市民の人権意識も変化していると考えられる。そこで、前回平成 25 年度の意識調査の結果と比較しながら、人権問題に関する市民の意識について状況を把握し、今後の人権施策を総合的・効果的に推進するための参考資料とする。

2 調査項目

- (1) 人権全般に対する意識について (8 問)
- (2) 人権問題への対応について (10 問)
- (3) 赤磐市の人権に対する取り組みについて (7 問)
- (4) さまざまな人権課題の意識や考え方について (13 問)
- (5) その他 (1 問)

3 調査方法

- (1) 調査地域 赤磐市全域
- (2) 調査対象 無作為に抽出した 18 歳以上の男女 2,200 人
- (3) 調査方法 郵送配付・郵送回収
- (4) 実施時期 平成 30 年 8 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日

4 回収結果

単位：人、%

調査票発送数	転居等による返却	実調査対象者数	有効回収者数	有効回収率
2,200	4	2,196	694	31.6

5 回収の属性

(1) 性別 単位：人、%

性別	人数	割合
男性	306	44.1
女性	386	55.6
性別不明	2	0.3
計	694	100.0

(2) 年齢別(平成 30 年 4 月 1 日現在) 単位：人、%

年齢別	発送人数	回収人数	回収割合
18～19 歳	100	18	2.6
20～29 歳	350	56	8.1
30～39 歳	350	82	11.8
40～49 歳	350	91	13.1
50～59 歳	350	116	16.7
60～69 歳	350	158	22.8
70 歳以上	350	168	24.2
年齢不明	-	5	0.7
計	2,200	694	100.0

6 報告書の見方

- (1) 表中に示した調査結果の数値の単位は人であり、回答率は%(太字)で示した。
- (2) 百分率の数値は小数点以下第 1 位を四捨五入しているため、全項目の回答率の合計や複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100%とならない場合がある。
- (3) 調査結果の表では年齢別では男女の合計を示している。グラフでは、男女別になっている。また、前回(平成 25 年度)との比較は、グラフ上の全年齢の男女別のみで表示している。

Ⅱ 調査結果

1 人権全般に対する意識について

(1) 基本的人権に関する知識

問1 あなたは、基本的な人権は侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されていることを知っていますか。

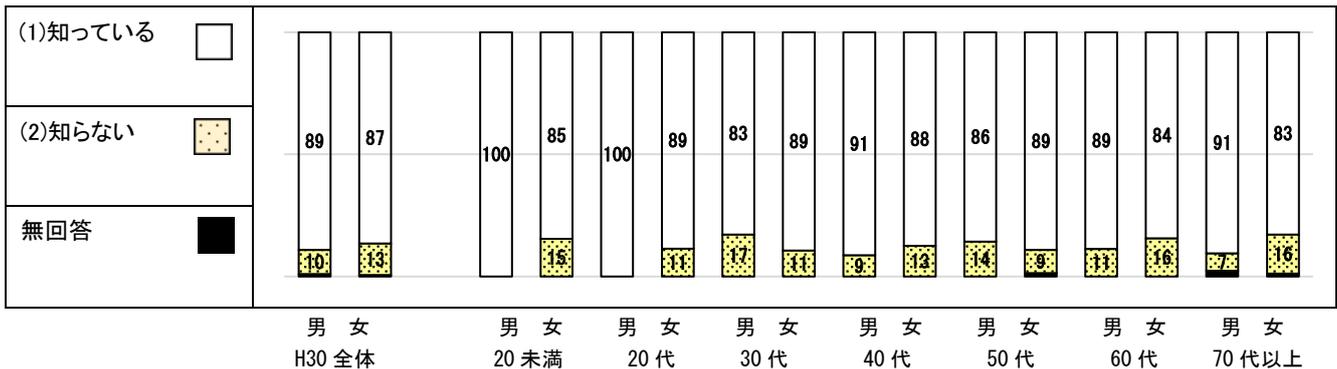
表1-1 基本的人権に関する知識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)知っている	608	88	273	89	334	87	1	50
(2)知らない	81	12	30	10	50	13	1	50
無回答	5	1	3	1	2	1	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)知っている	16	89	52	93	71	87	81	89
(2)知らない	2	11	4	7	11	13	10	11
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)知っている	102	88	136	86	146	87	4	80
(2)知らない	13	11	22	14	19	11	0	0
無回答	1	1	0	0	3	2	1	20
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図1-1

単位：%



基本的人権が憲法で保障されていることを知っている人の割合は88%

基本的な人権が侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されていることを知っている人は、どの年代層においても80%を超えている。

年齢別では、29歳以下の男性で「知っている」が100%となっているが、その他では特徴的な差異はない。

(2) 人権尊重社会に関する意識

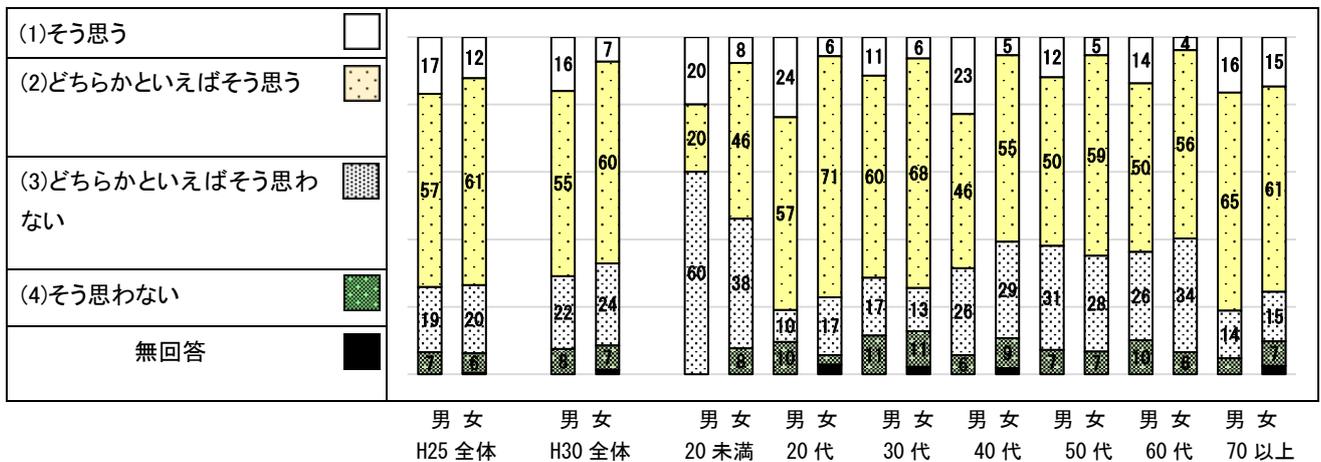
問2 今の社会は、「人権」が尊重されている社会だと思いますか。

表1-2 人権尊重社会に関する意識 単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) そう思う	77	11	49	16	28	7	0	0
(2) どちらかといえばそう思う	400	58	168	55	231	60	1	50
(3) どちらかといえばそう思わない	160	23	66	22	94	24	0	0
(4) そう思わない	52	7	23	8	28	7	1	50
無回答	5	1	0	0	5	1	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1) そう思う	2	11	7	13	7	9	11	12
(2) どちらかといえばそう思う	7	39	37	66	53	65	47	52
(3) どちらかといえばそう思わない	8	44	8	14	12	15	25	27
(4) そう思わない	1	6	3	5	9	11	7	8
無回答	0	0	1	2	1	1	1	1
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1) そう思う	9	8	14	9	26	15	1	20
(2) どちらかといえばそう思う	65	56	84	53	105	63	2	40
(3) どちらかといえばそう思わない	34	29	47	30	24	14	2	40
(4) そう思わない	8	7	13	8	11	7	0	0
無回答	0	0	0	0	2	1	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図1-2

単位：%



現在を、人権尊重社会ととらえている人の割合は69%

今の社会を、「人権」が尊重されている社会だととらえている人の割合は、「そう思う」(11%)と「どちらかといえばそう思う」(58%)とを合わせて69%となり、前回の74%に比べて減少した。

年齢別では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合を合計すると、18~19歳では50%、40~69歳の三世代で60%台と低くなっている。それに対し、20~29歳と30~39歳、70歳以上では70%を超えている。

(3) 回答者自身の人権に関する意識

問3 あなたは、「人権」について、ふだんどのように思っていますか。

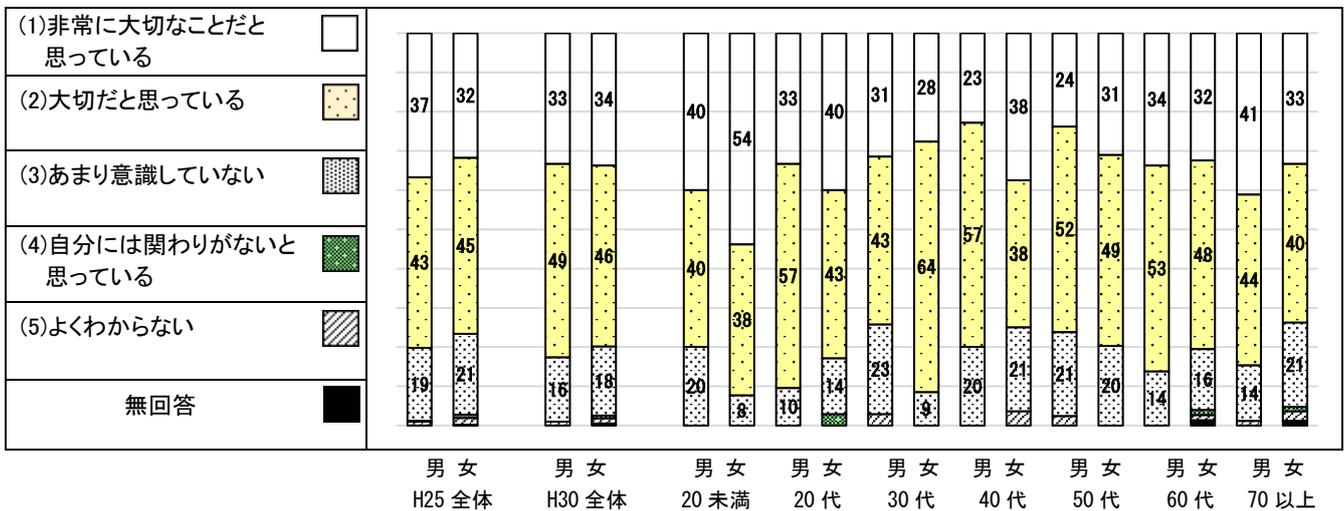
表1-3 回答者本人の人権に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)非常に大切なことだと思っている	235	34	102	33	131	34	2	100
(2)大切だと思っている。	330	47	151	49	179	46	0	0
(3)あまり意識していない	117	17	50	16	68	18	0	0
(4)自分には関わりがないと思っている	3	0	0	0	3	1	0	0
(5)よくわからない	8	1	3	1	5	1	0	0
無回答	2	0	0	0	2	1	0	0
計	696	100	306	100	388	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)非常に大切なことだと思っている	9	50	21	38	24	29	29	32
(2)大切だと思っている。	7	39	27	48	45	55	41	45
(3)あまり意識していない	2	11	7	13	12	15	19	21
(4)自分には関わりがないと思っている	0	0	1	2	0	0	0	0
(5)よくわからない	0	0	0	0	1	1	2	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)非常に大切なことだと思っている	33	28	53	34	64	38	2	40
(2)大切だと思っている	58	50	79	50	71	42	2	40
(3)あまり意識していない	24	21	23	15	30	18	1	20
(4)自分には関わりがないと思っている	0	0	1	1	1	1	0	0
(5)よくわからない	1	1	1	1	3	2	0	0
無回答	0	0	1	1	1	1	0	0
計	116	100	158	100	170	100	5	100

図1-3

単位：%



平素から、人権を大切なことだと思っている人の割合は81%

平素から、人権について大切なことだと思っている人の割合は、「非常に大切なことだと思っている」(34%)と「大切だと思っている」(47%)との割合を合わせて、80%(前回78%)に達している。

人権について、大切なことだと思っている人の年齢別の割合では、「非常に大切なことだと思っている」と「大切だと思っている」との割合を合わせて、40~49歳と50~59歳の二世代で70%、他の世代では80%を超えている。前回では男性の割合がやや高く、18~19歳の方は91%、50~59歳、60~69歳の方は80%、70歳以上の方は87%と高い割合を示していた。

(3) 将来が人権尊重社会になるかどうかに関する意識

問4 子どもたちが支える未来は、「人権」が尊重される明るい社会になっていくと思いますか。

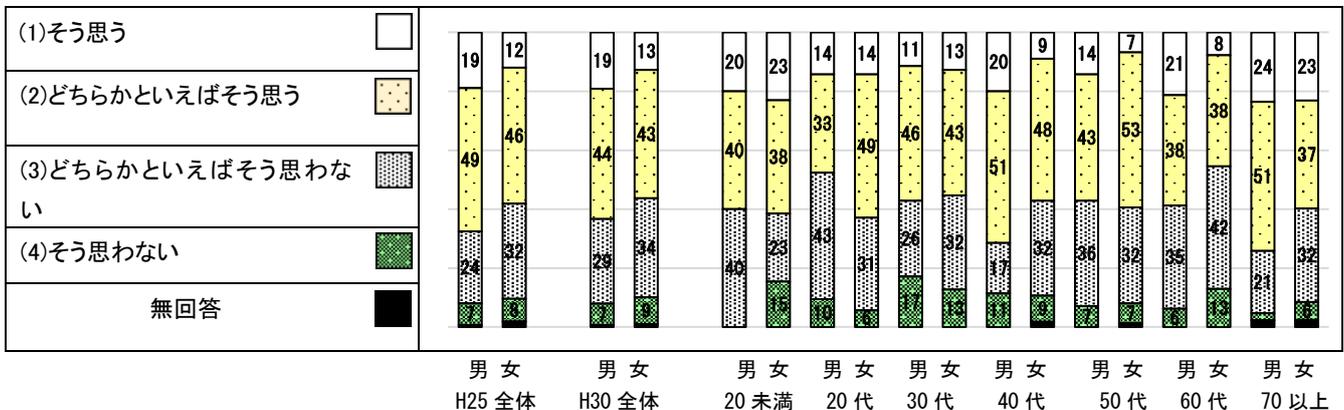
表1-4 将来が人権尊重社会になるかどうかに関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) そう思う	109	16	60	20	49	13	0	0
(2) どちらかといえばそう思う	305	44	135	44	169	44	1	50
(3) どちらかといえばそう思わない	216	31	87	28	129	33	0	0
(4) そう思わない	58	8	22	7	35	9	1	50
無回答	6	1	2	1	4	1	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1) そう思う	4	22	8	14	10	12	12	13
(2) どちらかといえばそう思う	7	39	24	43	36	44	45	49
(3) どちらかといえばそう思わない	5	28	20	36	24	29	24	26
(4) そう思わない	2	11	4	7	12	15	9	10
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1) そう思う	11	9	23	15	39	23	2	40
(2) どちらかといえばそう思う	57	49	60	38	73	43	3	60
(3) どちらかといえばそう思わない	39	34	60	38	44	26	0	0
(4) そう思わない	8	7	15	9	8	5	0	0
無回答	1	1	0	0	4	2	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図1-4

単位：%



将来が人権尊重社会になると考えている人の割合は60%

「そう思う」(16%)と「どちらかといえばそう思う」(44%)と回答した人の割合を合わせて60%(前回63%)の人が、将来は人権尊重社会になると考えている。性別では、「そう思う」(男性19%・女性12%)と「どちらかといえばそう思う」(男性44%・女性43%)のどちらの項目も、将来は人権尊重社会になると考えている割合は、男性の方が高い。これらの傾向は前回と変わらない。

将来は人権尊重社会になると考えている人の年齢別の割合では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」人の割合を合わせて、どの年代でも50%以上である。特に70歳以上では、前回の72%より減少したものの66%と高い割合を示している。

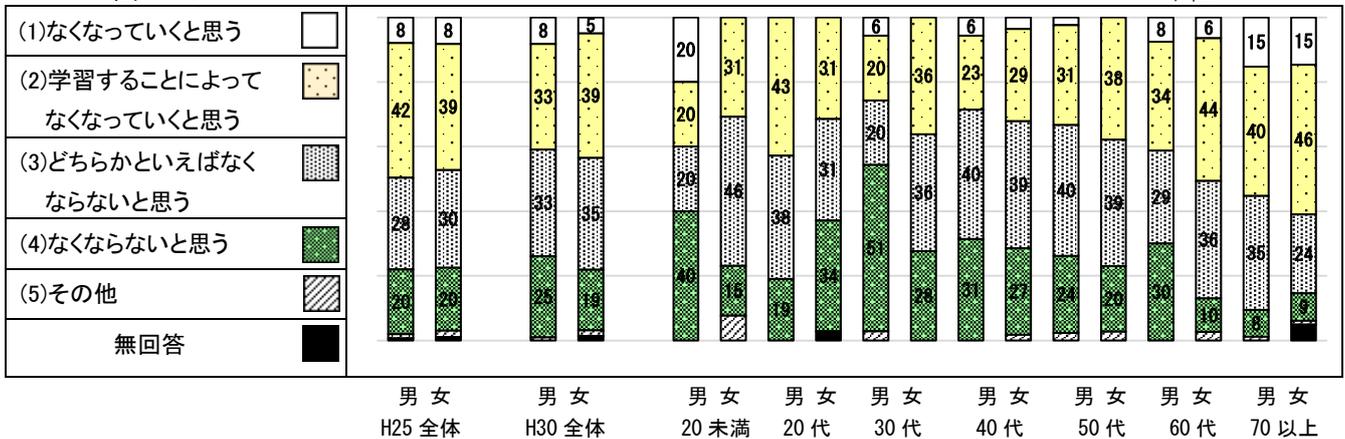
(5) 差別や偏見に関する意識

問5 差別や偏見はなくなるとよく言われますが、どう思いますか。

表1-5 差別や偏見に関する意識 単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)なくなっていくと思う	45	6	25	8	19	5	1	50
(2)学習することによってなくなっていくと思う	250	36	100	33	149	39	1	50
(3)どちらかといえばなくならないと思う	236	34	102	33	134	35	0	0
(4)なくならないと思う	148	21	76	25	72	19	0	0
(5)その他	10	1	3	1	7	2	0	0
無回答	5	1	0	0	5	1	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)なくなっていくと思う	1	6	0	0	2	2	4	4
(2)学習することによってなくなっていくと思う	5	28	20	36	24	29	24	26
(3)どちらかといえばなくならないと思う	7	39	19	34	24	29	36	40
(4)なくならないと思う	4	22	16	29	31	38	26	29
(5)その他	1	6	0	0	1	1	1	1
無回答	0	0	1	2	0	0	0	0
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)なくなっていくと思う	1	1	12	8	25	15	0	0
(2)学習することによってなくなっていくと思う	41	35	61	39	73	43	2	40
(3)どちらかといえばなくならないと思う	46	40	51	32	50	30	3	60
(4)なくならないと思う	25	22	32	20	14	8	0	0
(5)その他	3	3	2	1	2	1	0	0
無回答	0	0	0	0	4	2	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図1-5 単位：%



差別や偏見はなくなると考えている人の割合は42%
 なくならないと考えている人の割合は55%

差別や偏見について「なくなっていくと思う」(6%)と「学習することによってなくなっていくと思う」(36%)との項目を合わせた割合は42%であり、前回の48%から6ポイント減少している。

「なくなっていくと思う」と「学習することによってなくなっていくと思う」の項目を合わせて、年齢別の割合では、50～59歳の年代以降、年齢とともに次第に増加し、70歳以上では58%の人が差別や偏見はなくなっていくと考えている。しかし、前回に比べれば全体的に減少している。

反対に、「どちらかといえばなくならないと思う」と「なくならないと思う」の項目を合わせた割合が30代前後で多い点が特徴的である。

(6) 人権の学習に関する意識

問6 人権に関する学習をどのように思われていますか。

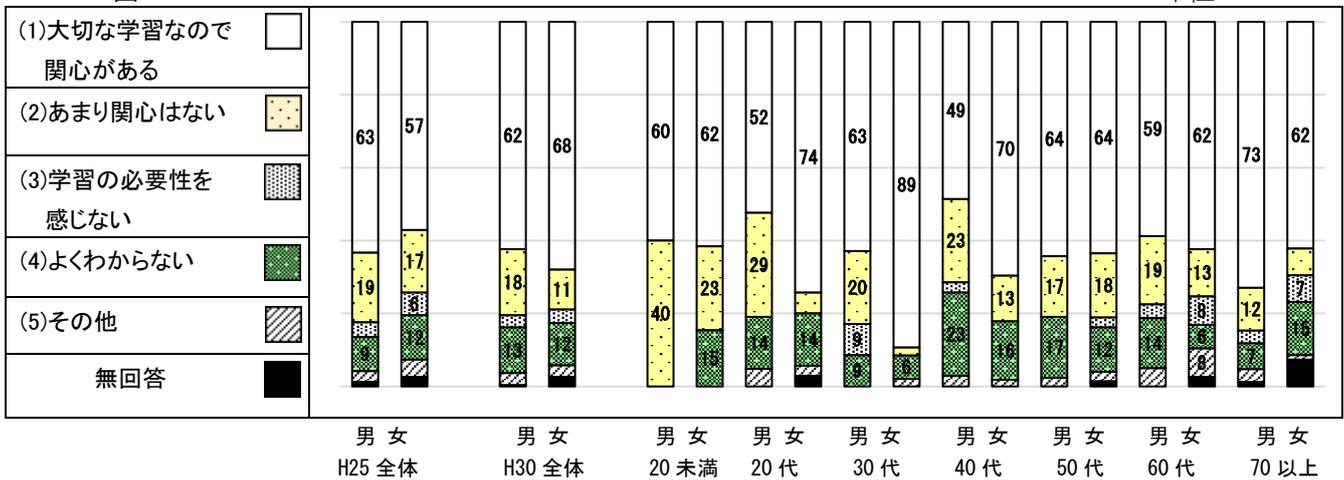
表1-6 人権の学習に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)大切な学習なので関心がある	456	66	192	63	262	68	2	100
(2)あまり関心はない	98	14	55	18	43	11	0	0
(3)学習の必要性を感じない	24	3	10	3	14	4	0	0
(4)よくわからない	83	12	38	12	45	12	0	0
(5)その他	22	3	10	3	12	3	0	0
無回答	11	2	1	0	10	3	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)大切な学習なので関心がある	11	61	37	66	64	78	56	62
(2)あまり関心はない	5	28	8	14	8	10	15	16
(3)学習の必要性を感じない	0	0	0	0	3	4	1	1
(4)よくわからない	2	11	8	14	6	7	17	19
(5)その他	0	0	2	4	1	1	2	2
無回答	0	0	1	2	0	0	0	0
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)大切な学習なので関心がある	74	64	96	61	114	68	4	80
(2)あまり関心はない	20	17	25	16	16	10	1	20
(3)学習の必要性を感じない	2	2	9	6	9	5	0	0
(4)よくわからない	16	14	16	10	18	11	0	0
(5)その他	3	3	10	6	4	2	0	0
無回答	1	1	2	1	7	4	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図1-6

単位：%



人権の学習は大切なので関心があるとする人の割合は66%

人権に関する学習を、「大切な学習なので関心がある」と回答する人の割合は66%となり、前回の60%を越えている。性別では、「大切な学習なので関心がある」とする割合が、20～49歳の三世代で男性よりも女性の方が多くことが特徴的である。これは前回と逆転している。

前問の差別や偏見について「どちらかといえばなくなると思う」と「なくなると思う」の項目を合わせた割合が30代前後で多かったが、人権に関する学習を、「大切な学習なので関心がある」と回答する30代前後の女性で多いことも特徴的である。

(7) 人権の学習を経験した回答者自身の変容

問7 今まで学習してきた人権学習を通じて、あなた自身に何か変化がありましたか。
該当するものすべてを選んでください。

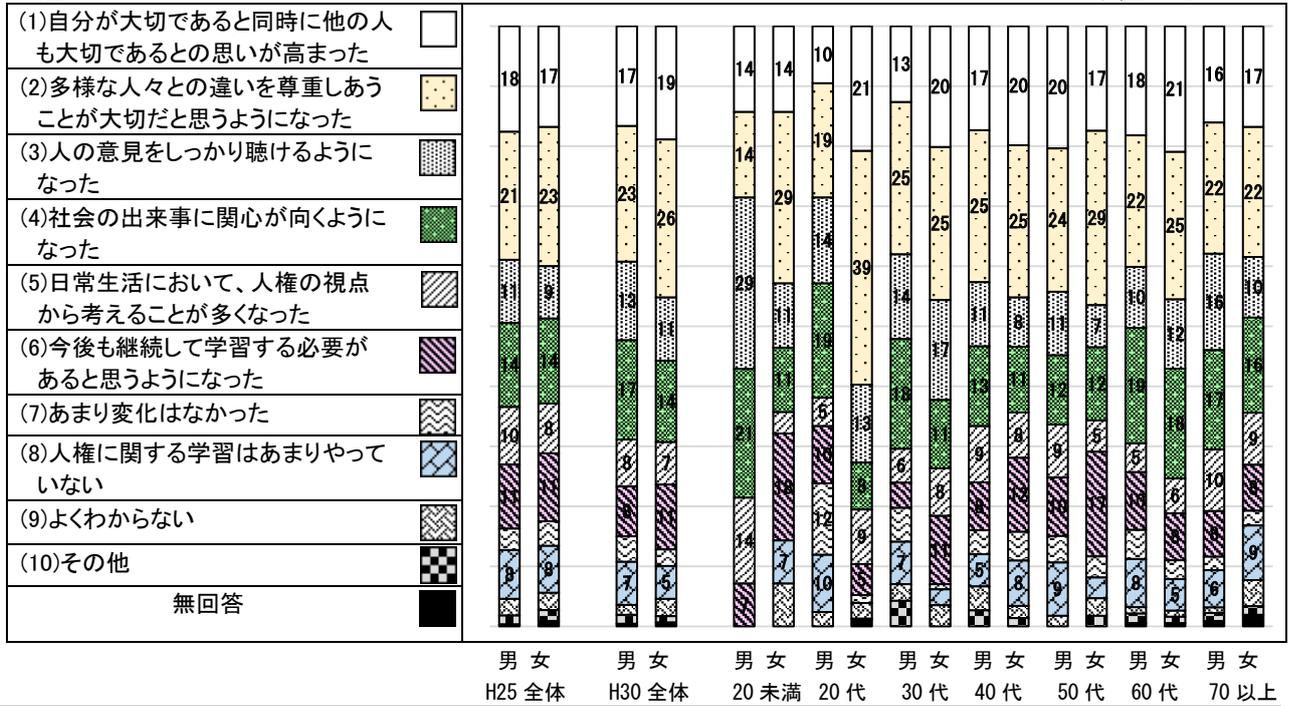
表1-7 人権の学習を経験した回答者自身の変容

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)自分が大切であると同時に他の人も大切であるとの思いが高まった	302	18	123	17	177	19	2	50
(2)多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった	415	25	167	23	247	26	1	25
(3)人の意見をしっかりと聴けるようになった	195	12	96	13	99	11	0	0
(4)社会の出来事に関心が向くようになった	249	15	122	17	127	14	0	0
(5)日常生活において人権の視点から考えることが多くなった	124	7	58	8	66	7	0	0
(6)今後も継続して学習する必要があると思うようになった	163	10	61	8	101	11	1	25
(7)あまり変化はなかった	58	3	31	4	27	3	0	0
(8)人権に関する学習はあまりやっていない	103	6	52	7	51	5	0	0
(9)よくわからない	39	2	12	2	27	3	0	0
(10)その他	21	1	11	1	10	1	0	0
無回答	9	1	3	0	6	1	0	0
計	1678	100	736	100	938	100	4	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)自分が大切であると同時に他の人も大切であるとの思いが高まった	6	14	20	17	32	17	42	19
(2)多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった	10	24	38	32	47	25	56	25
(3)人の意見をしっかりと聴けるようになった	7	17	16	13	29	16	20	9
(4)社会の出来事に関心が向くようになった	6	14	14	12	26	14	26	12
(5)日常生活において人権の視点から考えることが多くなった	3	7	9	8	13	7	18	8
(6)今後も継続して学習する必要があると思うようになった	6	14	8	7	16	9	24	11
(7)あまり変化はなかった	0	0	6	5	5	3	10	5
(8)人権に関する学習はあまりやっていない	2	5	4	3	8	4	15	7
(9)よくわからない	2	5	3	3	6	3	6	3
(10)その他	0	0	0	0	3	2	4	2
無回答	0	0	1	1	0	0	0	0
計	42	100	119	100	185	100	221	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)自分が大切であると同時に他の人も大切であるとの思いが高まった	53	19	75	20	72	17	2	17
(2)多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった	77	27	88	23	95	22	4	33
(3)人の意見をしっかりと聴けるようになった	24	8	41	11	57	13	1	8
(4)社会の出来事に関心が向くようになった	34	12	71	19	70	16	2	17
(5)日常生活において人権の視点から考えることが多くなった	19	7	20	5	41	9	1	8
(6)今後も継続して学習する必要があると思うようになった	41	14	34	9	33	8	1	8
(7)あまり変化はなかった	11	4	15	4	10	2	1	8
(8)人権に関する学習はあまりやっていない	16	6	25	7	33	8	0	0
(9)よくわからない	7	2	4	1	11	3	0	0
(10)その他	3	1	5	1	6	1	0	0
無回答	0	0	2	1	6	1	0	0
計	285	100	380	100	434	100	12	100

図 1-7

単位：％



人権の学習を通して、多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった人の割合は25%

これまでの人権の学習を振り返って、「多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった」(25%) (前回 22%)と回答した人の割合が最も高く、次いで「自分が大切であると同時に他の人も大切であるとの思いが高まった」(18%) (前回 17%)、「社会の出来事に関心が向くようになった」(15%) (前回 14%)の順となっている。これらは前回と同じ順であるものの微増となっている。

年齢別に見ると、「多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった」の項目では、20代の回答が32%と最も高くなっているが、前回(5年前)の18~19歳の人の回答が26%と、やはりどの年代よりも高かったことを継承していると思われる。

(8) 個人の考えや生き方の重視に関する意識

問 8 あなたの周りでは、個人の考え方や生き方が大切にされていると思いますか。

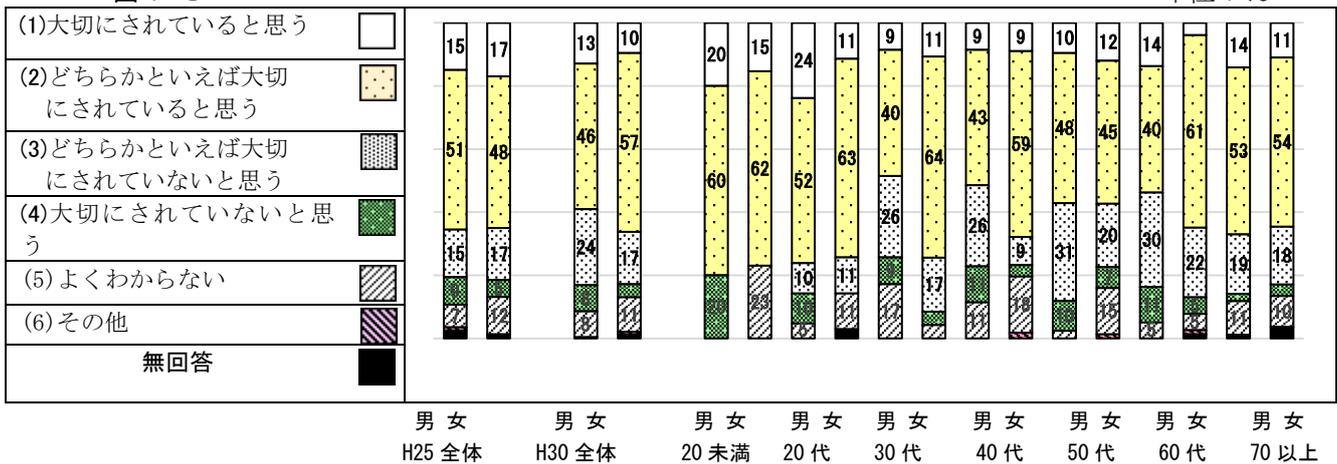
表 1-8 個人の考えや生き方の重視に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体	男性	女性	性別不明
(1)大切にされていると思う	79	11	41	13
(2)どちらかといえば大切にされていると思う	360	52	141	46
(3)どちらかといえば大切にされていないと思う	138	20	73	24
(4)大切にされていないと思う	42	6	25	8
(5)よくわからない	67	10	25	8
(6)その他	3	0	0	0
無回答	6	1	1	0
計	695	100	306	100
年齢別	18-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳
(1)大切にされていると思う	3	17	9	16
(2)どちらかといえば大切にされていると思う	11	61	33	59
(3)どちらかといえば大切にされていないと思う	0	0	6	11
(4)大切にされていないと思う	1	6	2	4
(5)よくわからない	3	17	5	9
(6)その他	0	0	0	0
無回答	0	0	1	2
計	18	100	56	100
年齢別	50-59歳	60-69歳	70歳以上	年齢不明
(1)大切にされていると思う	13	11	15	9
(2)どちらかといえば大切にされていると思う	54	46	79	50
(3)どちらかといえば大切にされていないと思う	28	24	41	26
(4)大切にされていないと思う	9	8	13	8
(5)よくわからない	12	10	8	5
(6)その他	1	1	1	1
無回答	0	0	1	1
計	117	100	158	100

図 1-8

単位：%



周りで、個人の考え方や生き方が大切にされていると思っている人の割合は 63%

個人の考え方や生き方について、「大切にされていると思う」(11%)と「どちらかといえば大切にされていると思う」(52%)の回答を合わせて、63%(前回 65%)の人が重視されていると考えている。また、「どちらかといえば大切にされていないと思う」(20%)と「大切にされていないと思う」(6%)の項目の回答を合わせて、26%(前回 23%)の人が、自分の周りでは、個人の考え方や生き方が重視されていないと考えている。年齢別で見ると、重視されていると回答した人の割合が、50～69歳の二世帯で他の年代よりも低くなっている。

2 人権問題への対応について

(1) 人権課題に対する関心

問1 次の人権課題について、あなたの関心がある人権問題は何ですか。
3つ選んでください。

表2-1 人権課題に対する関心

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)女性	191	9	60	7	130	11	1	17
(2)子ども	246	12	93	10	152	13	1	17
(3)高齢者	203	10	89	10	113	10	1	17
(4)障がいのある人	375	18	159	18	215	19	1	17
(5)同和問題	86	4	54	6	32	3	0	0
(6)外国人	56	3	35	4	21	2	0	0
(7)ハンセン病問題	27	1	12	1	15	1	0	0
(8)患者等（エイズ・HIV感染）	22	1	7	1	15	1	0	0
(9)インターネットによる人権侵害	229	11	103	11	125	11	1	17
(10)プライバシーの保護	173	8	70	8	103	9	0	0
(11)消費者	36	2	21	2	15	1	0	0
(12)犯罪被害者等	53	3	30	3	23	2	0	0
(13)刑を終えて出所した人	38	2	16	2	22	2	0	0
(14)性同一性障がいのある人	60	3	20	2	40	3	0	0
(15)性的指向	23	1	10	1	13	1	0	0
(16)帰国した中国残留邦人とその家族	9	0	4	0	5	0	0	0
(17)ホームレス（路上生活者）	23	1	11	1	12	1	0	0
(18)北朝鮮当局による拉致の問題	90	4	53	6	36	3	1	17
(19)自殺対策	67	3	28	3	39	3	0	0
(20)人身取引	21	1	12	1	9	1	0	0
(21)アイヌの人々への偏見や差別	5	0	2	0	3	0	0	0
(22)その他	17	1	9	1	8	1	0	0
無回答	10	0	3	0	7	1	0	0
計	2060	100	901	100	1153	100	6	100

年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)女性	5	9	14	8	26	11	35	13
(2)子ども	6	11	17	10	42	17	39	15
(3)高齢者	3	6	4	2	16	7	15	6
(4)障がいのある人	10	19	32	19	42	17	51	19
(5)同和問題	0	0	3	2	9	4	12	5
(6)外国人	5	9	13	8	12	5	8	3
(7)ハンセン病問題	3	6	1	1	2	1	3	1
(8)患者等（エイズ・HIV感染）	1	2	2	1	1	0	7	3
(9)インターネットによる人権侵害	3	6	23	14	23	10	36	14
(10)プライバシーの保護	5	9	15	9	17	7	17	6
(11)消費者	1	2	0	0	4	2	4	2
(12)犯罪被害者等	1	2	2	1	6	2	7	3
(13)刑を終えて出所した人	2	4	5	3	3	1	1	0
(14)性同一性障がいのある人	4	7	17	10	11	5	6	2
(15)性的指向	1	2	9	5	6	2	0	0

年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(16) 帰国した中国残留邦人とその家族	1	2	1	1	1	0	0	0
(17) ホームレス（路上生活者）	0	0	0	0	4	2	1	0
(18) 北朝鮮当局による拉致の問題	2	4	2	1	2	1	8	3
(19) 自殺対策	1	2	7	4	8	3	4	2
(20) 人身取引	0	0	0	0	2	1	4	2
(21) アイヌの人々への偏見や差別	0	0	1	1	2	1	0	0
(22) その他	0	0	0	0	2	1	5	2
無回答	0	0	1	1	1	0	2	1
計	54	100	169	100	242	100	265	100

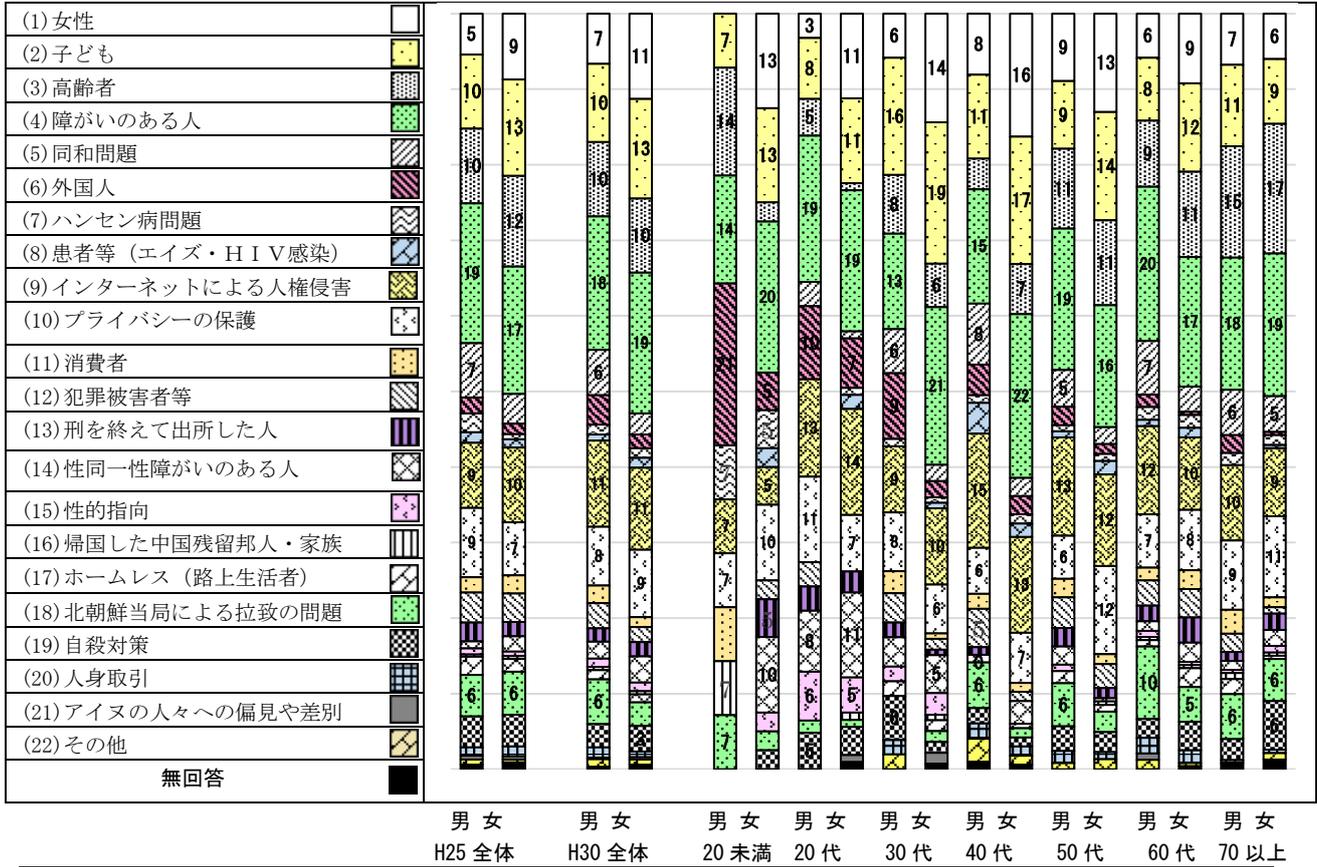
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 女性	40	12	37	8	31	6	3	20
(2) 子ども	43	12	48	10	48	10	3	20
(3) 高齢者	38	11	48	10	78	16	1	7
(4) 障がいのある人	59	17	90	19	89	18	2	13
(5) 同和問題	11	3	25	5	26	5	0	0
(6) 外国人	6	2	5	1	7	1	0	0
(7) ハンセン病問題	3	1	8	2	7	1	0	0
(8) 患者等（エイズ・HIV感染）	5	1	5	1	1	0	0	0
(9) インターネットによる人権侵害	43	12	52	11	46	9	3	20
(10) プライバシーの保護	33	10	36	7	48	10	2	13
(11) 消費者	6	2	10	2	11	2	0	0
(12) 犯罪被害者等	12	3	17	4	8	2	0	0
(13) 刑を終えて出所した人	6	2	13	3	8	2	0	0
(14) 性同一性障がいのある人	4	1	9	2	8	2	1	7
(15) 性的指向	1	0	3	1	3	1	0	0
(16) 帰国した中国残留邦人とその家族	1	0	2	0	3	1	0	0
(17) ホームレス（路上生活者）	4	1	8	2	6	1	0	0
(18) 北朝鮮当局による拉致の問題	13	4	35	7	28	6	0	0
(19) 自殺対策	10	3	15	3	22	5	0	0
(20) 人身取引	4	1	9	2	2	0	0	0
(21) アイヌの人々への偏見や差別	0	0	2	0	0	0	0	0
(22) その他	4	1	4	1	2	0	0	0
無回答	0	0	1	0	5	1	0	0
計	346	100	482	100	487	100	15	100

表 2-1-2 人権課題に対する関心

	1	2	3	4	5
全体	障がいのある人	子ども	インターネット	高齢者	女性
男性	障がいのある人	インターネット	子ども	高齢者	プライバシー保護
女性	障がいのある人	子ども	女性	インターネット	高齢者
18-19 歳	障がいのある人	子ども	女性・外国人・プライバシー保護		
20-29 歳	障がいのある人	インターネット	子ども・女性		プライバシー保護
30-39 歳	障がいのある人・子ども		女性	インターネット	プライバシー保護
40-49 歳	障がいのある人	子ども	インターネット	女性	プライバシー保護
50-59 歳	障がいのある人	子ども・インターネット		女性	高齢者
60-69 歳	障がいのある人	インターネット・子ども・高齢者			女性
70 歳以上	障がいのある人	高齢者	子ども・プライバシーの保護		インターネット

図 2-1

単位：%



最も関心がある人権課題は「障がいのある人」で18%

人権課題に対する関心について、「障がいのある人」と回答した人の割合が18%(前回17%)で最も高く、次いで「子ども」(12%)(前回12%)、「インターネットによる人権侵害」(11%)(前回9%)、「高齢者」(10%)(前回11%)の順となっている。前回とほぼ同様であるが、「インターネットによる人権侵害」が微増して関心が高くなっている。

性別で比較すると、人権課題「障がいのある人」(男性18%・女性19%)や「インターネットによる人権侵害」(男性11%・女性11%)、「高齢者」(男性10%・女性10%)への関心が男女ともほぼ同様な割合なのに比べて、「子ども」(男性10%・女性13%)や「女性」(男性7%・女性11%)への関心は、女性の割合の方が高くなっている。

一方、「同和問題」(男性6%・女性3%)や「北朝鮮当局による拉致の問題」(男性6%・女性3%)への関心では、男性の方の割合が高くなっている。

年齢別で比較すると、顕著なものとして、「外国人」に関心を示す人の割合が20代及び20歳未満の年齢の低い層が高くなっている。また、30代や40代の子育て世代が「子ども」に高い関心を示しており、高齢世代になるほど「高齢者」に関心が高くなっている。さらに、「性同一性障がいのある人」や「性的指向」については、20歳未満の女性と20代、30代に高い関心が示されている。

(2) 差別や人権侵害の経験

問2 あなたは差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。

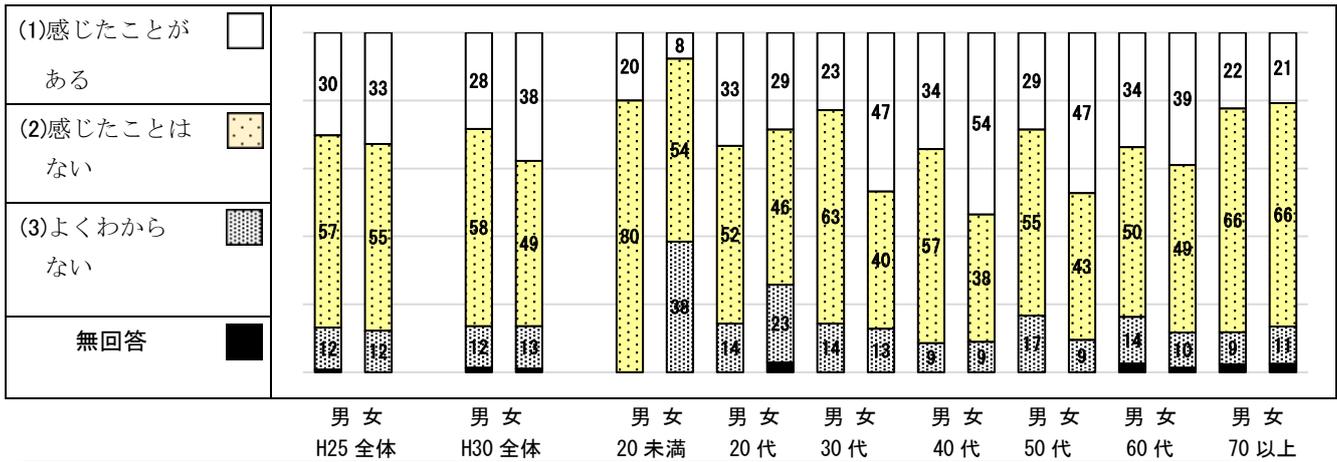
表2-2 差別や人権侵害の経験

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 感じたことがある	232	33	86	28	146	38	0	0
(2) 感じたことはない	367	53	178	58	188	49	1	50
(3) よくわからない	87	13	38	12	48	12	1	50
無回答	8	1	4	1	4	1	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1) 感じたことがある	2	11	17	30	30	37	42	46
(2) 感じたことはない	11	61	27	48	41	50	41	45
(3) よくわからない	5	28	11	20	11	13	8	9
無回答	0	0	1	2	0	0	0	0
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1) 感じたことがある	47	41	57	36	36	21	1	20
(2) 感じたことはない	55	47	78	49	111	66	3	60
(3) よくわからない	14	12	20	13	17	10	1	20
無回答	0	0	3	2	4	2	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図2-2

単位：%



差別を受けたり人権が侵害されたりしたと思ったことがある人の割合は33%

差別や人権侵害の経験について、「感じたことはない」と回答した人の割合は53%となっているものの、「感じたことがある」と回答した人は、33%(前回32%)となっている。前回と比べ、「感じたことがある」と回答した人は、男性では2ポイント減少しているが、女性では5ポイントの増加となっている。さらに、年齢別で、「感じたことがある」と回答した人は、30代~40代の女性で高くなっている。

(3) 差別や人権侵害の内容

問3 問2で「感じたことがある」と回答された方は、どのようなことで人権が侵害されたと感じましたか。該当するものをすべて選んでください。

表2-3 差別や人権侵害の内容

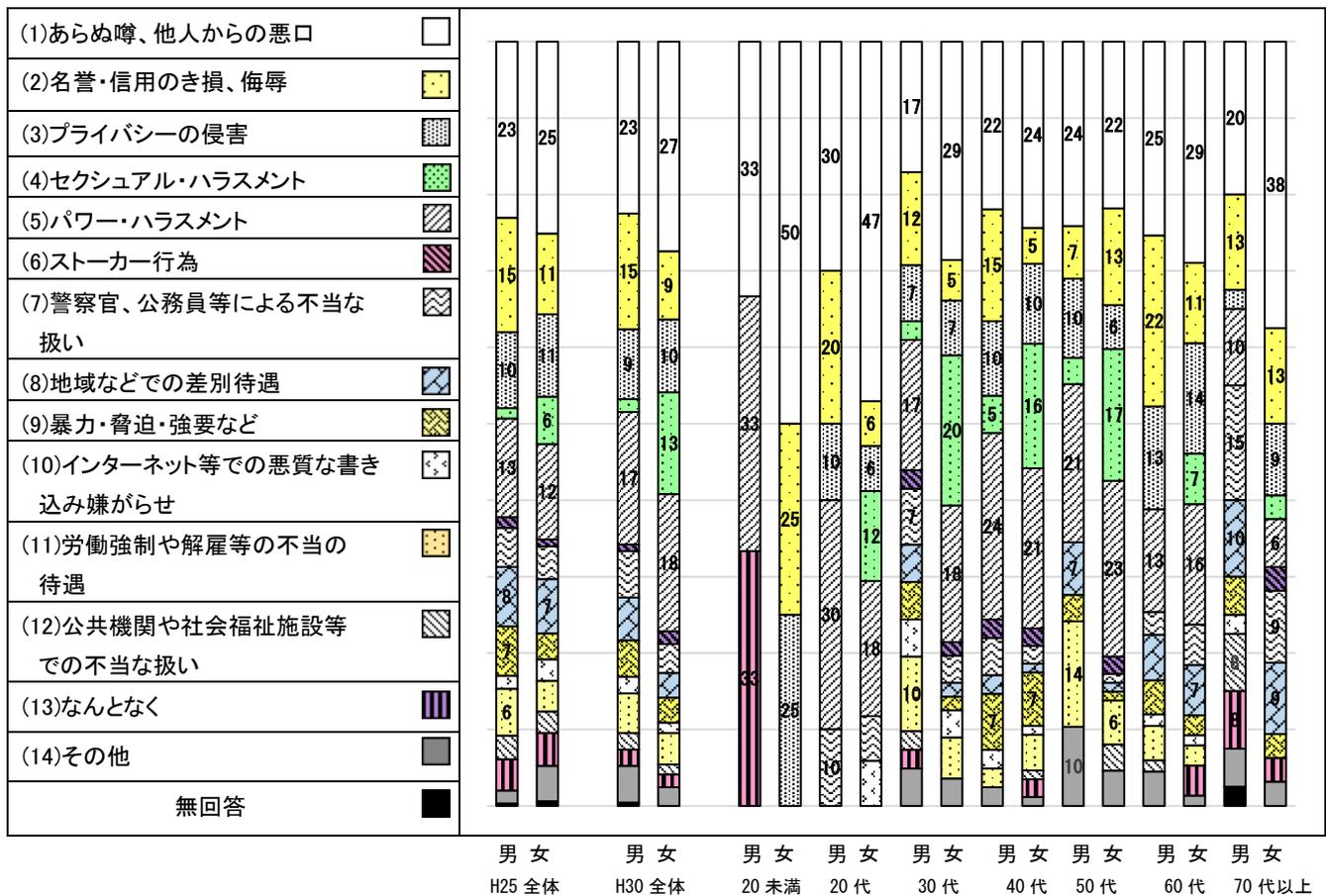
単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)あられ噂、他人からの悪口	153	25	52	23	101	27	0	0
(2)名誉・信用のき損、侮辱	68	11	35	15	33	9	0	0
(3)プライバシーの侵害	56	9	21	9	35	10	0	0
(4)セクシュアル・ハラスメント	53	9	4	2	49	13	0	0
(5)パワー・ハラスメント	106	18	40	17	66	18	0	0
(6)ストーカー行為	8	1	2	1	6	2	0	0
(7)警察官、公務員等による不当な扱い	28	5	14	6	14	4	0	0
(8)地域などでの差別待遇	25	4	13	6	12	3	0	0
(9)暴力・脅迫・強要など	23	4	11	5	12	3	0	0
(10)インターネット等での悪質な書き込みや、嫌がらせ	10	2	5	2	5	1	0	0
(11)労働強制や解雇等の不当の待遇	27	4	12	5	15	4	0	0
(12)公共機関や社会福祉施設等での不当な扱い	10	2	5	2	5	1	0	0
(13)なんとなく	11	2	5	2	6	2	0	0
(14)その他	20	3	11	5	9	2	0	0
無回答	3	0	1	0	0	0	2	100
計	601	100	231	100	368	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)あられ噂、他人からの悪口	3	43	11	41	23	24	30	24
(2)名誉・信用のき損、侮辱	1	14	3	11	8	8	10	8
(3)プライバシーの侵害	1	14	2	7	7	7	13	10
(4)セクシュアル・ハラスメント	0	0	2	7	12	12	16	13
(5)パワー・ハラスメント	1	14	6	22	17	18	28	22
(6)ストーカー行為	0	0	0	0	2	2	3	2
(7)警察官、公務員等による不当な扱い	0	0	2	7	5	5	4	3
(8)地域などでの差別待遇	0	0	0	0	3	3	2	2
(9)暴力・脅迫・強要など	0	0	0	0	3	3	9	7
(10)インターネット等での悪質な書き込みや、嫌がらせ	0	0	1	4	4	4	2	2
(11)労働強制や解雇等の不当の待遇	0	0	0	0	7	7	5	4
(12)公共機関や社会福祉施設等での不当な扱い	0	0	0	0	1	1	1	1
(13)なんとなく	1	14	0	0	1	1	2	2
(14)その他	0	0	0	0	4	4	2	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	100	27	100	97	100	127	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)あられ噂、他人からの悪口	26	22	39	27	20	27	1	10
(2)名誉・信用のき損、侮辱	13	11	23	16	9	12	1	10
(3)プライバシーの侵害	8	7	20	14	4	5	1	10
(4)セクシュアル・ハラスメント	16	14	5	3	1	1	1	10
(5)パワー・ハラスメント	26	22	21	15	6	8	1	10
(6)ストーカー行為	2	2	0	0	1	1	0	0

年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(7)警察官、公務員等による不当な扱い	1	1	6	4	9	12	1	10
(8)地域などでの差別待遇	3	3	9	6	7	10	1	10
(9)暴力・脅迫・強要など	2	2	5	3	3	4	1	10
(10)インターネット等での悪質な書き込みや、嫌がらせ	0	0	2	1	1	1	0	0
(11)労働強制や解雇等の不当の待遇	9	8	5	3	0	0	1	10
(12)公共機関や社会福祉施設等での不当な扱い	3	3	1	1	3	4	1	10
(13)なんとなく	0	0	3	2	4	5	0	0
(14)その他	7	6	4	3	3	4	0	0
無回答	0	0	1	1	2	3	0	0
計	116	100	144	100	73	100	10	100

図 2-3

単位：%



「あらぬ噂、他人からの悪口」と回答した人の割合が全体の 25%

差別や人権侵害の内容としては、「あらぬ噂、他人からの悪口」と回答した人の割合が、25%(前回 24%)と最も高く、次いで「パワー・ハラスメント」(18%) (前回 13%)、「名誉・信用のき損、侮辱」(11%) (前回 13%)、「プライバシーの侵害」(9%) (前回 11%)「セクシュアル・ハラスメント」(9%) (前回 4%)の順となっている。前回に比べ、ハラスメントによる人権侵害が多くなっている。

年齢別では、「パワー・ハラスメント」が男女とも若年世代ほど高く、20代~50代の女性で「セクシュアル・ハラスメント」が高くなっている傾向がある。

また、50代以上で「地域などでの差別待遇」が多くなっている。

(4) 人権問題解決のための取り組みに関する意識

問4 問2で「感じたことがある」と回答された方で、そのときあなたはどうされましたか。該当するものをすべて選んでください。

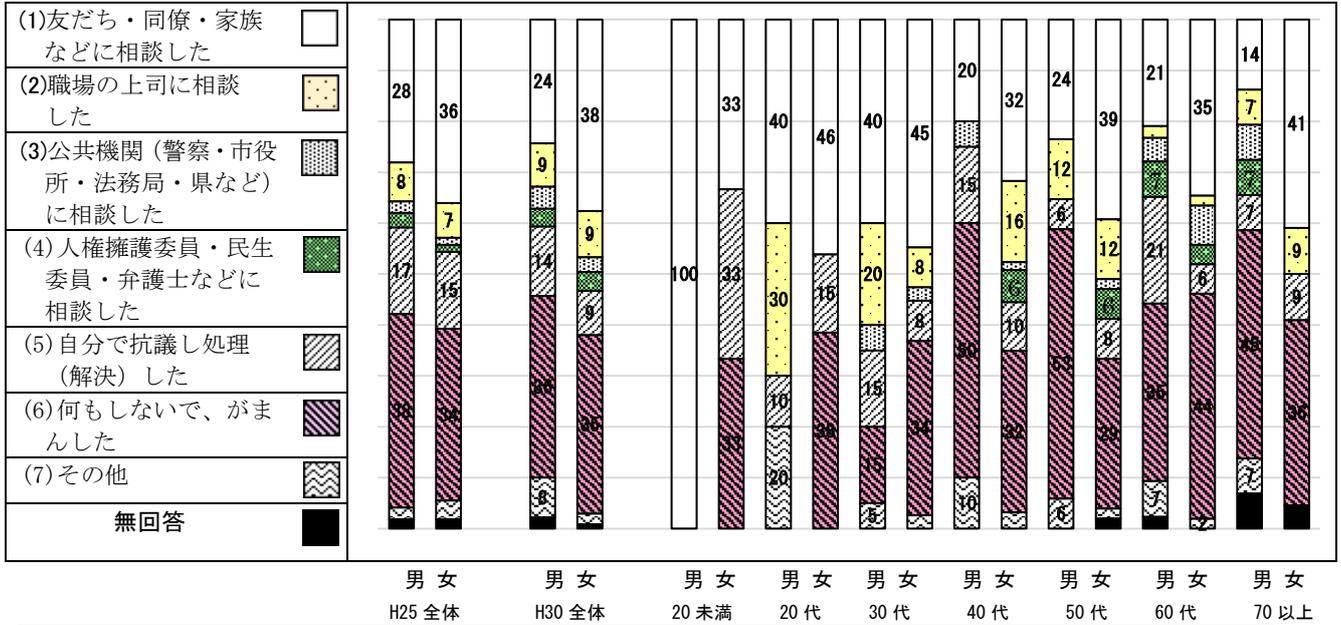
表2-4 人権問題解決のための取り組みに関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 友だち・同僚・家族などに相談した	126	33	34	24	92	37	0	0
(2) 職場の上司に相談した	34	9	12	9	22	9	0	0
(3) 公共機関（警察・市役所・法務局・県など）に相談した	14	4	6	4	8	3	0	0
(4) 人権擁護委員・民生委員・弁護士などに相談した	14	4	5	4	9	4	0	0
(5) 自分で抗議し処理（解決）した	41	11	19	14	22	9	0	0
(6) 何もしないで、がまんした	136	35	50	36	86	35	0	0
(7) その他	16	4	11	8	5	2	0	0
無回答	5	1	3	2	2	1	0	0
計	386	100	140	100	246	100	0	0
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 友だち・同僚・家族などに相談した	2	50	10	43	25	43	24	29
(2) 職場の上司に相談した	0	0	3	13	7	12	10	12
(3) 公共機関（警察・市役所・法務局・県など）に相談した	0	0	0	0	2	3	2	2
(4) 人権擁護委員・民生委員・弁護士などに相談した	0	0	0	0	0	0	4	5
(5) 自分で抗議し処理（解決）した	1	25	3	13	6	10	9	11
(6) 何もしないで、がまんした	1	25	5	22	16	28	30	36
(7) その他	0	0	2	9	2	3	4	5
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	100	23	100	58	100	83	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 友だち・同僚・家族などに相談した	24	35	27	28	13	25	1	25
(2) 職場の上司に相談した	8	12	2	2	4	8	0	0
(3) 公共機関（警察・市役所・法務局・県など）に相談した	1	1	6	6	2	4	1	25
(4) 人権擁護委員・民生委員・弁護士などに相談した	3	4	5	5	2	4	0	0
(5) 自分で抗議し処理（解決）した	5	7	12	13	4	8	1	25
(6) 何もしないで、がまんした	24	35	38	40	21	41	1	25
(7) その他	2	3	4	4	2	4	0	0
無回答	1	1	1	1	3	6	0	0
計	68	100	95	100	51	100	4	100

図 2-4

単位：%



差別や人権侵害に対する態度として「何もしないで、がまんした」が最も高く 35%

人権問題に対する態度としては、「何もしないで、がまんした」(35%) (前回 36%) と回答した人の割合が最も高く、次いで「友だち・同僚・家族などに相談した」(33%) (前回 33%)、「自分で抗議し処理(解決)した」(11%) (前回 16%) の順となっている。前回に比べ、他者に相談することが減少し、「何もしないで、がまんした」と回答した人の割合が増えている。

性別で比較すると、人権問題に対して、「何もしないで、がまんした」と回答した人は男女に差はなく多いが(男性 36%・女性 35%)、「友だち・同僚・家族などに相談した」と回答した人には男性 24%・女性 37%と女性が多く、反対に「自分で抗議し処理(解決)した」と回答した人には男性 14%・女性 9%と男性が多かった。

年齢別では、高齢になるほど「何もしないで、がまんした」と回答した人が多くなった。

また、「友だち・同僚・家族などに相談した」(33%)と身近な人に相談することは多いが、「公共機関」や「人権擁護委員・民生委員・弁護士」などに相談した人の合計が前回の 4%よりも増えたものの 8%と少なくなっている。

(5) 人権問題解決のための回答者自身の方策に関する意識

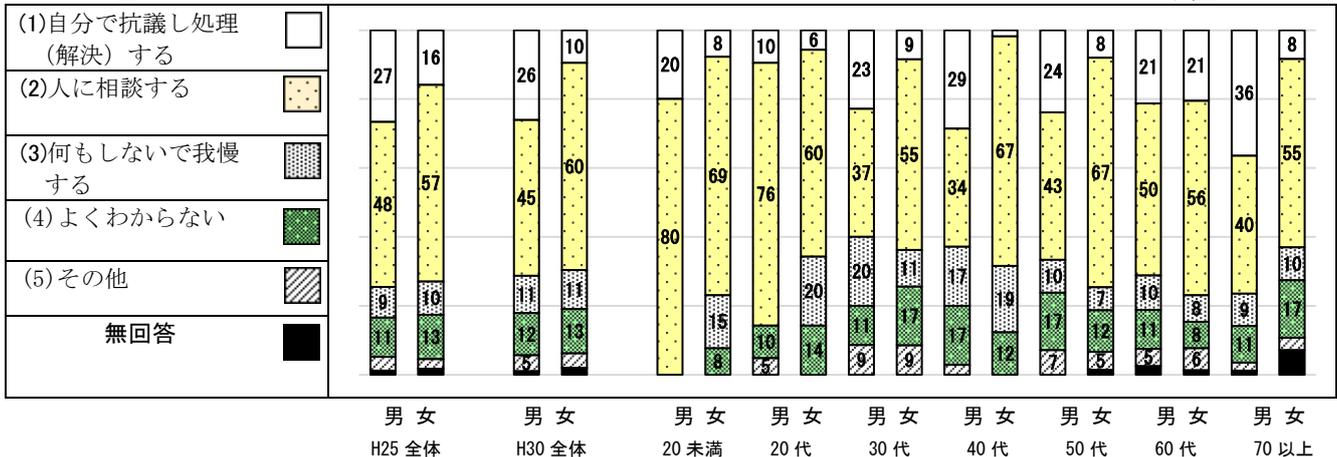
問5 もし、あなたの人権が侵害された場合、どのような対応をしますか。
1つだけ選んでください。

表2-5 人権問題解決のための回答者自身の方策に関する意識 単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)自分で抗議し処理（解決）する	118	17	80	26	38	10	0	0
(2)人に相談する	374	54	139	45	234	60	1	50
(3)何もしないでがまんする	77	11	33	11	44	11	0	0
(4)よくわからない	89	13	37	12	51	13	1	50
(5)その他	30	4	14	5	16	4	0	0
無回答	11	2	3	1	8	2	0	0
計	699	100	306	100	391	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)自分で抗議し処理（解決）する	2	11	4	7	12	15	11	12
(2)人に相談する	13	72	37	66	39	48	50	54
(3)何もしないでがまんする	2	11	7	13	12	15	17	18
(4)よくわからない	1	6	7	13	12	15	13	14
(5)その他	0	0	1	2	7	9	1	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	100	56	100	82	100	92	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)自分で抗議し処理（解決）する	16	14	33	21	38	22	2	40
(2)人に相談する	68	58	84	53	81	48	2	40
(3)何もしないでがまんする	9	8	14	9	16	9	0	0
(4)よくわからない	16	14	16	10	23	14	1	20
(5)その他	7	6	9	6	5	3	0	0
無回答	1	1	3	2	7	4	0	0
計	117	100	159	100	170	100	5	100

図2-5

単位：%



自分の人権が侵害された場合、人に相談する人の割合は54%

自分の人権が侵害された場合、「人に相談する」と回答した人が54%(前回53%)と最も高く、次いで「自分で抗議し処理（解決）する」(17%)(前回21%)の順となっている。前回と同様に人に相談する割合が多くなっている。ただ、前問の回答で「人に相談した」割合が33%になっている現実とは乖離がある。

性別で比較をすると、「自分で抗議し処理（解決）する」(男性26%・女性10%)と回答した人には、男性が多い。一方、「人に相談する」(男性45%・女性60%)と回答した人には、女性が多い。

年齢別で比較をすると、30代を除き、高齢になるほど「人に相談する」よりも「自分で抗議し処理（解決）する」と回答する割合が高くなっている。

(6) 他人の人権を尊重することの有無に関する意識

問6 あなたは、他人の人権を尊重していると思いますか。

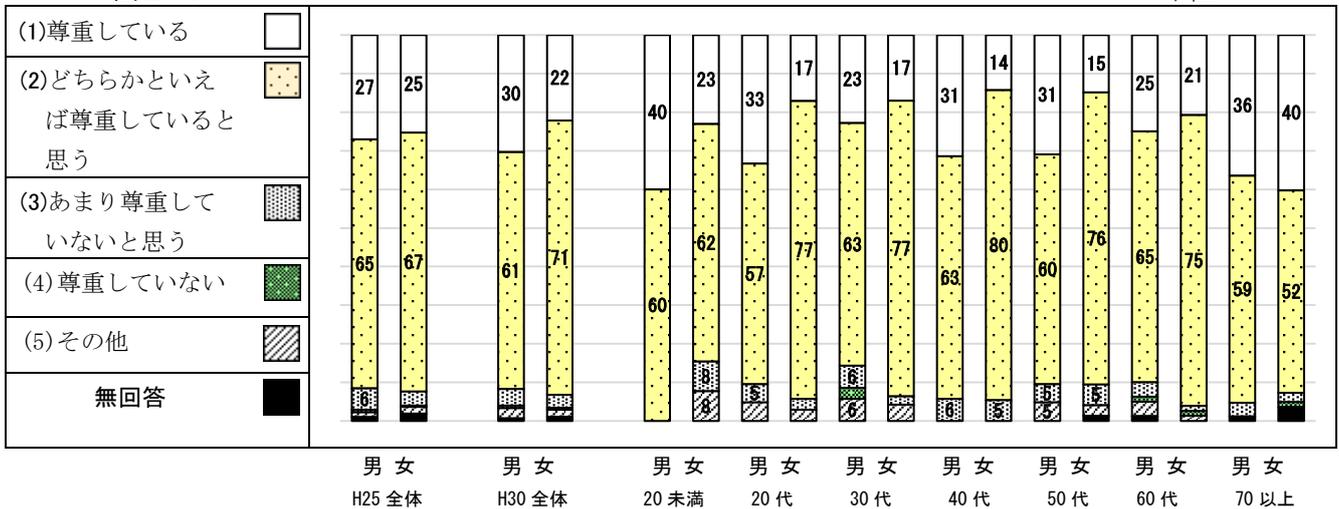
表2-6 他人の人権を尊重することの有無に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 尊重している	178	26	92	30	85	22	1	50
(2) どちらかといえば尊重していると思う	465	67	189	62	275	71	1	50
(3) あまり尊重していないと思う	26	4	13	4	13	3	0	0
(4) 尊重していない	4	1	2	1	2	1	0	0
(5) その他	15	2	8	3	7	2	0	0
無回答	6	1	2	1	4	1	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1) 尊重している	5	28	13	23	16	20	19	21
(2) どちらかといえば尊重していると思う	11	61	39	70	58	71	67	74
(3) あまり尊重していないと思う	1	6	2	4	3	4	5	5
(4) 尊重していない	0	0	0	0	1	1	0	0
(5) その他	1	6	2	4	4	5	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1) 尊重している	24	21	37	23	64	38	0	0
(2) どちらかといえば尊重していると思う	81	70	110	70	94	56	5	100
(3) あまり尊重していないと思う	6	5	4	3	5	3	0	0
(4) 尊重していない	0	0	2	1	1	1	0	0
(5) その他	4	3	4	3	0	0	0	0
無回答	1	1	1	1	4	2	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図2-6

単位：%



他人の人権を大切にしていると思っている人の割合は93%

「尊重している」(26%)と「どちらかといえば尊重していると思う」(67%)の回答を合わせて、他人の人権を大切にしている人の割合は、93%と前回の65%と同様に高くなっている。

性別で見ると、70代以上の人を除き、「尊重している」と回答する人は女性より男性の方が多い。いずれにしても、どの年代においても「尊重している」と「どちらかといえば尊重していると思う」の回答を合わせると90%前後になっている。

(7) 他人の人権を侵害したことの有無に関する意識

問7 あなたは、今までに、他人の人権を侵害したことがあると思いますか。

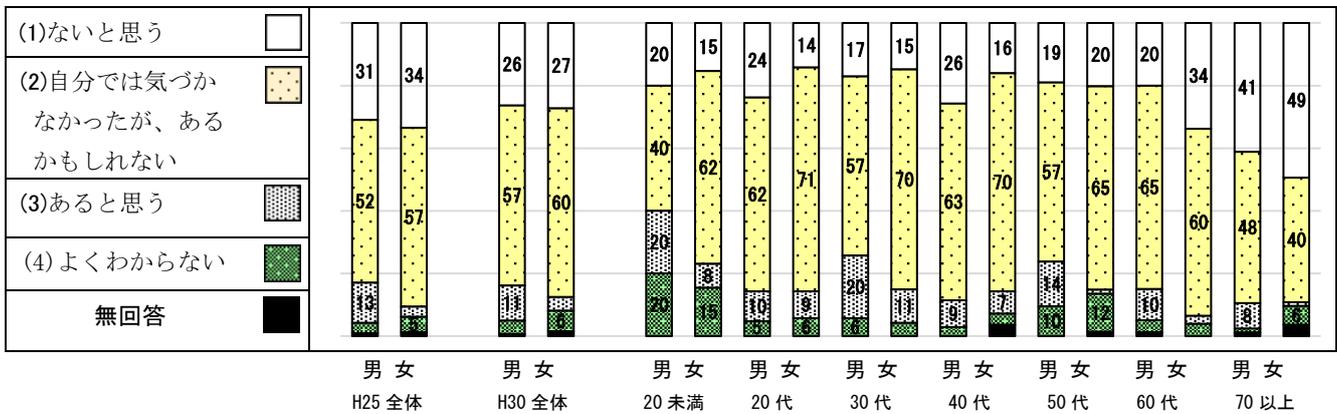
表2-7 他人の人権を侵害したことの有無に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)ないと思う	187	27	81	26	105	27	1	50
(2)自分では気づかなかったが、あるかもしれない	411	59	176	58	234	60	1	50
(3)あると思う	51	7	34	11	17	4	0	0
(4)よくわからない	38	5	13	4	25	6	0	0
無回答	8	1	2	1	6	2	0	0
計	695	100	306	100	387	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)ないと思う	3	17	10	18	13	16	18	20
(2)自分では気づかなかったが、あるかもしれない	10	56	38	68	53	65	61	67
(3)あると思う	2	11	5	9	12	15	7	8
(4)よくわからない	3	17	3	5	4	5	3	3
無回答	0	0	0	0	0	0	2	2
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)ないと思う	23	20	43	27	76	45	1	20
(2)自分では気づかなかったが、あるかもしれない	72	62	98	62	75	44	4	80
(3)あると思う	7	6	10	6	8	5	0	0
(4)よくわからない	13	11	6	4	6	4	0	0
無回答	1	1	1	1	4	2	0	0
計	116	100	158	100	169	100	5	100

図2-7

単位：%



他人の人権を侵害したことがあるかもしれないと思う人の割合は66%

「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」(59%)と「あると思う」(7%)の項目を合わせて、他人の人権を侵害したことがあるかもしれないと思う人の割合は66%(前回62%)となっている。

性別では、「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」とする割合はさほど変わらないが「あると思う」人の割合は女性(4%)に比べて、男性(11%)の方が高い。

年齢別で見ると、他人の人権の侵害に関して、高齢になるほど「ないと思う」と回答した割合が多くなり、「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」と回答した割合が少なくなっている。

(8) 人権を話題にすることの有無に関する意識

問8 あなたは人権について、家族や知人と話すことがありますか。

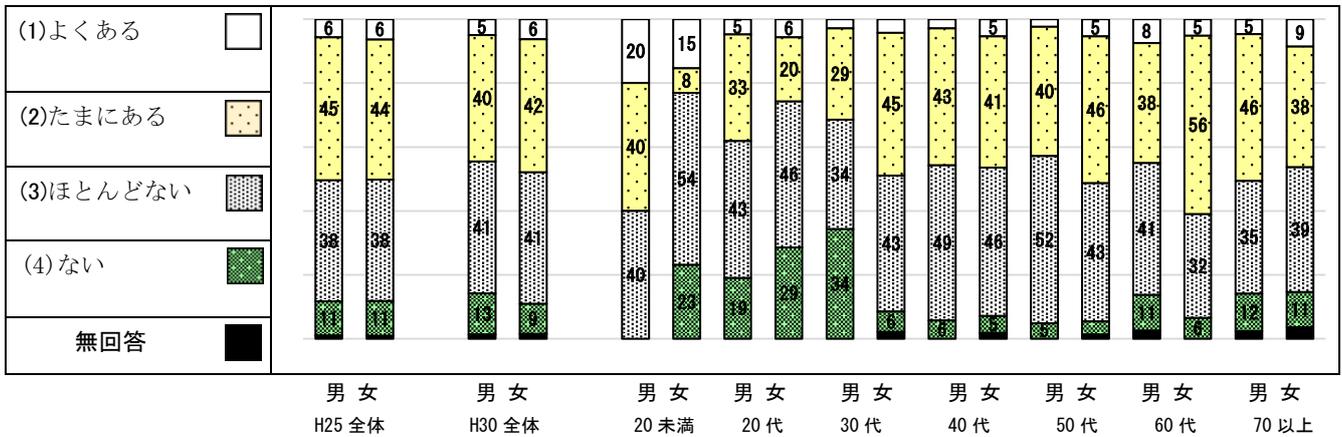
表2-8 人権を話題にすることの有無に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)よくある	39	6	15	5	24	6	0	0
(2)たまにある	284	41	122	40	160	41	2	100
(3)ほとんどない	286	41	126	41	160	41	0	0
(4)ない	75	11	39	13	36	9	0	0
無回答	10	1	4	1	6	2	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)よくある	3	17	3	5	3	4	4	4
(2)たまにある	3	17	14	25	31	38	38	42
(3)ほとんどない	9	50	25	45	32	39	43	47
(4)ない	3	17	14	25	15	18	5	5
無回答	0	0	0	0	1	1	1	1
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)よくある	5	4	10	6	11	7	0	0
(2)たまにある	51	44	74	47	71	42	2	40
(3)ほとんどない	54	47	58	37	62	37	3	60
(4)ない	5	4	14	9	19	11	0	0
無回答	1	1	2	1	5	3	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図2-8

単位：%



人権について、家族や知人と話す人は47%

「よくある」(6%)と「たまにある」(41%)の項目とを合わせて、人権について家族や知人と話す人の割合は、47%である。前回の50%より若干減少している。

年齢別で比較すると、「よくある」と「たまにある」の項目を合わせて、人権について家族や知人と話す人の割合は、30代までは少ないが、40代以降は一定の割合(50%前後)になっている。

また、人権について、家族や知人と話すことが「ない」とする人は、30代以下の年齢の低い層が高い割合を示している。

(9) 人権問題解決のための方策に関する意識

問9 人権問題の解決のために、どのような方策が有効だと思いますか。
3つ選んでください。

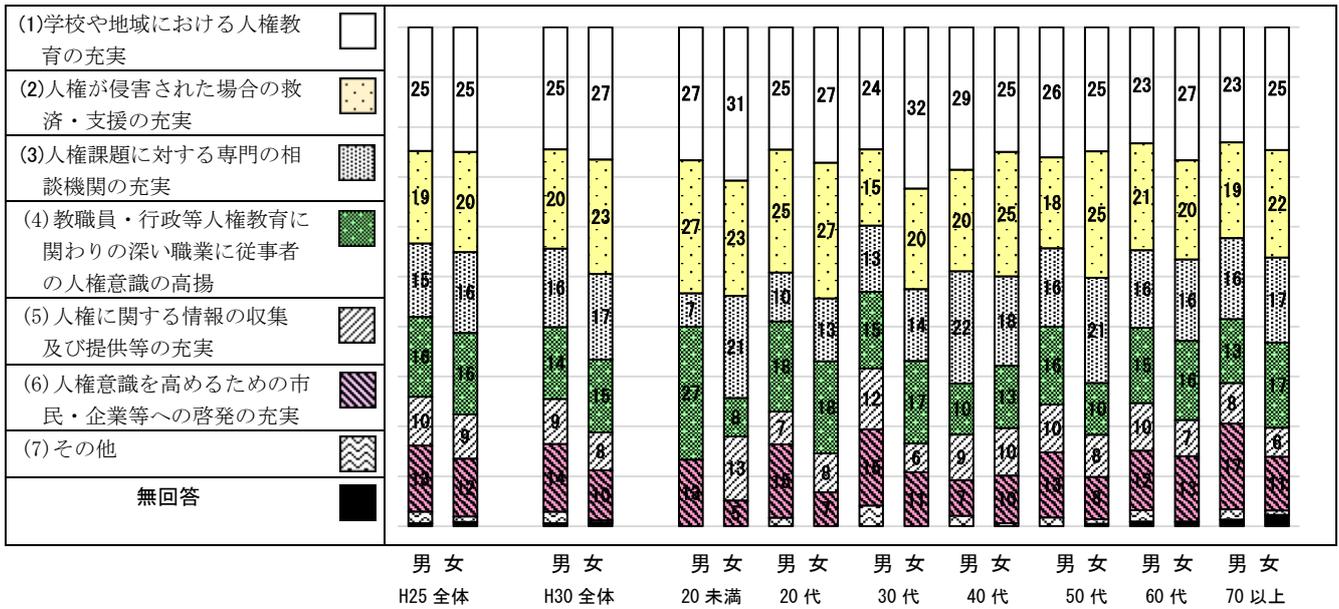
表2-9 人権問題の解決のための方策に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 学校や地域における人権教育の充実	506	26	209	25	295	27	2	33
(2) 人権が侵害された場合の救済・支援の充実	425	22	169	20	254	23	2	33
(3) 人権課題に対する専門の相談機関の充実	325	17	133	16	191	17	1	17
(4) 教職員・行政など人権教育に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚	283	14	122	14	161	14	0	0
(5) 人権に関する情報の収集及び提供等の充実	165	8	78	9	86	8	1	17
(6) 人権意識を高めるための市民・企業などへの啓発の充実	226	11	114	13	112	10	0	0
(7) その他	24	1	19	2	5	0	0	0
無回答	13	1	5	1	8	1	0	0
計	1967	100	849	100	1112	100	6	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1) 学校や地域における人権教育の充実	16	30	43	26	69	29	70	26
(2) 人権が侵害された場合の救済・支援の充実	13	24	43	26	43	18	62	23
(3) 人権課題に対する専門の相談機関の充実	9	17	19	12	33	14	52	20
(4) 教職員・行政など人権教育に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚	7	13	30	18	38	16	31	12
(5) 人権に関する情報の収集及び提供等の充実	5	9	12	7	20	8	25	9
(6) 人権意識を高めるための市民・企業などへの啓発の充実	4	7	16	10	30	13	23	9
(7) その他	0	0	1	1	4	2	3	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	54	100	164	100	237	100	266	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1) 学校や地域における人権教育の充実	83	25	111	25	110	24	4	27
(2) 人権が侵害された場合の救済・支援の充実	75	23	92	21	94	20	3	20
(3) 人権課題に対する専門の相談機関の充実	63	19	70	16	77	17	2	13
(4) 教職員・行政など人権教育に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚	40	12	68	15	68	15	1	7
(5) 人権に関する情報の収集及び提供等の充実	29	9	38	9	32	7	4	27
(6) 人権意識を高めるための市民・企業などへの啓発の充実	33	10	55	12	64	14	1	7
(7) その他	4	1	5	1	7	2	0	0
無回答	1	0	4	1	8	2	0	0
計	328	100	443	100	460	100	15	100

図 2-9

単位：%



人権問題解決のための方策について、「学校や地域における人権教育の充実」が26%、「人権が侵害された場合の救済・支援の充実」が22%

人権問題の解決のための方策について、「学校や地域における人権教育の充実」と回答した人の割合が26%(前回 25%)と最も高く、次いで「人権が侵害された場合の救済・支援の充実」(22%)(前回 20%)、「人権課題に対する専門の相談機関の充実」(17%)(前回 16%)、「教職員・行政など人権教育に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚」(14%)(前回 16%)、の順となっている。

年齢別でも、「人権課題に対する専門の相談機関の充実」と「教職員・行政など人権教育に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚」の順位が入れ替わることがあるが、どの年代でも前出の4項目の回答が多くなっていた。

(10) 人権問題解決のための効果的な教育・啓発活動に関する意識

問 10 人権問題の解決のために、どのような教育・啓発活動が効果的だと思いますか。
3つ選んでください。

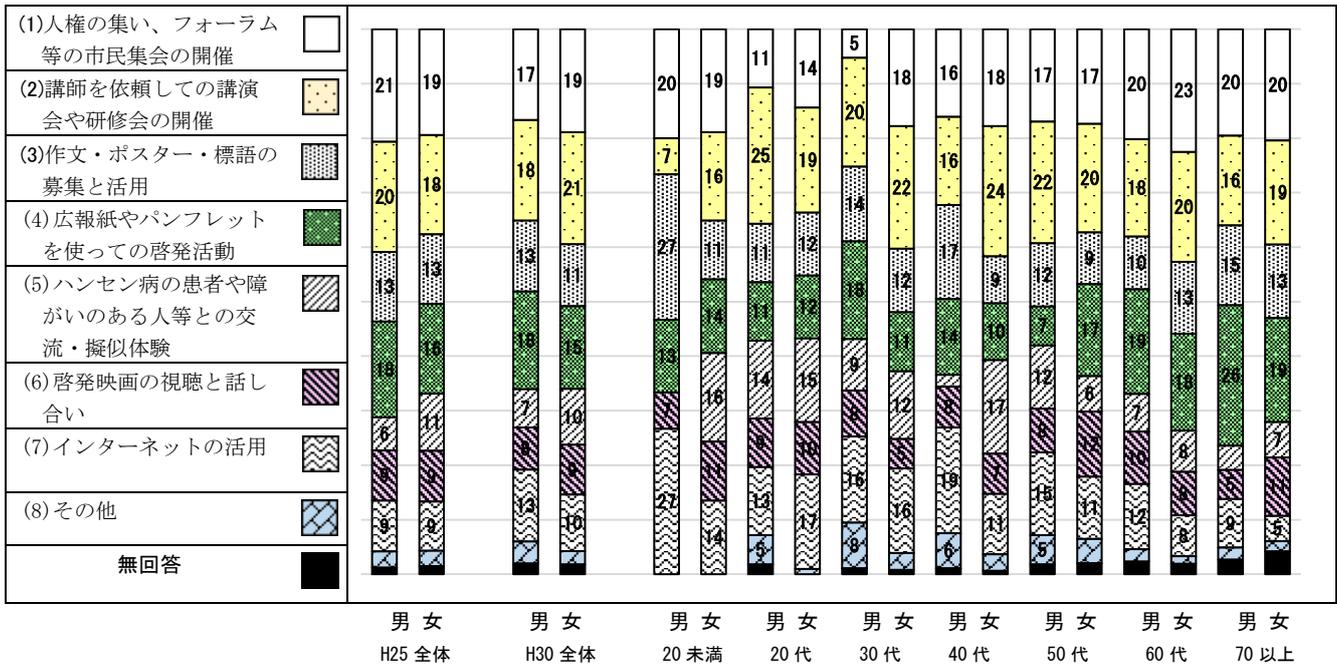
表 2-10 人権問題解決のための効果的な教育・啓発活動に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)人権のつどい、フォーラムなどの市民集会の開催	339	18	138	17	201	19	0	0
(2)講師を依頼しての講演会や研修会の開催	373	20	153	19	219	21	1	25
(3)作文・ポスター・標語の募集と活用 (カレンダー作成や作品展)	228	12	106	13	122	11	0	0
(4)広報紙やパンフレットを使つての啓発活動	311	16	148	18	163	15	0	0
(5)ハンセン病の患者や障がいのある人等との交流・ 擬似体験	167	9	57	7	109	10	1	25
(6)啓発映画の視聴と話し合い	162	9	64	8	97	9	1	25
(7)インターネットの活用(ホームページ等での啓発活動)	221	12	108	13	112	10	1	25
(8)その他	59	3	33	4	26	2	0	0
無回答	35	2	16	2	19	2	0	0
計	1895	100	823	100	1068	100	4	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)人権のつどい、フォーラムなどの市民集会の開催	10	19	21	13	28	13	44	17
(2)講師を依頼しての講演会や研修会の開催	7	13	34	21	48	21	54	21
(3)作文・ポスター・標語の募集と活用 (カレンダー作成や作品展)	8	15	18	11	28	13	30	12
(4)広報紙やパンフレットを使つての啓発活動	7	13	18	11	31	14	30	12
(5)ハンセン病の患者や障がいのある人等との交流・ 擬似体験	6	12	24	15	25	11	30	12
(6)啓発映画の視聴と話し合い	5	10	15	9	15	7	19	7
(7)インターネットの活用(ホームページ等での啓発活動)	9	17	25	16	35	16	36	14
(8)その他	0	0	4	3	12	5	11	4
無回答	0	0	1	1	2	1	2	1
計	52	100	160	100	224	100	256	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)人権のつどい、フォーラムなどの市民集会の開催	54	17	92	21	88	20	2	13
(2)講師を依頼しての講演会や研修会の開催	65	21	83	19	78	18	4	27
(3)作文・ポスター・標語の募集と活用 (カレンダー作成や作品展)	32	10	49	11	62	14	1	7
(4)広報紙やパンフレットを使つての啓発活動	42	13	80	19	99	22	4	27
(5)ハンセン病の患者や障がいのある人等との交流・ 擬似体験	26	8	31	7	25	6	0	0
(6)啓発映画の視聴と話し合い	33	11	38	9	36	8	1	7
(7)インターネットの活用(ホームページ等での啓発活動)	40	13	42	10	31	7	3	20
(8)その他	15	5	8	2	9	2	0	0
無回答	6	2	9	2	15	3	0	0
計	313	100	432	100	443	100	15	100

図 2-10

単位：％



効果的な啓発活動について、「講演会や研修会」回答した人が20%

どのような啓発活動が効果的と思うかについて、「講師を依頼しての講演会や研修会の開催」と回答した人の割合が20%(前回19%)と最も高く、次いで、「人権のつどい、フォーラムなどの市民集会の開催」(18%)(前回20%)「広報紙やパンフレットを使っての啓発活動」(16%)(前回17%)の順となっている。順番は変わったが、前回と同様な回答割合になった。

年齢別では、「インターネットの活用(ホームページ等での啓発活動)」と回答した人の割合が年齢の低い層で高い割合を示しているのに対し、「広報紙やパンフレットを使っての啓発活動」と回答した割合は年齢の高い層で高い割合を示すようになっている。

3 赤磐市の人権に対する取り組みについて

(1) 赤磐市人権教育・啓発推進計画の周知度

問1 赤磐市の「人権教育・啓発推進計画」があることを知っていますか。

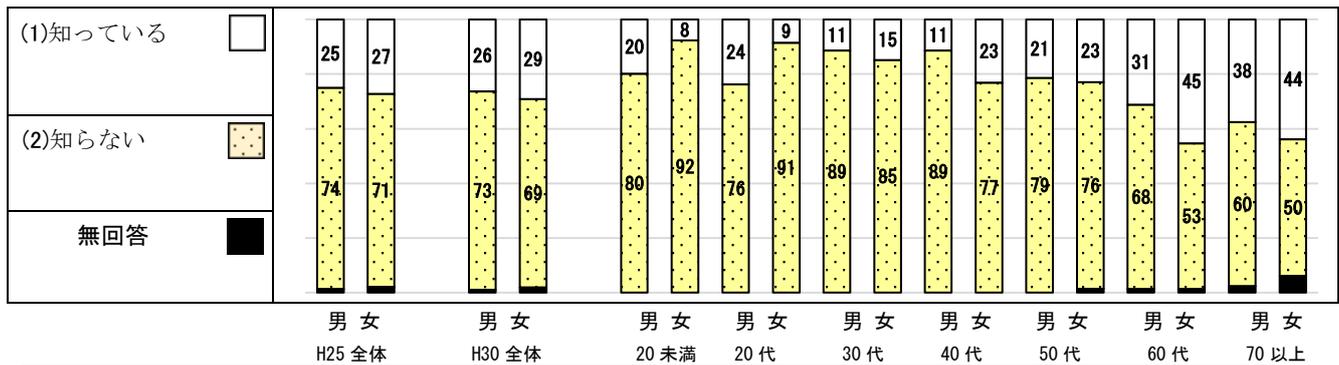
表3-1 赤磐市人権教育・啓発推進計画の周知度

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)知っている	196	28	82	27	113	29	1	50
(2)知らない	488	70	221	72	266	69	1	50
無回答	10	1	3	1	7	2	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)知っている	2	11	8	14	11	13	17	19
(2)知らない	16	89	48	86	71	87	74	81
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)知っている	26	22	60	38	69	41	3	60
(2)知らない	89	77	96	61	92	55	2	40
無回答	1	1	2	1	7	4	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図3-1

単位：%



赤磐市の「人権教育・啓発推進計画」の周知度は28%

赤磐市の「人権教育・啓発推進計画」の周知度について、「知っている」と回答した人の割合は28%(前回26%)、「知らない」と回答した人の割合は70%(前回72%)となっている。

年齢別では、年齢が高くなるにしたがって「知っている」と回答した人の割合は高くなっている。

(2) 赤磐市男女共同参画基本計画の周知度

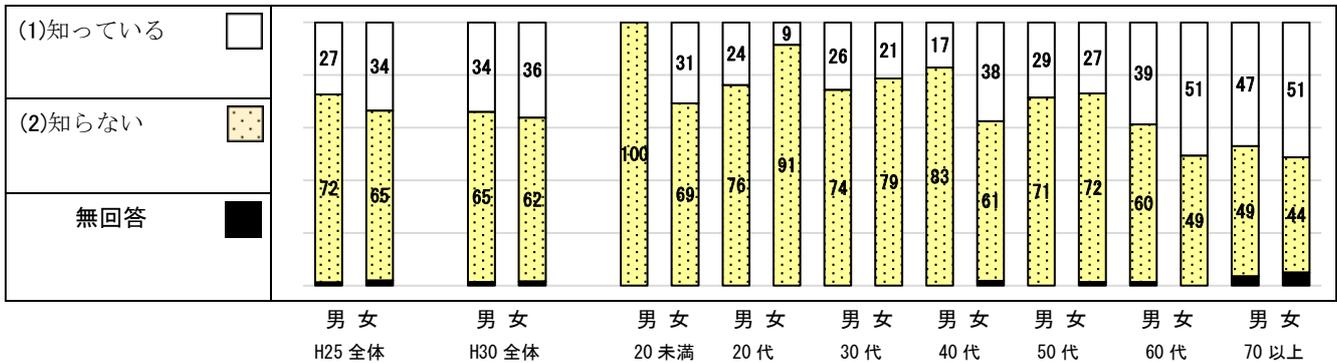
問2 赤磐市の「男女共同参画基本計画」があることを知っていますか。

表3-2 赤磐市男女共同参画基本計画の周知度 単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)知っている	246	35	104	34	141	37	1	50
(2)知らない	438	63	198	65	239	62	1	50
無回答	10	1	4	1	6	2	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)知っている	4	22	8	14	19	23	27	30
(2)知らない	14	78	48	86	63	77	63	69
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)知っている	32	28	70	44	83	49	3	60
(2)知らない	83	72	87	55	78	46	2	40
無回答	1	1	1	1	7	4	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図3-2

単位：%



赤磐市の「男女共同参画基本計画」の周知度は35%

赤磐市の「男女共同参画基本計画」の周知度について、「知っている」と回答した人の割合は35%(前回31%)、「知らない」と回答した人の割合は63%(前回68%)となっており、前回と比べて周知度は上がっている。年齢別では、年齢が高くなるにしたがって「知っている」と回答した人の割合は高くなっている。

(3) 赤磐市の実施する人権教育・啓発事業への参加の有無

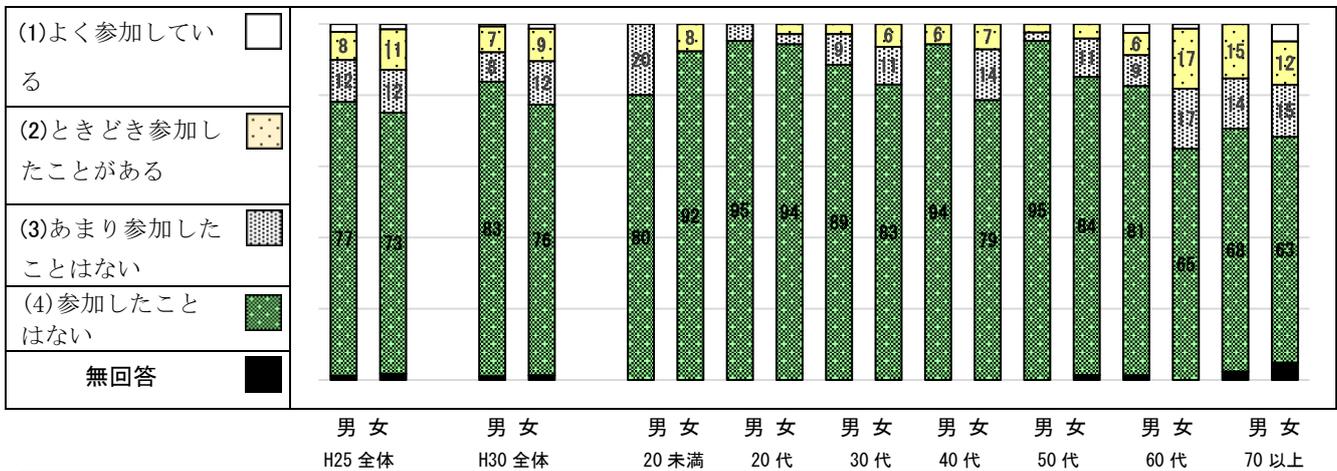
問3 あなたは、過去3年間に赤磐市が実施している人権に関するつどい・講演会・研修会・講座等に参加したことがありますか。

表3-3 赤磐市の実施する人権教育・啓発事業への参加の有無 単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)よく参加している	7	1	2	1	5	1	0	0
(2)ときどき参加したことがある	58	8	23	8	35	9	0	0
(3)あまり参加したことはない	73	11	25	8	48	12	0	0
(4)参加したことはない	548	79	253	83	293	76	2	100
無回答	8	1	3	1	5	1	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)よく参加している	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)ときどき参加したことがある	1	6	1	2	4	5	6	7
(3)あまり参加したことはない	1	6	2	4	8	10	8	9
(4)参加したことはない	16	89	53	95	70	85	77	85
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)よく参加している	0	0	3	2	4	2	0	0
(2)ときどき参加したことがある	4	3	18	11	23	14	1	20
(3)あまり参加したことはない	9	8	20	13	24	14	1	20
(4)参加したことはない	102	88	116	73	111	66	3	60
無回答	1	1	1	1	6	4	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図3-3

単位：%



赤磐市が実施する人権講演会・研修会・講座等に参加したことがある人の割合は9%

過去3年間に赤磐市が実施している人権に関する講演会・研修会・講座等への参加の有無に関する設問で、「よく参加している」(1%) (前回2%)と「ときどき参加したことがある」(8%) (前回10%)とを合わせて、参加したことがある人の割合は、9%であった。前回と比べると微減となっている。また、「あまり参加したことはない」(11%) (前回12%)と「参加したことはない」(79%) (前回75%)とを合わせて、参加したことの無い人の割合は、90%であった。

年齢別では、年齢が高くなるにしたがって「よく参加している」「ときどき参加したことがある」と回答した人の割合は高くなっている。また、女性の方が男性よりも参加率は高くなっている。

(4) 赤磐市の実施する人権教育・啓発事業へ参加しなかった理由

問4 講演会・研修会・講座等に参加しなかった理由は何ですか。

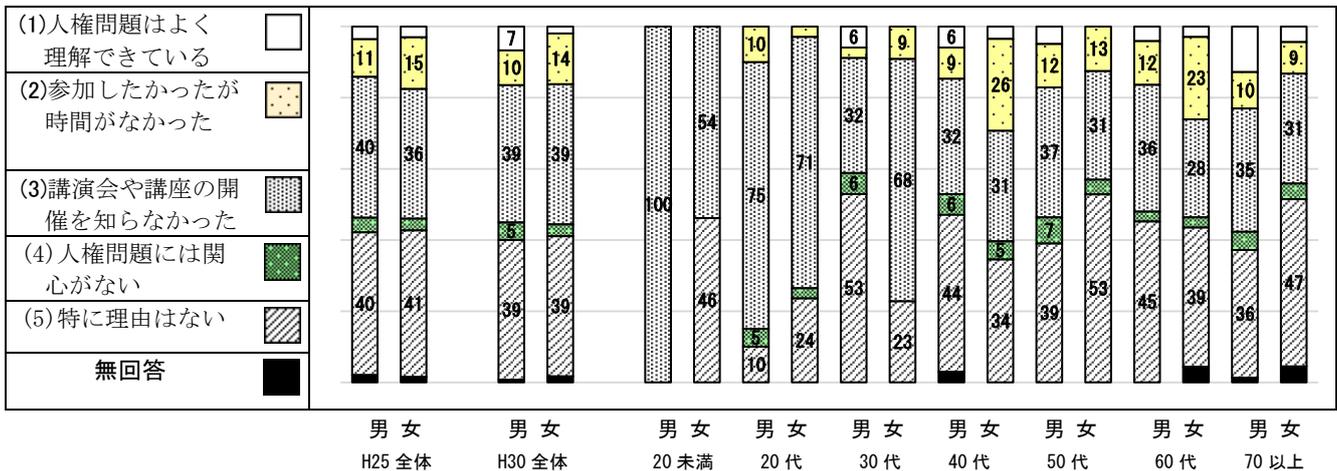
問3で参加したことはないとは回答した方のみ(3・4番の回答者)お答えください。

表3-4 赤磐市の実施する人権教育・啓発事業へ参加しなかった理由 単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)人権問題はよく理解できている	26	4	19	7	7	2	0	0
(2)参加したかったが時間がなかった	81	12	28	10	52	14	1	50
(3)講演会や講座の開催を知らなかった	251	39	110	38	141	39	0	0
(4)人権問題には関心がない	26	4	14	5	12	3	0	0
(5)特に理由はない	257	40	114	40	142	39	1	50
無回答	9	1	3	1	6	2	0	0
計	650	100	288	100	360	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)人権問題はよく理解できている	0	0	0	0	2	3	4	4
(2)参加したかったが時間がなかった	0	0	3	6	5	6	18	20
(3)講演会や講座の開催を知らなかった	12	67	39	72	41	53	29	32
(4)人権問題には関心がない	0	0	2	4	2	3	5	5
(5)特に理由はない	6	33	10	19	28	36	35	38
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1
計	18	100	54	100	78	100	92	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)人権問題はよく理解できている	2	2	5	3	13	9	0	0
(2)参加したかったが時間がなかった	14	12	25	17	15	10	1	20
(3)講演会や講座の開催を知らなかった	37	33	45	31	48	33	0	0
(4)人権問題には関心がない	6	5	4	3	7	5	0	0
(5)特に理由はない	54	48	61	43	60	41	3	60
無回答	0	0	3	2	4	3	1	20
計	113	100	143	100	147	100	5	100

図3-4

単位：%



講演会・研修会・講座等に参加しなかった理由は、特にないと思っている人の割合は40%

人権の講演会・研修会・講座等に参加しなかった理由について、「特に理由はない」と回答した人の割合は40%(前回41%)と最も高く、次いで、「講演会や講座の開催を知らなかった」39%(前回38%)「参加したかったが時間がなかった」12%(前回13%)の順となっている。この傾向は前回と変わらない。

性別では、「参加したかったが時間がなかった」と回答する人が多い女性に比べ、「人権問題はよく理解できている」と回答する男性が多かった。

年齢別では、年齢が高くなるにつれて「講演会や講座の開催を知らなかった」と回答する人の割合が減少するのに対し、「特に理由はない」と回答する割合が増加している。

(5) 市内全戸配布の人権カレンダー活用の有無

問5 赤磐市では、人権カレンダーを全戸に配布していますが、家庭内に掲示し、活用していますか。

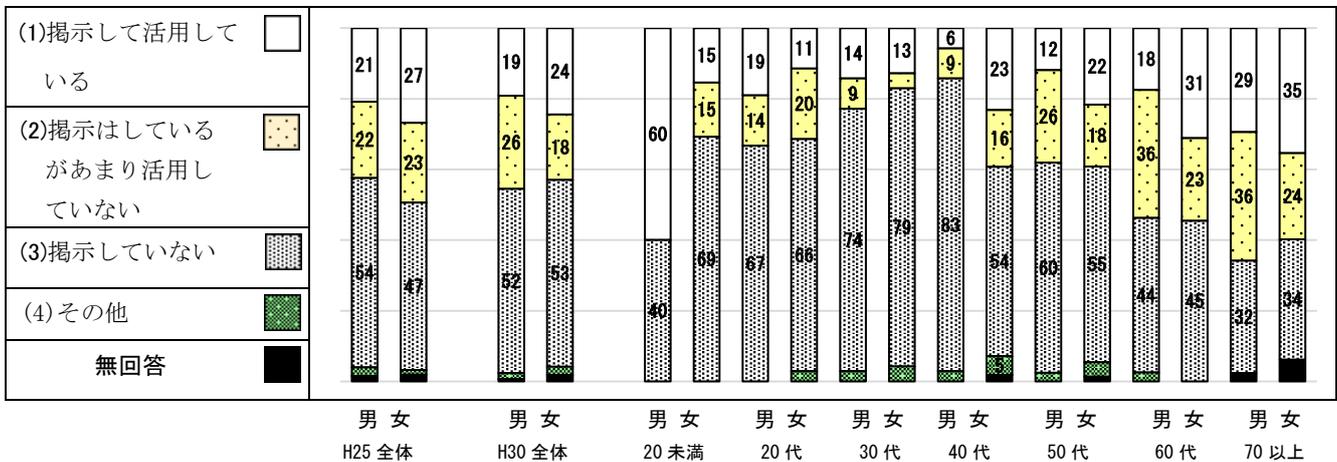
表3-5 市内全戸配布の人権カレンダー活用の有無

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 掲示して活用している	154	22	59	19	95	25	0	0
(2) 掲示はしているがあまり活用していない	153	22	81	26	72	19	0	0
(3) 掲示していない	364	52	159	52	203	53	2	100
(4) その他	14	2	5	2	9	2	0	0
無回答	9	1	2	1	7	2	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1) 掲示して活用している	5	28	8	14	11	13	15	16
(2) 掲示はしているがあまり活用していない	2	11	10	18	5	6	12	13
(3) 掲示していない	11	61	37	66	63	77	59	65
(4) その他	0	0	1	2	3	4	4	4
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1) 掲示して活用している	21	18	38	24	54	32	2	40
(2) 掲示はしているがあまり活用していない	24	21	47	30	51	30	2	40
(3) 掲示していない	66	57	71	45	56	33	1	20
(4) その他	4	3	2	1	0	0	0	0
無回答	1	1	0	0	7	4	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図3-5

単位：%



市内全戸配布の人権カレンダーを掲示している家庭は44%

市内全戸配布の人権カレンダーについて、「掲示していない」と回答した人の割合は52%(前回50%)で、次いで「掲示して活用している」(22%) (前回24%)、「掲示はしているがあまり活用していない」(22%) (前回22%)の順となっている。前回とほぼ同様の結果である。

性別では、「掲示していない」と回答した人の割合は、男性の方が高い。また、「掲示して活用している」と回答した人の割合は、女性の方が高い。

年齢別では、「掲示していない」と回答した人の割合は、30代・40代でピークになる山形状態になっている。また、「掲示して活用している」「掲示はしているがあまり活用していない」と回答した人の割合は、年齢が高くなるにしたがって増加している。

(6) 人権の作品募集・表彰式・作品展開催などに関する事業の周知度

問 6 人権作文・ポスター・標語を募集し、優秀作品を表彰したり、作品展を開催したりしていますが、ご覧になったことはありますか。

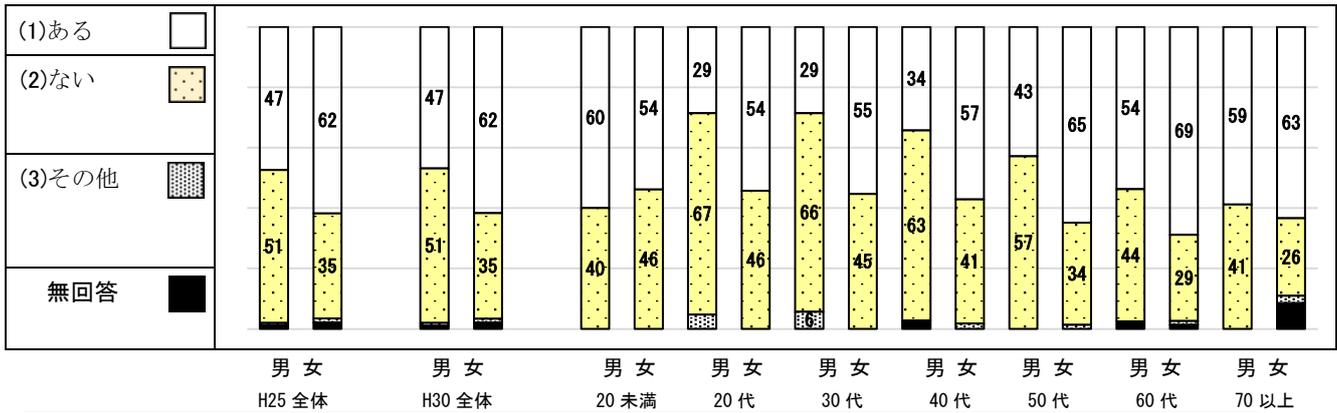
表3-6 人権の作品募集・表彰式・作品展開催などに関する事業の周知度

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)ある	385	55	145	47	239	62	1	50
(2)ない	290	42	155	51	134	35	1	50
(3)その他	8	1	3	1	5	1	0	0
無回答	11	2	3	1	8	2	0	0
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)ある	10	56	25	45	36	44	44	48
(2)ない	8	44	30	54	44	54	45	49
(3)その他	0	0	1	2	2	2	1	1
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)ある	66	57	97	61	102	61	5	100
(2)ない	49	42	57	36	57	34	0	0
(3)その他	1	1	1	1	2	1	0	0
無回答	0	0	3	2	7	4	0	0
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図 3-6

単位：%



人権の作品募集・表彰式・作品展開催などの事業を見たことがある人の割合は55%

「人権の作品募集・表彰式・作品展開催などをご覧になったことはありますか」との設問に対して、「ある」と回答した人の割合は55%(前回55%)となっている。

性別では、女性が「ある」(男性47%・女性62%)と回答することが多く、「ない」(男性51%・女性35%)と回答した人は、男性の方に多い。この比率は前回と全く同じである。

年齢別では、「ない」と回答した人の割合が20代・30代でピークになる山形状態になっている。

(7) 人権尊重のために心がけるべき行動指針に関する意識

問7 市民一人ひとりの人権を尊重しあうために、心がけたり行動すべきことはどのようなことだと思いますか。3つまで選んでください。

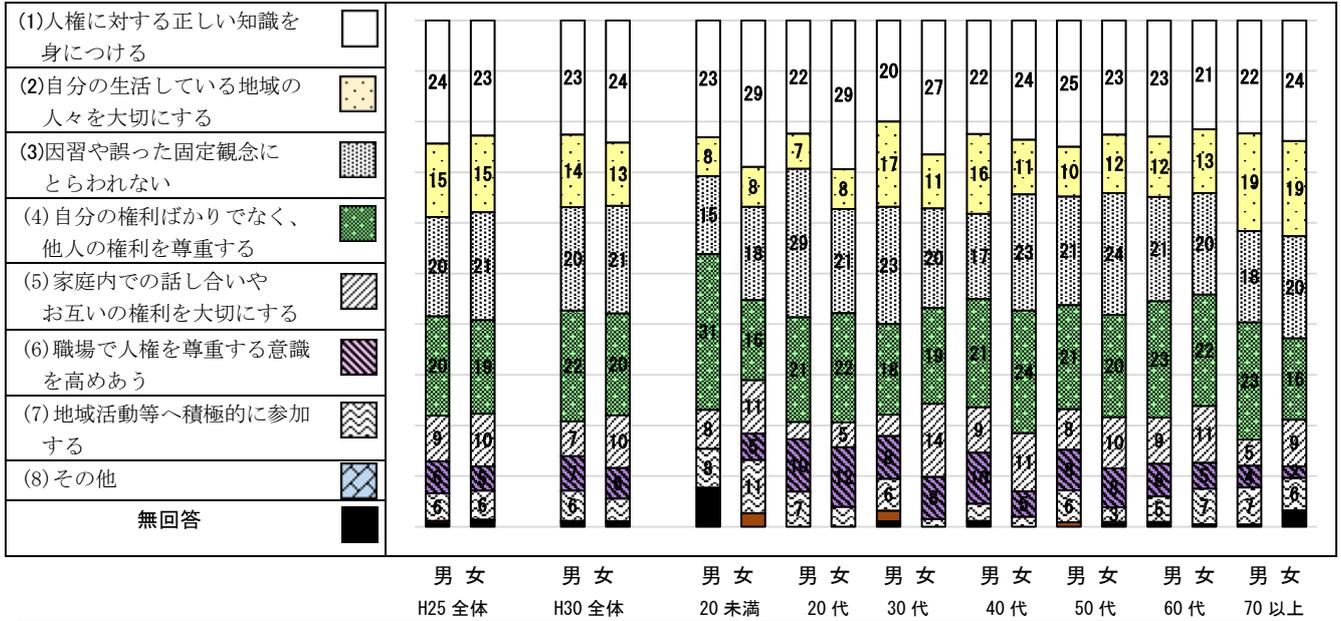
表3-7 人権尊重のために心がけるべき行動指針に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)人権に対する正しい知識を身につけること	449	24	187	23	260	24	2	33
(2)自分の生活している地域の人々を大切にすること	255	13	119	14	134	12	2	33
(3)因習や誤った固定観念にとらわれないこと	396	21	167	20	229	21	0	0
(4)自分の権利ばかりでなく、他人の権利を尊重すること	397	21	181	22	215	20	1	17
(5)家庭内での話し合いやお互いの権利を大切にすること	171	9	59	7	111	10	1	17
(6)職場で人権を尊重する意識を高めあうこと	122	6	56	7	66	6	0	0
(7)地域活動等へ積極的に参加すること	97	5	49	6	48	4	0	0
(8)その他	6	0	3	0	3	0	0	0
無回答	15	1	6	1	9	1	0	0
計	1908	100	827	100	1075	100	6	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)人権に対する正しい知識を身につけること	14	27	43	27	54	24	57	23
(2)自分の生活している地域の人々を大切にすること	4	8	12	8	30	13	31	13
(3)因習や誤った固定観念にとらわれないこと	9	18	38	24	48	21	51	21
(4)自分の権利ばかりでなく、他人の権利を尊重すること	10	20	34	21	42	19	57	23
(5)家庭内での話し合いやお互いの権利を大切にすること	5	10	7	4	23	10	26	11
(6)職場で人権を尊重する意識を高めあうこと	2	4	18	11	19	8	17	7
(7)地域活動等へ積極的に参加すること	5	10	8	5	8	4	6	2
(8)その他	1	2	0	0	2	1	0	0
無回答	1	2	0	0	1	0	1	0
計	51	100	160	100	227	100	246	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)人権に対する正しい知識を身につけること	75	23	97	22	105	23	4	27
(2)自分の生活している地域の人々を大切にすること	35	11	54	12	87	19	2	13
(3)因習や誤った固定観念にとらわれないこと	74	23	88	20	86	19	2	13
(4)自分の権利ばかりでなく、他人の権利を尊重すること	65	20	98	23	89	20	2	13
(5)家庭内での話し合いやお互いの権利を大切にすること	30	9	44	10	33	7	3	20
(6)職場で人権を尊重する意識を高めあうこと	25	8	25	6	15	3	1	7
(7)地域活動等へ積極的に参加すること	13	4	26	6	31	7	0	0
(8)その他	2	1	0	0	0	0	1	7
無回答	1	0	3	1	8	2	0	0
計	320	100	435	100	454	100	15	100

図 3-7

単位：%



自他の人権を尊重するためには、人権に対する正しい知識を身につけることだと考えている人の割合は 24%

市民一人ひとりの人権を尊重しあうために、心がけたり行動したりすべきことについて、「人権に対する正しい知識を身につけること」と回答した人の割合は 24%(前回 24%)と最も高く、次いで「自分の権利ばかりでなく、他人の権利を尊重すること」(21%)(前回 19%)「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」(21%)(前回 21%)の順となっている。前回調査とほぼ同じ結果になっている。

前回の調査では、年齢別で「家庭内での話し合いやお互いの権利を大切にすること」と回答した割合が低かった 18～19 歳の割合が 3.6%で特徴的だったが、今回調査でも、その年代の 5 年後である 20 代の回答が 4%と低くなっていることが特徴的である。

4 さまざまな人権課題の意識や考え方について

(1) 女性に関する人権上の問題点

問 1(1) あなたは女性に関して、現在どのような人権上の問題があると思われますか。
3 つまで選んでください。

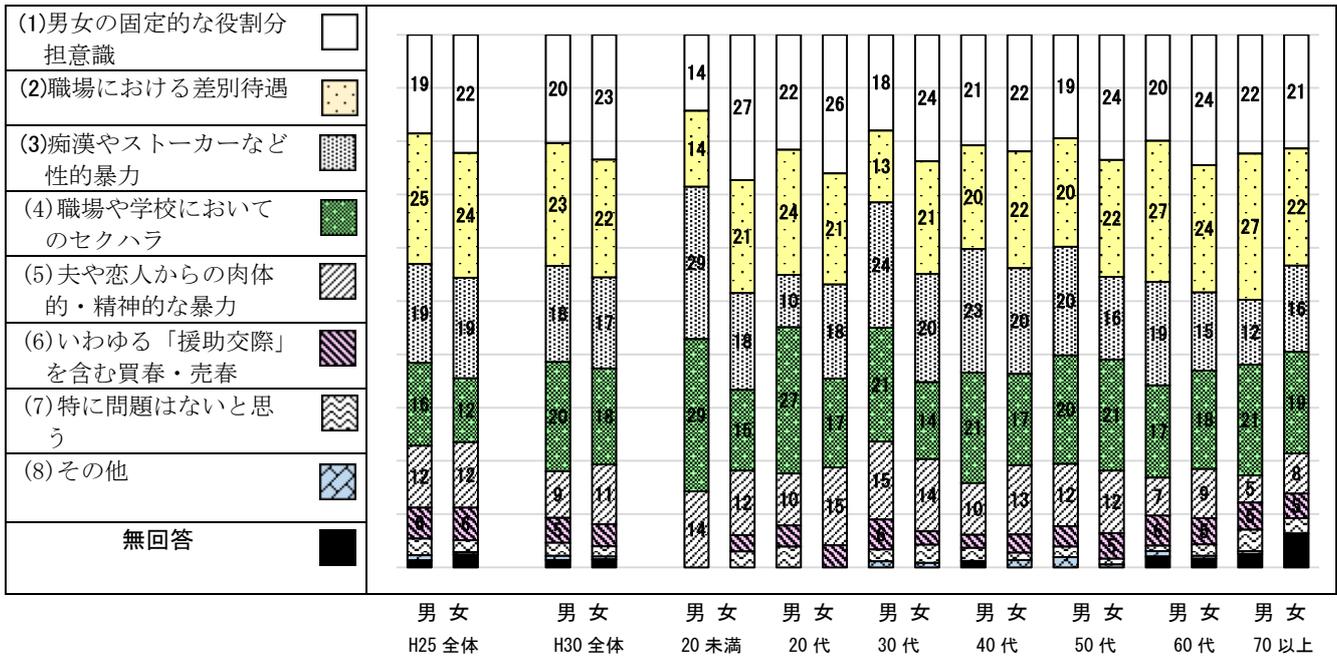
表 4-1 女性に関する人権上の問題点

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)男女の固定的な役割分担意識(男は仕事、女は家庭等)	373	22	151	20	221	23	1	17
(2)職場における差別待遇(賃金、昇給、昇格、職種等)	380	23	170	23	209	22	1	17
(3)痴漢やストーカーなど性的暴力	296	18	134	18	160	17	2	33
(4)職場や学校におけるのセクシュアル・ハラスメント (性的嫌がらせ)	321	19	151	20	170	18	0	0
(5)夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力(DV)	172	10	65	9	105	11	2	33
(6)いわゆる「援助交際」を含む買春・売春	73	4	34	5	39	4	0	0
(7)特に問題はないと思う	36	2	18	2	18	2	0	0
(8)その他	11	1	6	1	5	1	0	0
無回答	24	1	10	1	14	1	0	0
計	1686	100	739	100	941	100	6	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)男女の固定的な役割分担意識(男は仕事、女は家庭等)	11	23	36	24	44	21	49	21
(2)職場における差別待遇(賃金、昇給、昇格、職種等)	9	19	32	22	37	18	48	21
(3)痴漢やストーカーなど性的暴力	10	21	22	15	45	22	48	21
(4)職場や学校におけるのセクシュアル・ハラスメント (性的嫌がらせ)	9	19	30	20	36	17	42	18
(5)夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力(DV)	6	13	19	13	29	14	27	12
(6)いわゆる「援助交際」を含む買春・売春	1	2	6	4	8	4	7	3
(7)特に問題はないと思う	1	2	2	1	6	3	4	2
(8)その他	0	0	0	0	2	1	2	1
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0
計	47	100	147	100	207	100	228	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)男女の固定的な役割分担意識(男は仕事、女は家庭等)	64	22	85	22	81	22	3	27
(2)職場における差別待遇(賃金、昇給、昇格、職種等)	62	21	96	25	93	25	3	27
(3)痴漢やストーカーなど性的暴力	50	17	66	17	53	14	2	18
(4)職場や学校におけるのセクシュアル・ハラスメント (性的嫌がらせ)	60	21	68	18	74	20	2	18
(5)夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力(DV)	34	12	32	8	24	6	1	9
(6)いわゆる「援助交際」を含む買春・売春	13	4	20	5	18	5	0	0
(7)特に問題はないと思う	4	1	6	2	13	3	0	0
(8)その他	3	1	3	1	1	0	0	0
無回答	0	0	7	2	16	4	0	0
計	290	100	383	100	373	100	11	100

図 4-1

単位：%



女性に関する人権問題について、「職場における差別待遇」「男女の固定的な役割分担意識」「職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント」「痴漢やストーカーなど性的暴力」の4つが20%

女性に関する人権上の問題点について、「職場における差別待遇（賃金、昇給、昇格、職種など）」と回答した人の割合は23%（前回24%）と最も高く、次いで「男女の固定的な役割分担意識（男は仕事、女は家庭など）」（22%）（前回21%）、「職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント」（19%）（前回14%）「痴漢やストーカーなど性的暴力」（18%）（前回19%）の順となっている。前回に比べ、「職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント」が大幅に増えた。

性別で比較すると、女性の方が「男女の固定的な役割分担意識」と回答した人の割合は23%（前回22%）と、男性の20%（前回19%）と比べて高くなっている。

年齢別では、年齢が高くなるにつれて、「職場における差別待遇」と回答した人の割合は高くなるのに対し、「夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力」と回答した人の割合は低くなっている。

(2) 女性の人権を尊重するために必要な方策

問1(2) 女性の人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

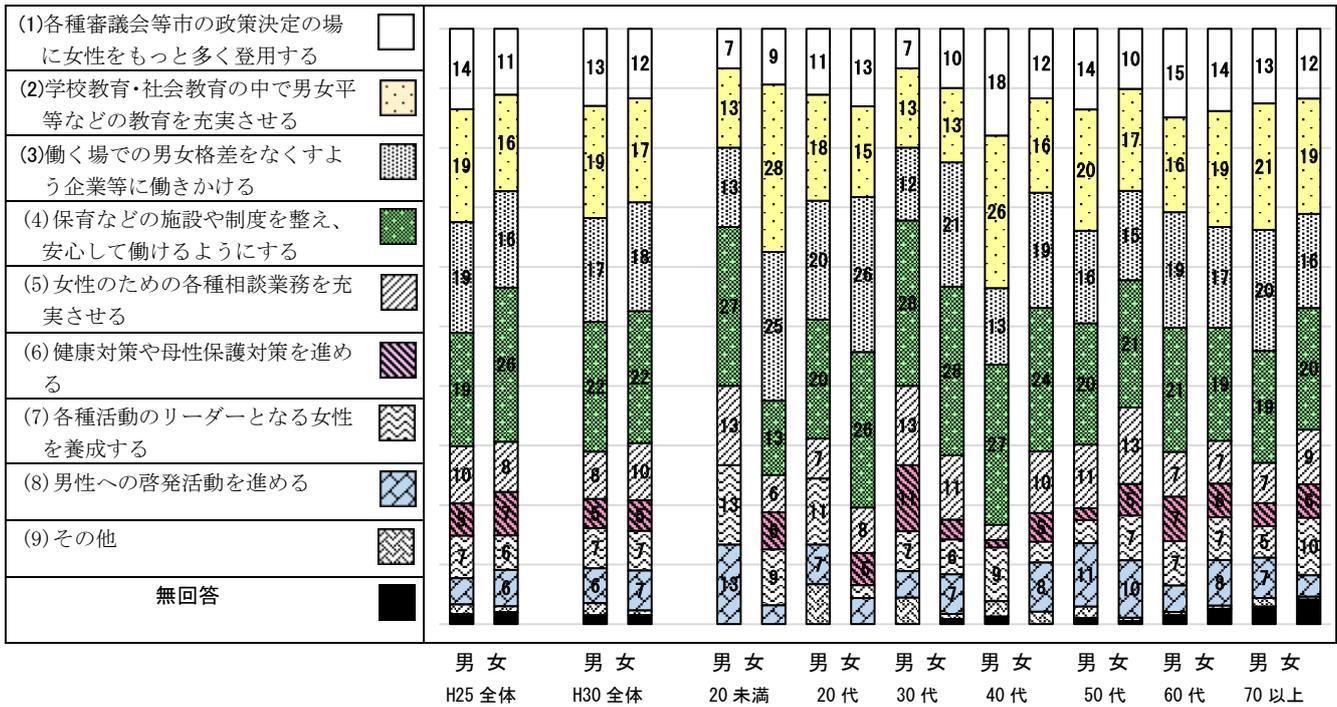
表4-2 女性の人権を尊重するために必要な方策

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)各種審議会など市の政策決定の場に女性をもっと多く登用する	211	12	97	13	114	12	0	0
(2)学校教育・社会教育の中で男女平等などの教育を充実させる	312	18	140	19	170	17	2	50
(3)働く場での男女格差をなくすよう企業等に働きかける	311	18	131	18	179	18	1	25
(4)保育などの施設や制度を整え、安心して働けるようにする	380	22	164	22	216	22	0	0
(5)女性のための各種相談業務を充実させる	152	9	59	8	93	10	0	0
(6)健康対策や母性保護対策を進める	86	5	36	5	50	5	0	0
(7)各種活動のリーダーとなる女性を養成する	115	7	50	7	64	7	1	25
(8)男性への啓発活動を進める	108	6	43	6	65	7	0	0
(9)その他	22	1	15	2	7	1	0	0
無回答	26	2	11	1	15	2	0	0
計	1723	100	746	100	973	100	4	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)各種審議会など市の政策決定の場に女性をもっと多く登用する	4	9	17	12	18	9	31	14
(2)学校教育・社会教育の中で男女平等などの教育を充実させる	11	23	22	16	27	13	43	19
(3)働く場での男女格差をなくすよう企業等に働きかける	10	21	33	24	36	17	38	17
(4)保育などの施設や制度を整え、安心して働けるようにする	8	17	33	24	59	28	56	25
(5)女性のための各種相談業務を充実させる	4	9	10	7	25	12	17	8
(6)健康対策や母性保護対策を進める	2	4	5	4	14	7	8	4
(7)各種活動のリーダーとなる女性を養成する	5	11	7	5	13	6	12	5
(8)男性への啓発活動を進める	3	6	7	5	12	6	12	5
(9)その他	0	0	3	2	5	2	5	2
無回答	0	0	0	0	1	0	1	0
計	47	100	137	100	210	100	223	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)各種審議会など市の政策決定の場に女性をもっと多く登用する	33	11	57	14	49	12	2	15
(2)学校教育・社会教育の中で男女平等などの教育を充実させる	53	18	71	18	83	20	2	15
(3)働く場での男女格差をなくすよう企業等に働きかける	44	15	72	18	74	18	4	31
(4)保育などの施設や制度を整え、安心して働けるようにする	61	21	79	20	79	19	5	38
(5)女性のための各種相談業務を充実させる	35	12	29	7	32	8	0	0
(6)健康対策や母性保護対策を進める	12	4	26	7	19	5	0	0
(7)各種活動のリーダーとなる女性を養成する	18	6	29	7	31	8	0	0
(8)男性への啓発活動を進める	29	10	24	6	21	5	0	0
(9)その他	3	1	2	1	4	1	0	0
無回答	2	1	8	2	14	3	0	0
計	290	100	397	100	406	100	13	100

図 4-2

単位：%



女性の人権を尊重するために必要なことについて、「保育などの施設や制度を整え、安心して働けるようにする」「学校教育・社会教育の中で男女平等などの教育を充実させる」「働く場での男女格差をなくすよう企業等に働きかける」がともに 20%

女性の人権を尊重するために必要なことについて、「保育などの施設や制度を整え、安心して働けるようにする」と回答した人の割合は 22%（前回 23%）と最も高く、次いで「学校教育・社会教育の中で男女平等などの教育を充実させる」（18%）（前回 17%）、「働く場での男女格差をなくすよう企業等に働きかける」（18%）（前回 17%）の順となっている。

性別による差異は、前回調査に比べほとんどなくなっている。

年齢別では、30～39 歳の「保育などの施設や制度を整え、安心して働けるようにする」と回答した人の割合は 28%（前回 27%）と、他の年齢層よりも高くなっており、前回よりも微増している。また、20 代以下の人の回答で「働く場での男女格差をなくすよう企業等に働きかける」と回答する人が他の年齢層よりも高くなっている。

(3) 子どもに関する人権上の問題点

問2(1) あなたは子どもに関して、現在どのような人権上の問題があると思われますか。
3つまで選んでください。

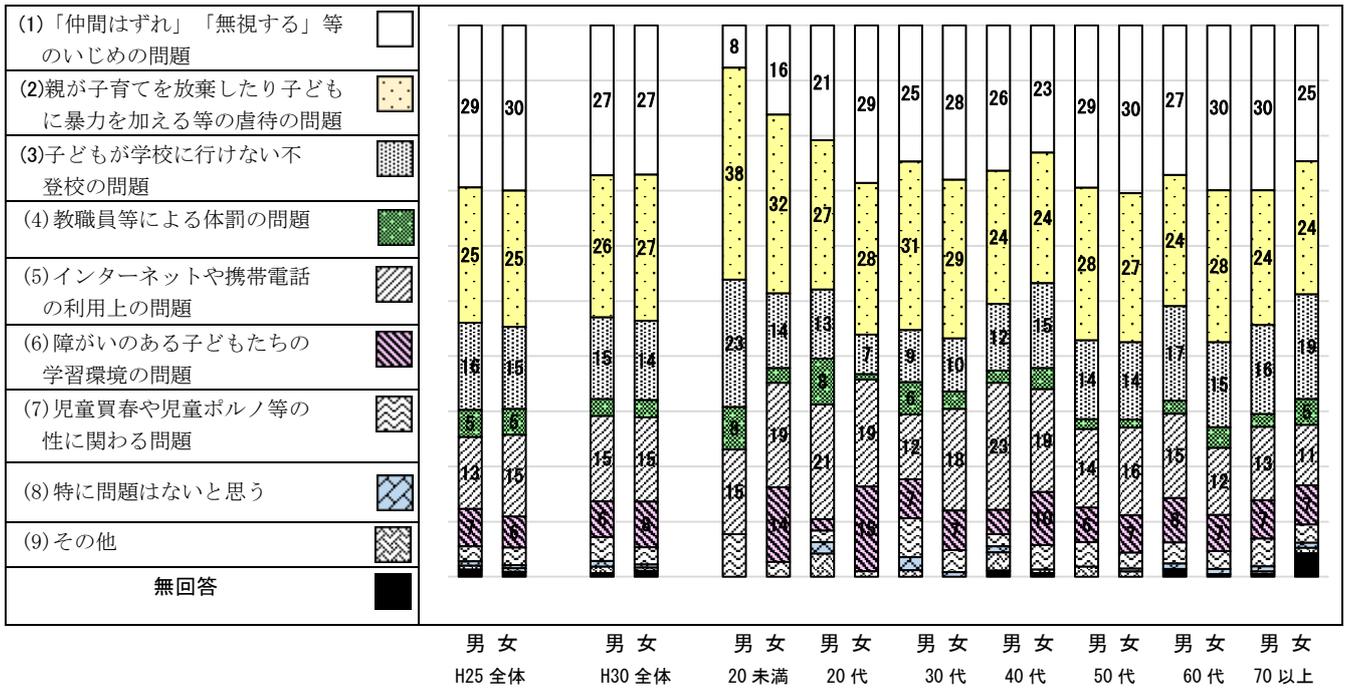
表4-3 子どもに関する人権上の問題点

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)「仲間はずれ」や相手を「無視する」などのいじめの問題	501	27	213	27	286	27	2	33
(2)親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題	481	26	201	26	278	26	2	33
(3)子どもが学校に行けない不登校の問題	268	15	117	15	151	14	0	0
(4)教職員等による体罰の問題	57	3	24	3	33	3	0	0
(5)インターネットや携帯電話の利用上の問題	286	16	122	16	162	15	2	33
(6)障がいのある子どもたちの学習環境の問題	137	7	50	6	87	8	0	0
(7)児童買春や児童ポルノ等の性に関わる問題	67	4	34	4	33	3	0	0
(8)特に問題はないと思う	14	1	8	1	6	1	0	0
(9)その他	15	1	9	1	6	1	0	0
無回答	16	1	5	1	11	1	0	0
計	1842	100	783	100	1053	100	6	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)「仲間はずれ」や相手を「無視する」などのいじめの問題	7	14	38	26	56	27	60	24
(2)親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題	17	34	40	27	62	30	59	24
(3)子どもが学校に行けない不登校の問題	8	16	13	9	20	10	35	14
(4)教職員等による体罰の問題	2	4	5	3	9	4	8	3
(5)インターネットや携帯電話の利用上の問題	9	18	29	20	33	16	50	20
(6)障がいのある子どもたちの学習環境の問題	5	10	16	11	15	7	19	8
(7)児童買春や児童ポルノ等の性に関わる問題	2	4	1	1	11	5	9	4
(8)特に問題はないと思う	0	0	1	1	3	1	1	0
(9)その他	0	0	3	2	1	0	4	2
無回答	0	0	0	0	0	0	2	1
計	50	100	146	100	210	100	247	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)「仲間はずれ」や相手を「無視する」などのいじめの問題	96	30	122	29	118	27	4	33
(2)親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題	87	27	110	26	105	24	1	8
(3)子どもが学校に行けない不登校の問題	45	14	69	16	75	17	3	25
(4)教職員等による体罰の問題	5	2	13	3	15	3	0	0
(5)インターネットや携帯電話の利用上の問題	49	15	59	14	53	12	4	33
(6)障がいのある子どもたちの学習環境の問題	21	7	31	7	30	7	0	0
(7)児童買春や児童ポルノ等の性に関わる問題	11	3	15	4	18	4	0	0
(8)特に問題はないと思う	1	0	4	1	4	1	0	0
(9)その他	4	1	0	0	3	1	0	0
無回答	0	0	4	1	10	2	0	0
計	319	100	427	100	431	100	12	100

図 4-3

単位：%



子どもに関する人権問題について、『仲間はずれ』や相手を『無視する』などのいじめの問題」「親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えたりするなどの虐待の問題」と回答した人がともに約 30%

子どもに関する人権上の問題点について、『仲間はずれ』や相手を『無視する』などのいじめの問題」と回答した人の割合は 27%（前回 30%）と最も高く、次いで「親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えたりするなどの虐待の問題」（26%）（前回 25%）、「インターネットや携帯電話の利用上の問題」（16%）（前回 14%）、「子どもが学校に行けない不登校の問題」（15%）（前回 15%）の順となっている。前回調査とほぼ同様な結果ではあるが、インターネットに関わる問題が大きくなっている。

年齢別では、『仲間はずれ』や相手を『無視する』などのいじめの問題」と回答した人の割合は、20 歳未満から 20 代にかけて高くなり、30 代から一定になるが、「親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題」と回答した人の割合は、30 代からは一定になるものの、20 代から 20 歳未満にかけて年齢が低くなるにしたがって高い割合を示すようになっている。

(4) 子どもの人権を尊重するために必要な方策

問2(2) 子どもの人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

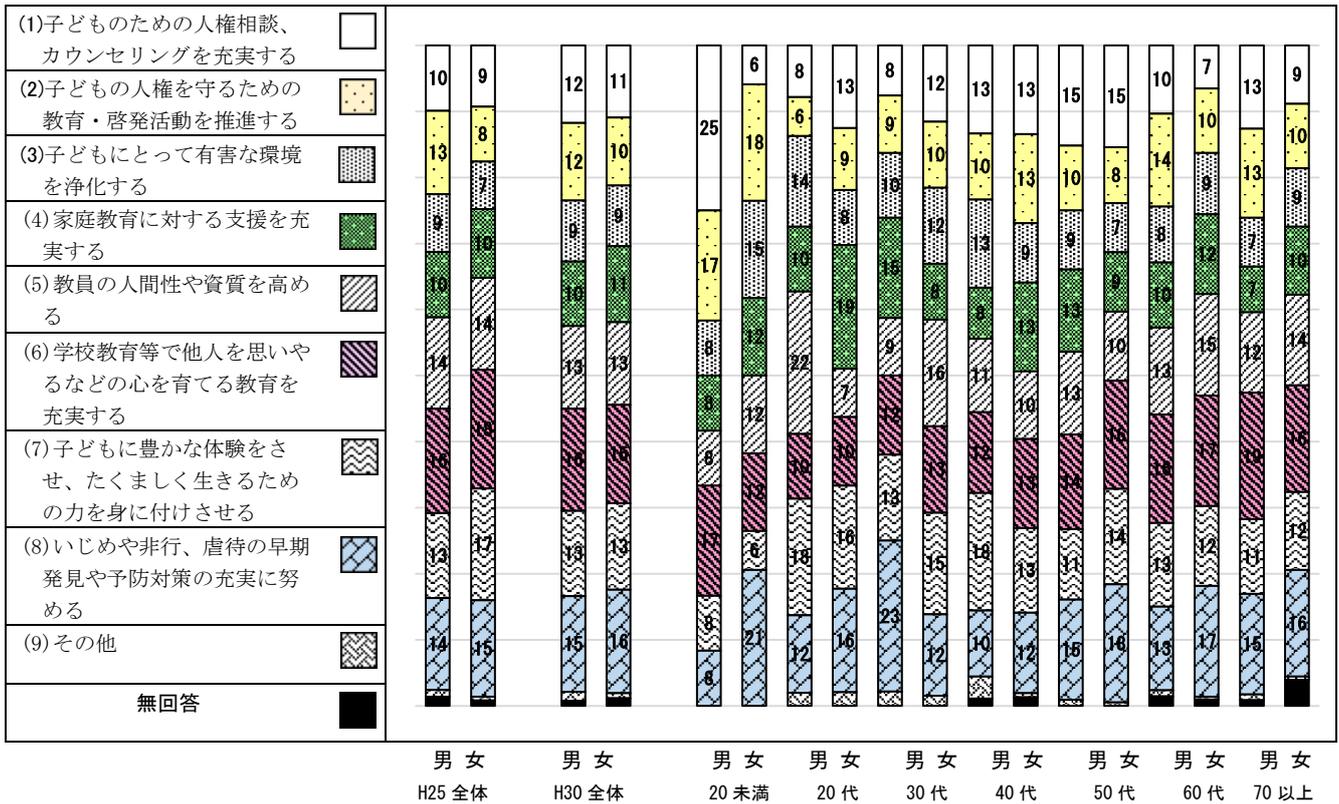
表4-4 子どもの人権を尊重するために必要な方策

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)子どものための人権相談、カウンセリングを充実する	209	11	95	12	114	11	0	0
(2)子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する	202	11	94	12	107	10	1	17
(3)子どもにとって有害な環境を浄化する	173	9	75	9	96	9	2	33
(4)家庭教育に対する支援を充実する	200	11	79	10	120	12	1	17
(5)教員の人間性や資質を高める	230	12	100	12	130	12	0	0
(6)学校教育等で他人を思いやるなどの心を育てる教育を充実する	282	15	125	15	155	15	2	33
(7)子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身に付けさせる	240	13	104	13	136	13	0	0
(8)いじめや非行、虐待の早期発見や予防対策の充実に努める	282	15	118	15	164	16	0	0
(9)その他	19	1	11	1	8	1	0	0
無回答	18	1	6	1	12	1	0	0
計	1855	100	807	100	1042	100	6	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)子どものための人権相談、カウンセリングを充実する	5	11	16	11	22	10	33	13
(2)子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する	8	17	12	8	21	9	30	12
(3)子どもにとって有害な環境を浄化する	6	13	15	10	24	11	26	11
(4)家庭教育に対する支援を充実する	5	11	23	16	25	11	28	11
(5)教員の人間性や資質を高める	5	11	18	12	29	13	26	11
(6)学校教育等で他人を思いやるなどの心を育てる教育を充実する	6	13	15	10	28	13	32	13
(7)子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身に付けさせる	3	7	24	16	32	14	36	15
(8)いじめや非行、虐待の早期発見や予防対策の充実に努める	8	17	21	14	37	17	28	11
(9)その他	0	0	3	2	4	2	4	2
無回答	0	0	0	0	0	0	3	1
計	46	100	147	100	222	100	246	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)子どものための人権相談、カウンセリングを充実する	48	15	36	8	47	11	2	15
(2)子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する	28	9	52	12	51	12	0	0
(3)子どもにとって有害な環境を浄化する	25	8	39	9	36	8	2	15
(4)家庭教育に対する支援を充実する	32	10	47	11	38	9	2	15
(5)教員の人間性や資質を高める	35	11	61	14	56	13	0	0
(6)学校教育等で他人を思いやるなどの心を育てる教育を充実する	49	16	71	16	77	18	2	15
(7)子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身に付けさせる	41	13	54	13	51	12	1	8
(8)いじめや非行、虐待の早期発見や予防対策の充実に努める	53	17	63	15	68	16	4	31
(9)その他	2	1	3	1	3	1	0	0
無回答	0	0	5	1	10	2	0	0
計	313	100	431	100	437	100	13	100

図 4-4

単位：%



子どもの人権を尊重するために必要なことについて、「学校教育等で他人を思いやるなどの心を育てる教育を充実する」と回答した人が15%

子どもの人権を尊重するために必要なことについて、「学校教育等で他人を思いやるなどの心を育てる教育を充実する」(前回17%)「いじめや非行、虐待の早期発見や予防対策の充実に努める」(前回14%)と回答した人の割合が15%と最も高く、次いで、「子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身に付けさせる」(13%) (前回15%)の順となっている。

前回調査とは異なり、性別による差異はほとんど無い。

年齢別では、「学校教育等で他人を思いやるなどの心を育てる教育を充実する」と回答した人は年齢が高くなるほど高くなっている。

(5) 高齢者に関する人権上の問題点

問3(1) あなたは高齢者に関して、現在どのような人権上の問題があると思われますか。
3つまで選んでください。

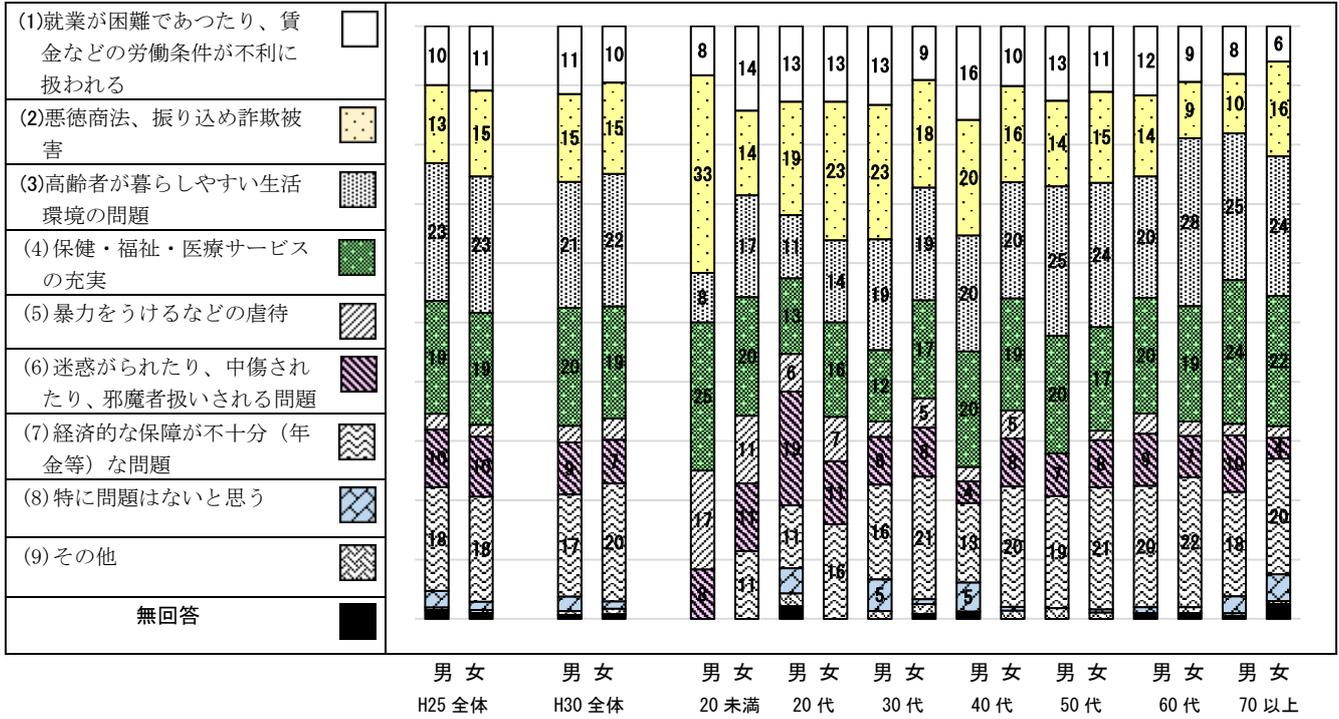
表4-5 高齢者に関する人権上の問題点

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)就業が困難であったり、賃金などの労働条件が不利に扱われる	182	10	86	11	95	10	1	17
(2)悪徳商法、振り込め詐欺被害	265	15	111	15	153	15	1	17
(3)高齢者が暮らしやすい生活環境の問題	382	22	159	21	222	22	1	17
(4)保健・福祉・医療サービスの充実	339	19	149	20	188	19	2	33
(5)暴力をうけるなどの虐待	57	3	21	3	36	4	0	0
(6)迷惑がられたり、中傷されたり、邪魔者扱いされる問題	139	8	66	9	73	7	0	0
(7)経済的な保障が不十分（年金等）な問題	328	19	129	17	198	20	1	17
(8)特に問題はないと思う	30	2	18	2	12	1	0	0
(9)その他	14	1	5	1	9	1	0	0
無回答	13	1	5	1	8	1	0	0
計	1749	100	749	100	994	100	6	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)就業が困難であったり、賃金などの労働条件が不利に扱われる	6	13	18	13	21	11	28	12
(2)悪徳商法、振り込め詐欺被害	9	19	31	22	39	20	40	17
(3)高齢者が暮らしやすい生活環境の問題	7	15	18	13	37	19	45	20
(4)保健・福祉・医療サービスの充実	10	21	21	15	29	15	44	19
(5)暴力をうけるなどの虐待	6	13	10	7	8	4	9	4
(6)迷惑がられたり、中傷されたり、邪魔者扱いされる問題	5	11	19	13	16	8	15	7
(7)経済的な保障が不十分（年金等）な問題	4	9	20	14	37	19	41	18
(8)特に問題はないと思う	0	0	2	1	5	3	5	2
(9)その他	0	0	1	1	3	2	2	1
無回答	0	0	1	1	1	1	1	0
計	47	100	141	100	196	100	230	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)就業が困難であったり、賃金などの労働条件が不利に扱われる	35	12	43	11	30	7	1	8
(2)悪徳商法、振り込め詐欺被害	45	15	48	12	53	13	0	0
(3)高齢者が暮らしやすい生活環境の問題	74	25	100	24	99	24	2	15
(4)保健・福祉・医療サービスの充実	55	18	80	20	96	23	4	31
(5)暴力をうけるなどの虐待	3	1	12	3	8	2	1	8
(6)迷惑がられたり、中傷されたり、邪魔者扱いされる問題	23	8	32	8	27	7	2	15
(7)経済的な保障が不十分（年金等）な問題	60	20	86	21	77	19	3	23
(8)特に問題はないと思う	1	0	2	0	15	4	0	0
(9)その他	4	1	2	0	2	0	0	0
無回答	0	0	4	1	6	1	0	0
計	300	100	409	100	413	100	13	100

図 4-5

単位：%



高齢者に関する人権問題について、「高齢者が暮らしやすい生活環境の問題」が22%

高齢者に関する人権上の問題点について、「高齢者が暮らしやすい生活環境の問題」と回答した人の割合は22%（前回23%）と最も高く、次いで「保健・福祉・医療サービスの充実」（19%）（前回19%）、「経済的な保障が不十分（年金等）な問題」（19%）（前回18%）の順となっている。この傾向は前回調査と変わっていない。

年齢別では、年齢が高くなるにつれて、「高齢者が暮らしやすい生活環境の問題」「経済的な保障が不十分（年金等）な問題」「保健・福祉・医療サービスの充実」等を回答した人の割合は高くなっている反面、「悪徳商法、振り込め詐欺被害」と回答した人の割合が低くなっている。

(6) 高齢者の人権を尊重するために必要な方策

問 3(2) 高齢者の人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

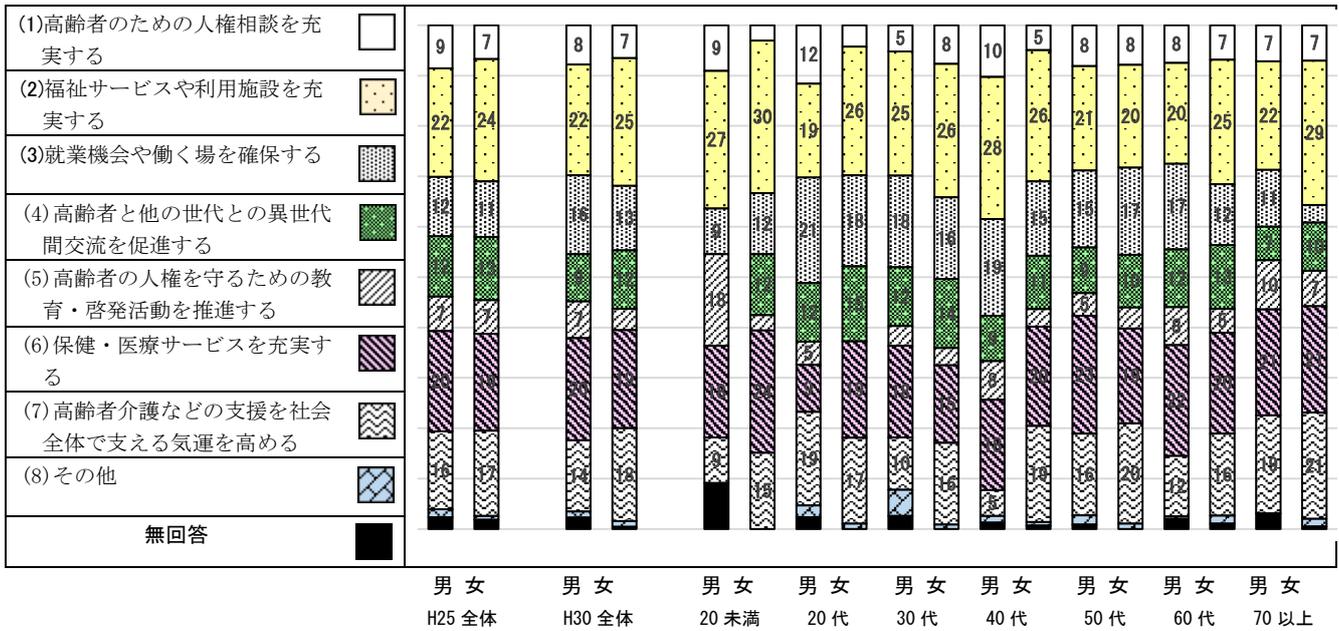
表 4-6 高齢者の人権を尊重するために必要な方策

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 高齢者のための人権相談を充実する	119	7	56	8	63	6	0	0
(2) 福祉サービスや利用施設を充実する	405	24	157	22	247	25	1	25
(3) 就業機会や働く場を確保する	239	14	114	16	124	13	1	25
(4) 高齢者との世代との異世代間交流を促進する	180	11	68	9	112	12	0	0
(5) 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	93	5	52	7	41	4	0	0
(6) 保健・医療サービスを充実する	338	20	147	20	190	20	1	25
(7) 高齢者介護などの支援を社会全体で支える 気運を高める	281	17	102	14	178	18	1	25
(8) その他	20	1	9	1	11	1	0	0
無回答	20	1	16	2	4	0	0	0
計	1695	100	721	100	970	100	4	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 高齢者のための人権相談を充実する	2	5	9	7	13	7	15	7
(2) 福祉サービスや利用施設を充実する	13	30	32	23	50	26	59	27
(3) 就業機会や働く場を確保する	5	11	26	19	33	17	36	16
(4) 高齢者との世代との異世代間交流を促進する	4	9	19	14	25	13	22	10
(5) 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	3	7	2	1	7	4	11	5
(6) 保健・医療サービスを充実する	10	23	22	16	32	16	42	19
(7) 高齢者介護などの支援を社会全体で支える 気運を高める	6	14	24	18	27	14	31	14
(8) その他	0	0	2	1	5	3	2	1
無回答	1	2	1	1	2	1	2	1
計	44	100	137	100	194	100	220	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 高齢者のための人権相談を充実する	24	8	28	7	28	7	0	0
(2) 福祉サービスや利用施設を充実する	62	21	87	22	100	25	2	20
(3) 就業機会や働く場を確保する	50	17	57	15	30	8	2	20
(4) 高齢者との世代との異世代間交流を促進する	30	10	47	12	32	8	1	10
(5) 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	13	4	24	6	33	8	0	0
(6) 保健・医療サービスを充実する	62	21	82	21	84	21	4	40
(7) 高齢者介護などの支援を社会全体で支える 気運を高める	56	19	56	14	80	20	1	10
(8) その他	4	1	4	1	3	1	0	0
無回答	1	0	6	2	7	2	0	0
計	302	100	391	100	397	100	10	100

図 4-6

単位：%



高齢者の人権を尊重するために必要なことについて、「福祉サービスや利用施設を充実する」「保健・医療サービスを充実する」と回答した人がともに約 20%

高齢者の人権を尊重するために必要なことについて、「福祉サービスや利用施設を充実する」と回答した人の割合が 24%（前回 23%）と最も高く、次いで「保健・医療サービスを充実する」（20%）（前回 20%）、「高齢者介護などの支援を社会全体で支える気運を高める」（17%）（前回 16%）の順となっている。この傾向は前回調査と変わっていない。

性別で比較すると、女性の方が男性に比べて高い回答率を示すのは、「福祉サービスや利用施設を充実する」（女性 25%、男性 22%）、「高齢者介護などの支援を社会全体で支える気運を高める」（女性 19%、男性 14%）、「高齢者和其他の世代との異世代間交流を促進する」（女性 12%、男性 9%）等に対し、男性の方が女性に比べて高い回答率を示すのは、「就業機会や働く場を確保する」（男性 16%、女性 13%）となっている。

年齢別では、「福祉サービスや利用施設を充実する」と回答した人の割合が 50 代・60 代で低いのに対して、それ以外の年齢では高くなっている。また、「就業機会や働く場を確保する」と回答した人の割合が低い世代は 70 代と 20 歳未満であるのに対し、そのほかの年代では一様に高くなっている。「保健・医療サービスを充実する」と回答した人が低い世代は 20 代・30 代でありその他の世代は一様に高くなっている。

(7) 障がいのある人に関する人権上の問題点

問 4(1) あなたは障がいのある人に関して、現在どのような人権上の問題があると思われるですか。3 つまで選んでください。

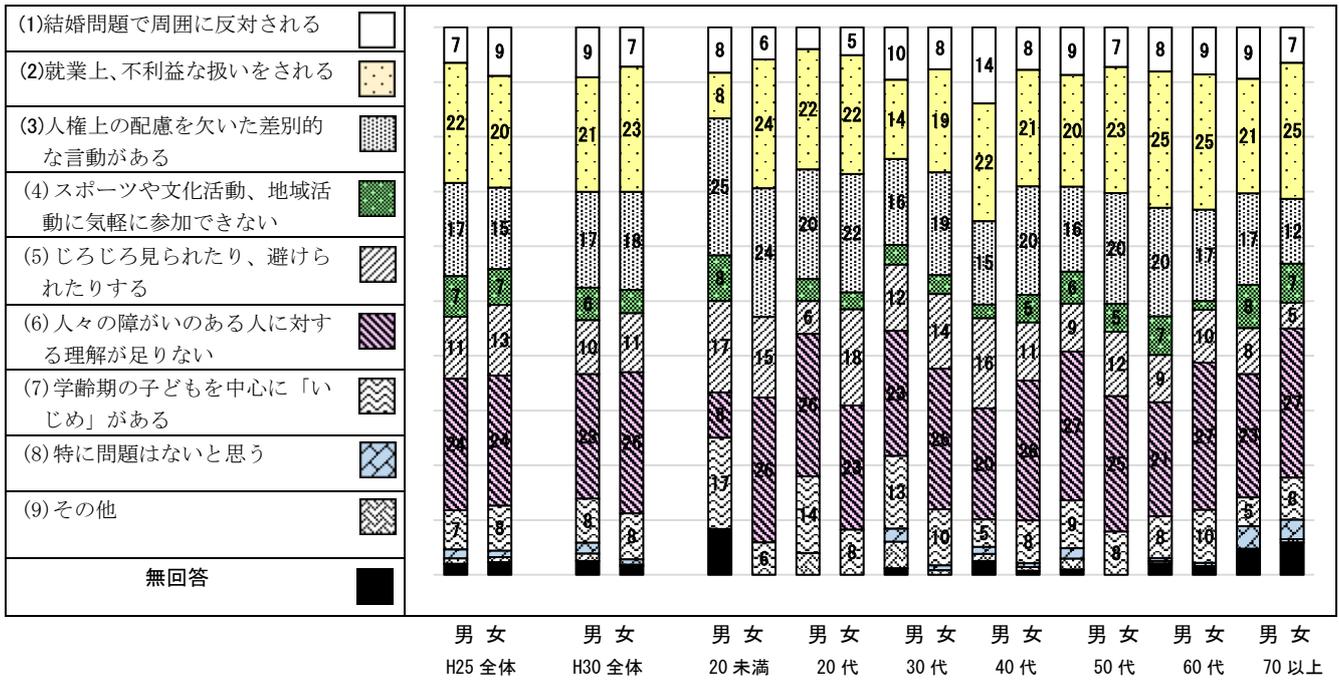
表 4-7 障がいのある人に関する人権上の問題点

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)結婚問題で周囲に反対される	133	8	66	9	67	7	0	0
(2)就業上、不利益な扱いをされる	364	22	151	21	212	23	1	25
(3)人権上の配慮を欠いた差別的な言動がある	293	18	126	17	166	18	1	25
(4)スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない	82	5	43	6	39	4	0	0
(5)じろじろ見られたり、避けられたりする	171	10	71	10	100	11	0	0
(6)人々の障がいのある人に対する理解が足りない	404	24	164	23	239	26	1	25
(7)学齢期の子どもを中心に「いじめ」がある	136	8	58	8	78	8	0	0
(8)特に問題はないと思う	24	1	14	2	9	1	1	25
(9)その他	13	1	10	1	3	0	0	0
無回答	32	2	18	2	14	2	0	0
計	1652	100	721	100	927	100	4	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)結婚問題で周囲に反対される	3	7	7	5	17	9	22	10
(2)就業上、不利益な扱いをされる	9	20	32	22	34	17	47	21
(3)人権上の配慮を欠いた差別的な言動がある	11	24	31	21	35	18	40	18
(4)スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない	1	2	5	3	7	4	9	4
(5)じろじろ見られたり、避けられたりする	7	15	20	14	26	13	28	13
(6)人々の障がいのある人に対する理解が足りない	10	22	35	24	49	25	52	24
(7)学齢期の子どもを中心に「いじめ」がある	4	9	15	10	23	12	15	7
(8)特に問題はないと思う	0	0	0	0	3	2	2	1
(9)その他	0	0	2	1	5	3	2	1
無回答	1	2	0	0	1	1	3	1
計	46	100	147	100	200	100	220	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)結婚問題で周囲に反対される	22	8	32	8	29	8	1	9
(2)就業上、不利益な扱いをされる	62	22	95	25	83	23	2	18
(3)人権上の配慮を欠いた差別的な言動がある	52	19	70	18	53	15	1	9
(4)スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない	15	5	17	4	27	7	1	9
(5)じろじろ見られたり、避けられたりする	30	11	35	9	24	7	1	9
(6)人々の障がいのある人に対する理解が足りない	72	26	91	24	90	25	5	45
(7)学齢期の子どもを中心に「いじめ」がある	23	8	33	9	23	6	0	0
(8)特に問題はないと思う	2	1	3	1	14	4	0	0
(9)その他	2	1	1	0	1	0	0	0
無回答	1	0	7	2	19	5	0	0
計	281	100	384	100	363	100	11	100

図 4-7

単位：%



障がいのある人に関する人権問題について、「人々の障がいのある人に対する理解が足りない」「就業上、不利益な扱いをされる」がともに約 20%

障がいのある人に関し、どのような人権上の問題が起きているかについて、「人々の障がいのある人に対する理解が足りない」と回答した人の割合が 24%（前回 24%）と最も高く、次いで「就業上、不利益な扱いをされる」（22%）（前回 21%）、「人権上の配慮を欠いた差別的な言動がある」（18%）（前回 16%）の順となっている。

性別では、「人々の障がいのある人に対する理解が足りない」と回答した人の割合で、女性が 26%であるのに対し男性は 23%となっている。

「人々の障がいのある人に対する理解が足りない」と回答した人の割合は、年齢が高くなるにつれて高くなっている。また、「就業上、不利益な扱いをされる」と回答した 50～59 歳の人の割合は、他の年齢層と比較して、25.3%と高くなっている。

年齢別では、「人権上の配慮を欠いた差別的な言動がある」と回答した人の年齢が高くなると割合は低くなり、また、多くはないが「じろじろ見られたり、避けられたりする」と回答した人は、年齢が高くなると割合は低くなる。

(8) 障がいのある人の人権を尊重するために必要な方策

問 4(2) 障がいのある人の人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。3つまで選んでください。

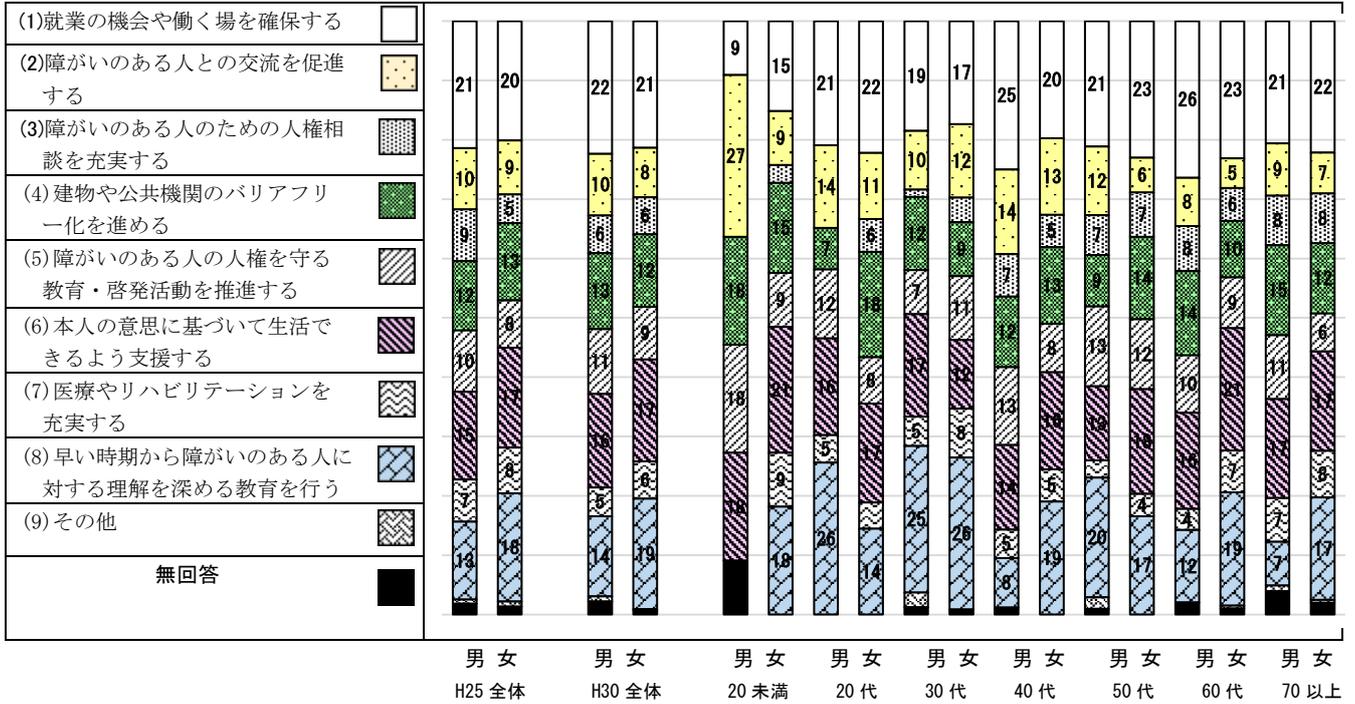
表 4-8 障がいのある人の人権を尊重するために必要な方策

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)就業の機会や働く場を確保する	374	22	163	22	211	21	0	0
(2)障がいのある人との交流を促進する	159	9	76	10	82	8	1	17
(3)障がいのある人のための人権相談を充実する	107	6	46	6	61	6	0	0
(4)建物や公共機関のバリアフリー化を進める	214	12	93	13	120	12	1	17
(5)障がいのある人の人権を守る教育・啓発活動を推進する	166	10	79	11	87	9	0	0
(6)本人の意思に基づいて生活できるよう支援する	288	17	117	16	170	17	1	17
(7)医療やリハビリテーションを充実する	101	6	36	5	63	6	2	33
(8)早い時期から障がいのある人に対する理解を深める教育を行う	281	16	98	13	182	18	1	17
(9)その他	8	0	6	1	2	0	0	0
無回答	23	1	16	2	7	1	0	0
計	1721	100	730	100	985	100	6	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)就業の機会や働く場を確保する	6	14	29	22	36	18	50	22
(2)障がいのある人との交流を促進する	6	14	16	12	23	11	31	13
(3)障がいのある人のための人権相談を充実する	1	2	5	4	6	3	14	6
(4)建物や公共機関のバリアフリー化を進める	7	16	19	14	21	10	29	13
(5)障がいのある人の人権を守る教育・啓発活動を推進する	5	11	12	9	19	9	23	10
(6)本人の意思に基づいて生活できるよう支援する	9	20	22	17	28	14	36	16
(7)医療やリハビリテーションを充実する	3	7	6	5	14	7	12	5
(8)早い時期から障がいのある人に対する理解を深める教育を行う	6	14	24	18	51	25	35	15
(9)その他	0	0	0	0	2	1	0	0
無回答	1	2	0	0	2	1	1	0
計	44	100	133	100	202	100	231	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)就業の機会や働く場を確保する	65	22	98	25	87	21	3	27
(2)障がいのある人との交流を促進する	23	8	26	7	33	8	1	9
(3)障がいのある人のための人権相談を充実する	21	7	26	7	34	8	0	0
(4)建物や公共機関のバリアフリー化を進める	35	12	48	12	55	13	0	0
(5)障がいのある人の人権を守る教育・啓発活動を推進する	36	12	36	9	35	9	0	0
(6)本人の意思に基づいて生活できるよう支援する	46	16	74	19	68	17	5	45
(7)医療やリハビリテーションを充実する	10	3	22	6	32	8	2	18
(8)早い時期から障がいのある人に対する理解を深める教育を行う	52	18	62	16	51	12	0	0
(9)その他	2	1	1	0	3	1	0	0
無回答	1	0	6	2	12	3	0	0
計	291	100	399	100	410	100	11	100

図 4-8

単位：%



障がいのある人の人権を尊重するために必要なことについて、「就業の機会や働く場を確保する」が22%

障がいのある人の人権を尊重するために必要なことについて、「就業の機会や働く場を確保する」と回答した人の割合は22%（前回21%）と最も高く、次いで「本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」（17%）（前回16%）、「早い時期から障がいのある人に対する理解を深める教育を行う」（16%）（前回16%）の順となっており、この傾向は前回調査と変わらない。

性別で比較すると、女性が「早い時期から障がいのある人に対する理解を深める教育を行う」と回答した人の割合は19%であり、男性の14%と比べて高くなっている。

年齢別で比較すると、30代で「早い時期から障がいのある人に対する理解を深める教育を行う」と回答した人が25%と高くなっていたが、前回調査でも30代で回答した人の割合は21%と高くなっていたことは特徴的である。「障がいのある人との交流を促進する」と回答した人は、年齢が高くなるにつれ回答率が低くなっている。

(9) 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

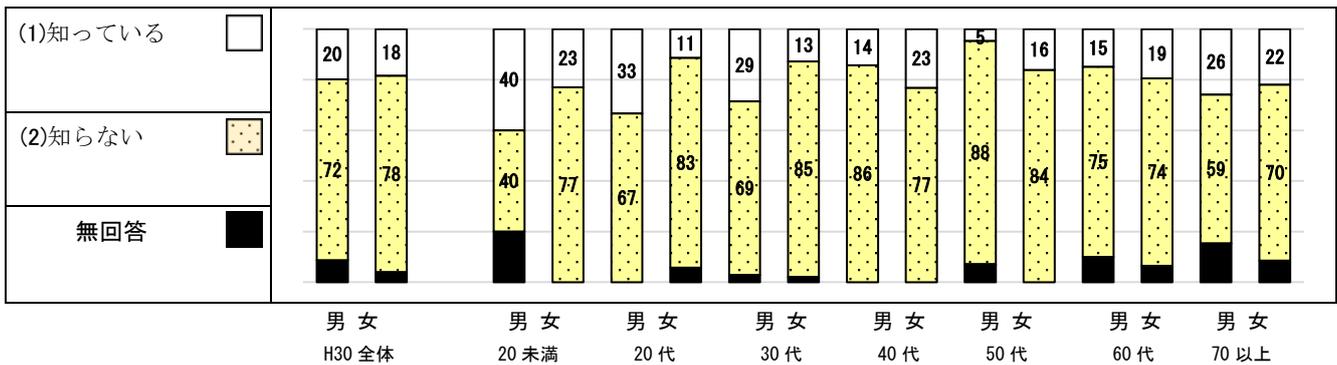
問 4(3) 平成 28 年 4 月 1 日に、障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）が施行されたことを知っていますか。

表 4-9 障害者差別解消法の周知度 単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)知っている	133	19	61	20	71	18	1	50
(2)知らない	518	75	218	71	300	78	0	0
無回答	43	6	27	9	15	4	1	50
計	694	100	306	100	386	100	2	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)知っている	5	28	11	20	16	20	18	20
(2)知らない	12	67	43	77	64	78	73	80
無回答	1	6	2	4	2	2	0	0
計	18	100	56	100	82	100	91	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)知っている	14	12	27	17	41	24	1	20
(2)知らない	99	85	117	74	107	64	3	60
無回答	3	3	14	9	20	12	1	20
計	116	100	158	100	168	100	5	100

図 4-9

単位：%



障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）が施行されたことを知っている人は 19%

障害者差別解消法が施行されたことを知っている人は 19%であった。

全体的には性別の差はないが、年齢別に見ると男性が多い 20 歳未満・20 代・30 代、女性が多い 40 代から 60 代と様々である。ただ、85%の人が「知らない」と回答した 50 代がピークになっている。

(10) 同和問題に関する人権上の問題点

問 5(1) あなたは同和問題に関して、現在どのような人権上の問題があると思われますか。 3つまで選んでください。

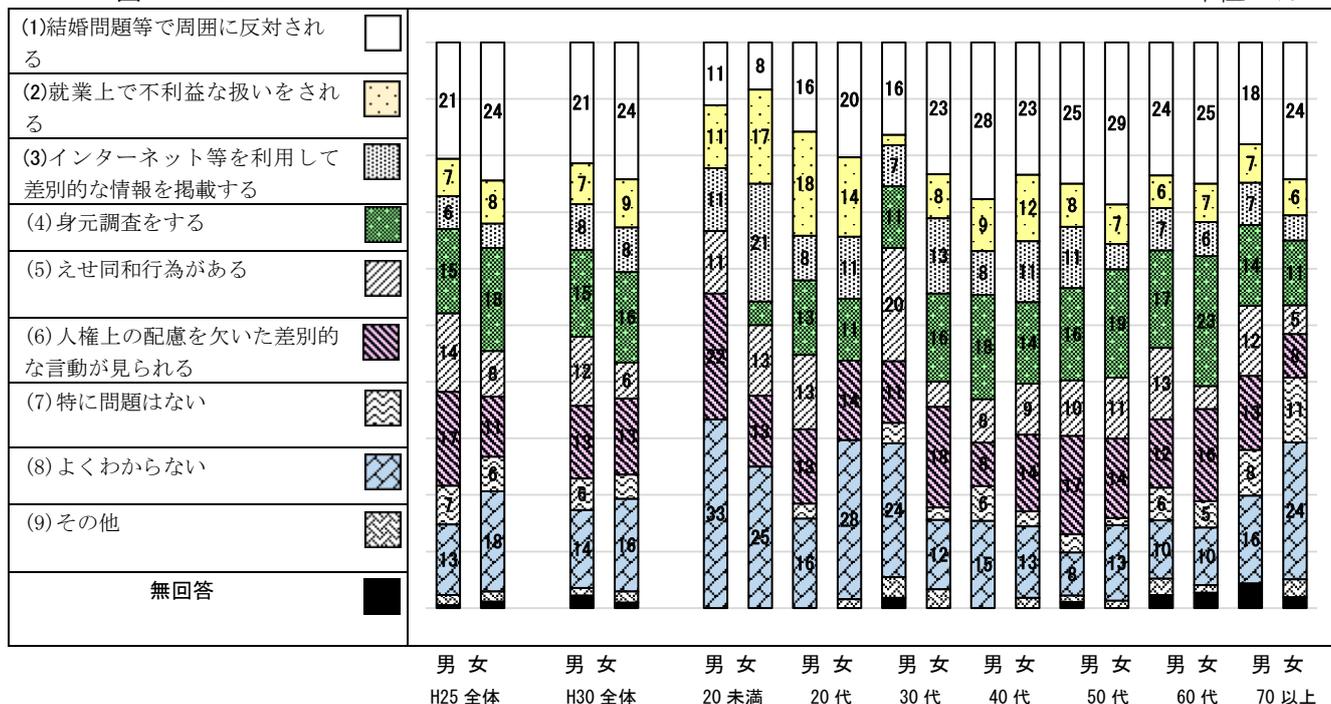
表 4-10 同和問題に関する人権上の問題点

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)結婚問題等で周囲に反対される	311	23	128	21	182	24	1	25
(2)就業上で不利益な扱いをされる	107	8	43	7	64	8	0	0
(3)インターネット等を利用して差別的な情報を掲載する	107	8	48	8	59	8	0	0
(4)身元調査をする	213	16	92	15	120	16	1	25
(5)えせ同和行為がある	122	9	74	12	48	6	0	0
(6)人権上の配慮を欠いた差別的な言動が見られる	178	13	76	13	101	13	1	25
(7)特に問題はない	65	5	33	6	32	4	0	0
(8)よくわからない	210	15	84	14	125	17	1	25
(9)その他	23	2	8	1	15	2	0	0
無回答	20	1	13	2	7	1	0	0
計	1356	100	599	100	753	100	4	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)結婚問題等で周囲に反対される	3	9	19	19	30	21	44	25
(2)就業上で不利益な扱いをされる	5	15	16	16	8	6	19	11
(3)インターネット等を利用して差別的な情報を掲載する	6	18	10	10	16	11	17	10
(4)身元調査をする	1	3	12	12	20	14	28	16
(5)えせ同和行為がある	4	12	5	5	15	10	15	9
(6)人権上の配慮を欠いた差別的な言動が見られる	5	15	14	14	22	15	20	11
(7)特に問題はない	0	0	1	1	4	3	7	4
(8)よくわからない	9	27	24	24	24	17	24	14
(9)その他	0	0	1	1	5	3	2	1
無回答	0	0	0	0	1	1	0	0
計	33	100	102	100	145	100	176	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)結婚問題等で周囲に反対される	68	27	78	24	68	21	1	14
(2)就業上で不利益な扱いをされる	18	7	20	6	21	7	0	0
(3)インターネット等を利用して差別的な情報を掲載する	17	7	22	7	19	6	0	0
(4)身元調査をする	45	18	64	20	42	13	1	14
(5)えせ同和行為がある	26	10	28	9	28	9	1	14
(6)人権上の配慮を欠いた差別的な言動が見られる	38	15	45	14	34	11	0	0
(7)特に問題はない	5	2	17	5	31	10	0	0
(8)よくわからない	28	11	34	11	63	20	4	57
(9)その他	3	1	7	2	5	2	0	0
無回答	1	0	8	2	10	3	0	0
計	249	100	323	100	321	100	7	100

図 4-10

単位：％



同和問題に関する人権問題について、「結婚問題で周囲に反対される」が23%

同和問題に関し、どのような問題が起きているかについて、「結婚問題等で周囲に反対される」と回答した人の割合は23%（前回23%）と最も高く、次いで「身元調査をする」（16%）（前回17%）、「よくわからない」（15%）（前回15%）の順となっている。これは前回調査と同様の傾向になっている。

性別で比較すると、女性の方が「結婚問題等で周囲に反対される」（24%）（前回24%）、「よくわからない」（17%）（前回18%）と回答した人の割合は、男性の21%、14%（前回21%、13%）と比べて高くなっている。また、男性の方が「えせ同和行為がある」（12%）（前回14%）と回答した人の割合は、女性の6%（前回8%）と比べて高くなっている。

年齢別で比較すると、「結婚問題等で周囲に反対される」と回答した人の割合は50代で27%、「身元調査をする」では60代で20%と最も高くなっており、それぞれ山形の分布になっている。また、「就業上で不利益な扱いをされる」「インターネット等を利用して差別的な情報を掲載する」「よくわからない」と回答した人の割合は、年齢の低い年代が高くなっている。

(11) 同和問題を解決するために必要な方策

問5(2) 同和問題を解決するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

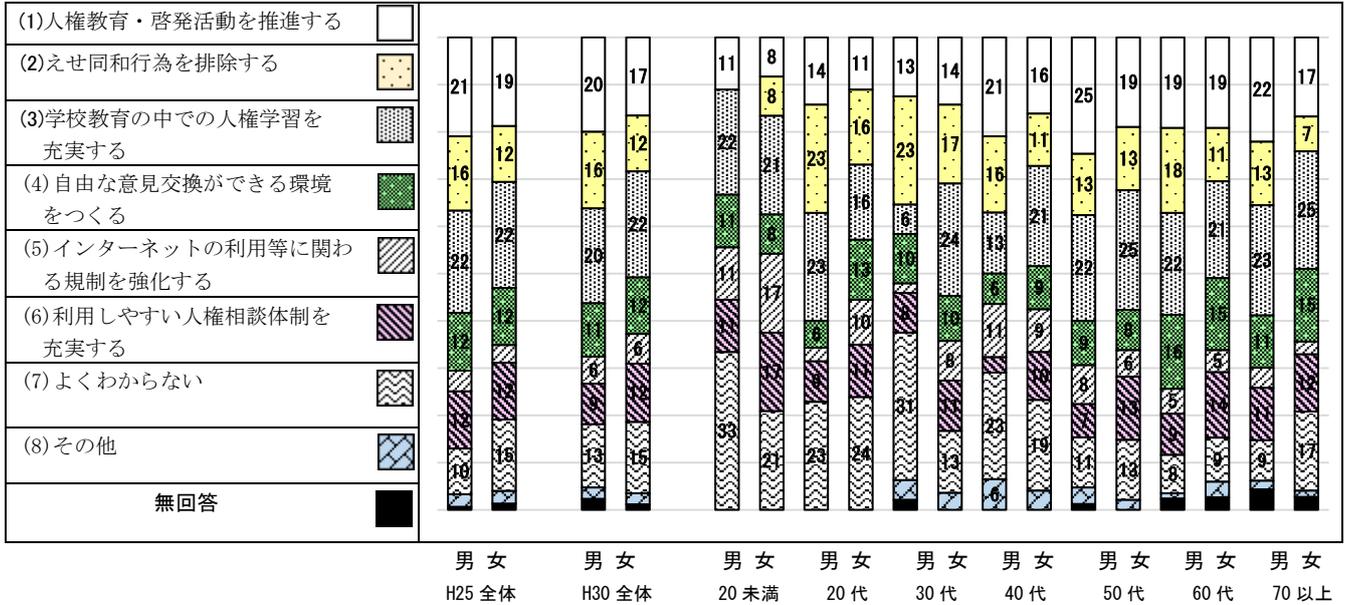
表4-11 同和問題を解決するために必要な方策

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
	人	%	人	%	人	%	人	%
(1)人権教育・啓発活動を推進する	235	18	116	20	118	17	1	25
(2)えせ同和行為を排除する	178	14	94	16	84	12	0	0
(3)学校教育中での人権学習を充実する	276	21	115	20	160	22	1	25
(4)自由な意見交換ができる環境をつくる	152	12	66	11	85	12	1	25
(5)インターネットの利用等に関わる規制を強化する	78	6	33	6	45	6	0	0
(6)利用しやすい人権相談体制を充実する	137	11	49	8	88	12	0	0
(7)よくわからない	189	15	79	14	109	15	1	25
(8)その他	31	2	14	2	17	2	0	0
無回答	21	2	13	2	8	1	0	0
計	1297	100	579	100	714	100	4	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)人権教育・啓発活動を推進する	3	9	12	12	18	14	29	18
(2)えせ同和行為を排除する	2	6	18	18	25	19	21	13
(3)学校教育中での人権学習を充実する	7	21	18	18	23	17	29	18
(4)自由な意見交換ができる環境をつくる	3	9	10	10	13	10	13	8
(5)インターネットの利用等に関わる規制を強化する	5	15	7	7	8	6	16	10
(6)利用しやすい人権相談体制を充実する	5	15	10	10	13	10	12	7
(7)よくわからない	8	24	23	23	26	20	33	20
(8)その他	0	0	0	0	5	4	8	5
無回答	0	0	0	0	1	1	0	0
計	33	100	98	100	132	100	161	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)人権教育・啓発活動を推進する	48	21	62	19	62	20	1	14
(2)えせ同和行為を排除する	30	13	48	15	33	10	1	14
(3)学校教育中での人権学習を充実する	55	24	68	21	76	24	0	0
(4)自由な意見交換ができる環境をつくる	20	9	50	15	42	13	1	14
(5)インターネットの利用等に関わる規制を強化する	15	7	16	5	11	3	0	0
(6)利用しやすい人権相談体制を充実する	25	11	36	11	36	11	0	0
(7)よくわからない	27	12	29	9	39	12	4	57
(8)その他	6	3	7	2	5	2	0	0
無回答	1	0	8	2	11	3	0	0
計	227	100	324	100	315	100	7	100

図 4-1 1

単位：%



同和問題を解決するために必要なことについて、「学校教育中での人権学習を充実する」、「人権教育・啓発活動を推進する」がともに約 20%

同和問題を解決するために必要なことについて、「学校教育中での人権学習を充実する」と回答した人の割合は21%（前回22%）と最も高く、次いで「人権教育・啓発活動を推進する」（18%）（前回20%）、「よくわからない」（15%）（前回13%）、「えせ同和行為を排除する」（14%）（前回14%）の順となっている。これは前回調査とほぼ同様の傾向になっているが、「よくわからない」と回答した人が多くなっている。

性別で比較すると、「えせ同和行為を排除する」（男性20%、女性17%）「人権教育・啓発活動を推進する」（男性16%、女性12%）と男性の方が女性に比べて回答率は高くなっている。

年齢別で比較すると、「よくわからない」と回答した人は年齢が低いほど高くなっている。反対に「人権教育・啓発活動を推進する」と回答した人は年齢が高いほど高くなっている。

(12) 性的少数者に関しての人権問題

問6(1) あなたは性的指向および性同一性障害のある人の人権に関しどのような問題が起きていると思いますか。 3つまで選んでください。

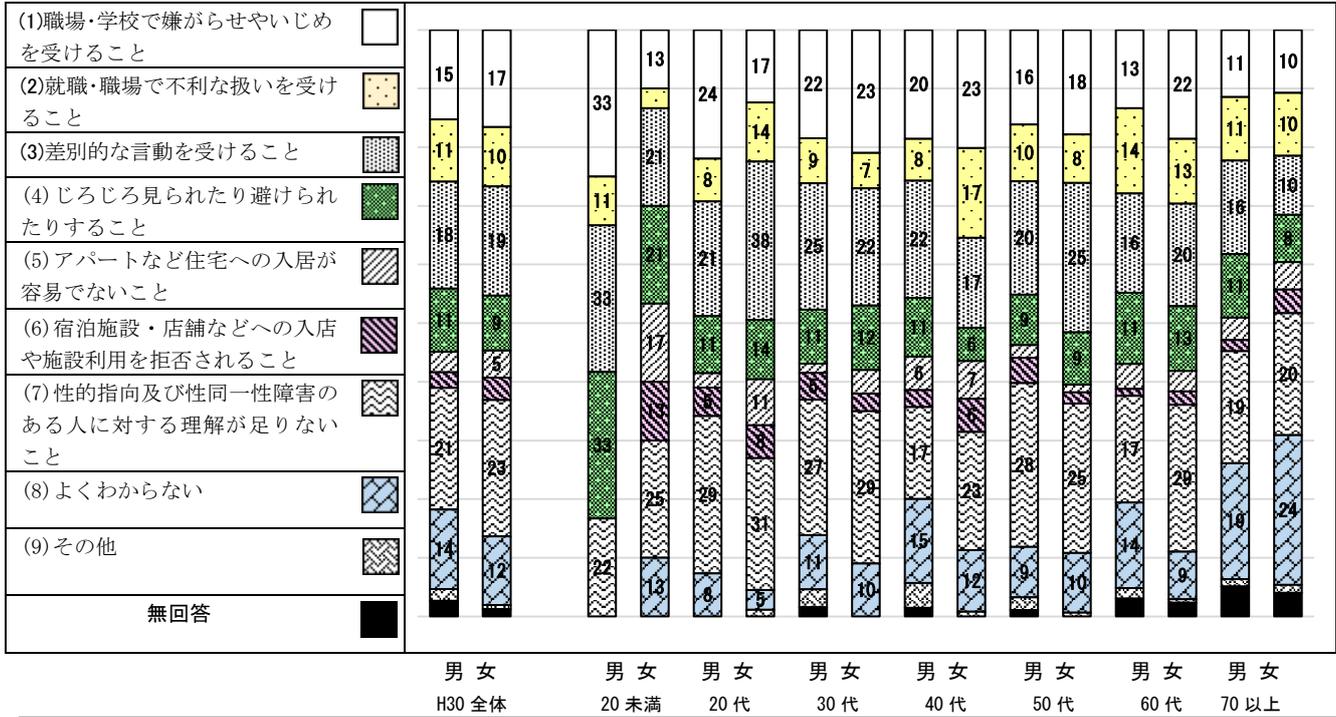
表4-12 性的少数者に関しての人権問題

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)職場・学校で嫌がらせやいじめを受けること	230	16	92	15	137	17	1	25
(2)就職・職場で不利な扱いを受けること	149	10	65	11	84	10	0	0
(3)差別的な言動を受けること	266	19	112	18	153	19	1	25
(4)じろじろ見られたり避けられたりすること	142	10	65	11	77	9	0	0
(5)アパートなど住宅への入居が容易でないこと	59	4	21	3	38	5	0	0
(6)宿泊施設・店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	47	3	16	3	31	4	0	0
(7)性的指向及び性同一性障害のある人に対する理解が足りないこと	320	22	126	21	193	23	1	25
(8)よくわからない	180	13	83	14	96	12	1	25
(9)その他	18	1	12	2	6	1	0	0
無回答	26	2	16	3	10	1	0	0
計	1437	100	608	100	825	100	4	100
年齢別	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳	
(1)職場・学校で嫌がらせやいじめを受けること	6	14	20	15	33	20	38	20
(2)就職・職場で不利な扱いを受けること	2	5	12	9	11	7	24	12
(3)差別的な言動を受けること	8	19	32	25	34	21	33	17
(4)じろじろ見られたり避けられたりすること	8	19	13	10	17	10	14	7
(5)アパートなど住宅への入居が容易でないこと	4	10	8	6	5	3	12	6
(6)宿泊施設・店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	3	7	7	5	6	4	9	5
(7)性的指向及び性同一性障害のある人に対する理解が足りないこと	8	19	31	24	41	25	36	19
(8)よくわからない	3	7	6	5	15	9	23	12
(9)その他	0	0	1	1	2	1	4	2
無回答	0	0	0	0	1	1	1	1
計	42	100	130	100	165	100	194	100
年齢別	50-59歳		60-69歳		70歳以上		年齢不明	
(1)職場・学校で嫌がらせやいじめを受けること	43	17	54	16	35	11	1	11
(2)就職・職場で不利な扱いを受けること	22	9	43	13	33	11	2	22
(3)差別的な言動を受けること	58	23	58	17	41	13	2	22
(4)じろじろ見られたり避けられたりすること	22	9	39	12	29	9	0	0
(5)アパートなど住宅への入居が容易でないこと	4	2	13	4	13	4	0	0
(6)宿泊施設・店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	7	3	6	2	9	3	0	0
(7)性的指向及び性同一性障害のある人に対する理解が足りないこと	66	26	73	22	62	20	3	33
(8)よくわからない	24	10	39	12	69	22	1	11
(9)その他	3	1	4	1	4	1	0	0
無回答	1	0	9	3	14	5	0	0
計	250	100	338	100	309	100	9	100

図 4-1 2

単位：％



性的指向および性同一性障害のある人の人権問題について、「性的指向及び性同一性障害のある人に対する理解が足りないこと」「差別的な言動を受けること」がともに約 20%

性的少数者に関し、どのような問題が起きているかについて、「性的指向及び性同一性障害のある人に対する理解が足りないこと」と回答した人の割合は 22%と最も高く、次いで「差別的な言動を受けること」(19%)、「職場・学校で嫌がらせやいじめを受けること」(16%)の順となっている。

性別では、特徴的な違いはない。

年齢別で比較すると、「よくわからない」と回答した人の割合は、年齢の高い年代が高くなっている。反対に「差別的な言動を受けること」と回答した人の割合は、年齢の高い年代が低くなっている。「性的指向及び性同一性障害のある人に対する理解が足りないこと」と回答した人は、ほぼどの年代でも高くなっている。「職場・学校で嫌がらせやいじめを受けること」と回答した人の割合は、台地状態になっている。

(13) インターネットに関して

問7(1) あなたは、インターネット上で、人権に関しどのような問題が起きていると思いますか。 3つまで選んでください。

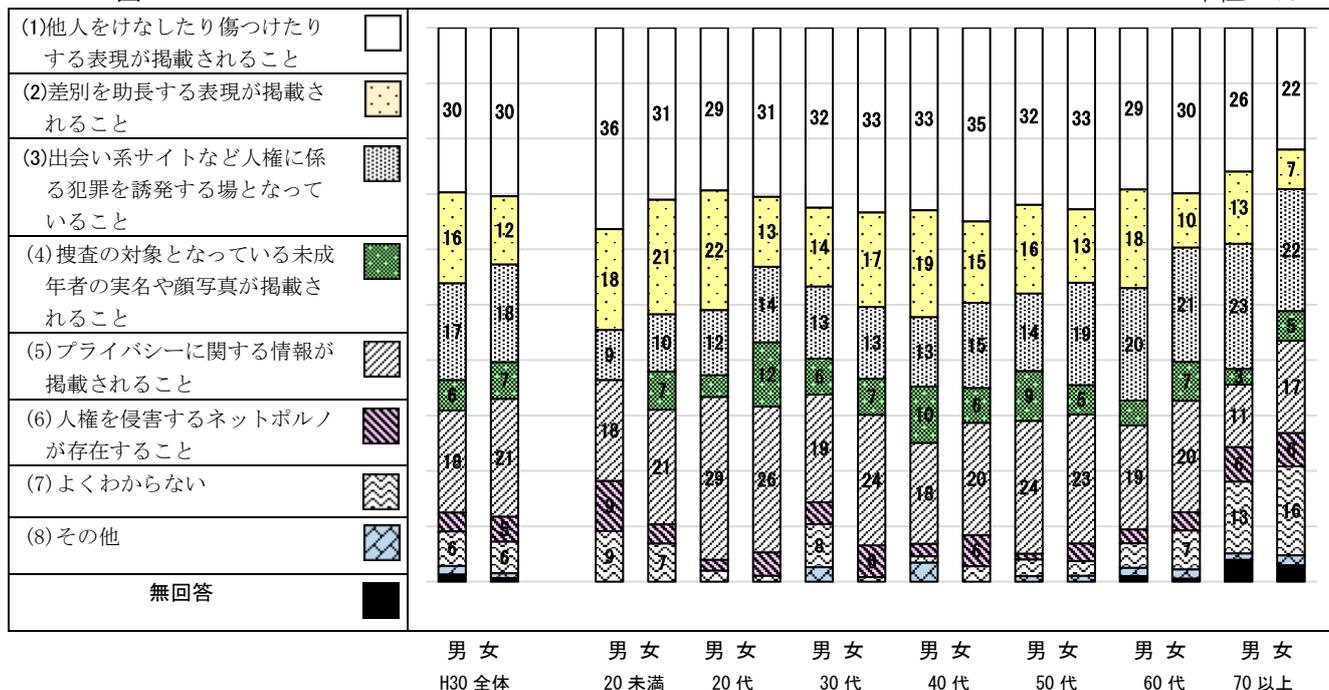
表4-13 インターネット上での人権問題

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)他人をけなしたり傷つけたりする表現が掲載されること	498	30	213	30	284	30	1	25
(2)差別を助長する表現が掲載されること	232	14	116	16	115	12	1	25
(3)出会い系サイトなど人権に係る犯罪を誘発する場となっていること	289	17	124	17	164	18	1	25
(4)捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	103	6	40	6	63	7	0	0
(5)プライバシーに関する情報が掲載されること	332	20	132	18	199	21	1	25
(6)人権を侵害するネットポルノが存在すること	68	4	25	4	43	5	0	0
(7)よくわからない	97	6	44	6	53	6	0	0
(8)その他	19	1	11	2	8	1	0	0
無回答	15	1	9	1	6	1	0	0
計	1653	100	714	100	935	100	4	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)他人をけなしたり傷つけたりする表現が掲載されること	13	33	44	30	66	33	79	34
(2)差別を助長する表現が掲載されること	8	20	23	16	32	16	38	16
(3)出会い系サイトなど人権に係る犯罪を誘発する場となっていること	4	10	19	13	26	13	33	14
(4)捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	2	5	13	9	13	7	18	8
(5)プライバシーに関する情報が掲載されること	8	20	40	27	44	22	45	19
(6)人権を侵害するネットポルノが存在すること	2	5	5	3	10	5	10	4
(7)よくわからない	3	8	2	1	7	4	5	2
(8)その他	0	0	0	0	2	1	3	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	40	100	146	100	200	100	231	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)他人をけなしたり傷つけたりする表現が掲載されること	94	33	114	29	84	24	4	33
(2)差別を助長する表現が掲載されること	41	14	54	14	36	10	0	0
(3)出会い系サイトなど人権に係る犯罪を誘発する場となっていること	49	17	80	21	77	22	1	8
(4)捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	19	7	22	6	14	4	2	17
(5)プライバシーに関する情報が掲載されること	68	24	75	19	49	14	3	25
(6)人権を侵害するネットポルノが存在すること	7	2	11	3	21	6	2	17
(7)よくわからない	8	3	22	6	50	14	0	0
(8)その他	3	1	6	2	5	1	0	0
無回答	0	0	3	1	12	3	0	0
計	289	100	387	100	348	100	12	100

図 4-1 3

単位：％



インターネット上での人権問題について、「他人をけなしたり傷つけたりする表現が掲載されること」が30%

インターネット上での人権問題に関し、どのような問題が起きているかについて、「他人をけなしたり傷つけたりする表現が掲載されること」と回答した人の割合は30%と最も高く、次いで「プライバシーに関する情報が掲載されること」(20%)、「出会い系サイトなど人権に係る犯罪を誘発する場となっていること」(17%)の順となっている。

性別では、「差別を助長する表現が掲載されること」と回答した人の割合は、男性が16%と女性の12%よりも高くなっている。反対に、「プライバシーに関する情報が掲載されること」と回答した人の割合は、男性が18%と女性の21%よりも低くなっている。

年齢別で比較すると、「他人をけなしたり傷つけたりする表現が掲載されること」と回答した人の割合は、全般的に高いが、60代以上の年齢の高い年代は若干低くなっている。「差別を助長する表現が掲載されること」と回答した人の割合は、年齢の高い年代になるにしたがって、低くなっている。反対に「差別的な言動を受けること」と回答した人の割合は、年齢の高い年代が低くなっている。

5 その他

その他(人権に関わる意見・感想があれば記述してください。)

人権に関する意見・感想を自由回答方式で聞いた結果をまとめると、212名(30.5%)が、なんらかの意見・感想を述べている。前回調査の125名(14.2%)に比べ倍増している。「人権教育・啓発の基盤に関する意見」をはじめとして、「社会の人権状況に関する意見」「人権教育・啓発のあり方及びその進め方に関する意見」「様々な人権課題に関する意見」「人権に関する意識調査票に関する意見や感想」など、多岐にわたっている。比較的まとまったテーマごとに複数回答を列記すると、以下のとおりである。

※()の数字は、件数

■人権教育・啓発の基盤に関する意見

「心豊かに育てるには、地域や家庭での大人と子どもとの話し合いが一番」(6)

「皆仲良く明るい社会であることを望んでいる」(4)

「粘り強く教育・啓発活動を推進すること」(4)

「自分のことを認めるとともに、周囲の人ともつながり、受容することが重要」(3)

■社会の人権状況に関する意見や感想

「国や県、市の政治や教育に携わる人、行政職員は、人権感覚を磨いてほしい」(5)

「社会自体が、差別を助長している」(3)

「労働基準法に背くような労働条件で働かせている企業への処分の強化」(2)

「子どものいじめ問題は、腹立たしい」(2)

「地域の閉鎖的な人間関係に苦慮している。相手の立場に立つ大切さを、広報してほしい」(2)

「上からの目線で言われたり、人の価値を肩書きや成績などで見られたりしているなど感じる時がある」(2)

「身内の者が被差別者と関わろうとすると、急に態度が変わったり、見栄でボランティアをしたりするのは、根強い問題」(2)

■人権教育・啓発のあり方及びその進め方に関する意見や感想

「他人を愛したり、認めたりする力を身につけさせる。まず、行政や教育職員が率先して実践すること」(8)

「教育・啓発活動は、慎重に取り組んでいただきたい」(6)

「幼児の頃から学んでいないと、偏見はなくせない」(4)

「正しい情報を多く与えることが、差別解消の条件」(2)

「義務や責任の大切さも、もっと啓発すべき」(2)

「交流形式の研修が、より有意義」(2)

■様々な人権課題に関する意見や感想

●「女性」について

「男女平等の権利はあっても、役割分担の違いはあってよい」(2)

●「子ども」について

「子どものいじめの問題は、人の命に関わる課題として早急に対応し、最悪の事態を防ぐべき」(5)

「不登校、非行、学力低下などを心配している。家庭や教員は、しっかりと子どもと向き合って対話することが大切だ」(2)

● 「障がいのある人」について

「発達障がいのように、見えにくい障がいに対して、周囲の理解が必要」(2)

「交流しやすい環境づくりを希望する」(2)

● 「同和問題」について

「逆差別をなくしたい」(3)

「同和問題は、それを知らせるから差別や偏見が生まれてくると思う」(3)

「高齢者の意識改革が重要」(2)

「啓発映画を鑑賞し、涙がこぼれた。真剣に取り組む担当者の活躍に期待したい」(2)

● 「インターネットによる人権侵害」について

「インターネットによる人権を尊重しない書き込みの多いことに心配」(3)

■ 人権に関する意識調査票記述中の意見や感想

「改めて人権について考えようと思った」(6)

「弱い立場の人を助けるために、結果を有効活用してほしい」(2)

人権に関する意識調査票

【回答上の注意点】

- ※ 回答は、調査票の番号を○印で囲んでください。
- ※ 質問により、回答していただく内容が異なりますのでご注意ください。
- ※ 「3つまで選んでください」とは、（1つ、2つの回答でもよい。）
- ※ 「3つ選んでください」とは、（必ず3つ選んでください。）

I 属性について

問1 あなたの性別は

- | | |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

問2 あなたの年齢は

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 |
| 4 40～49歳 | 5 50～59歳 | 6 60～69歳 |
| 7 70歳以上 | | |

II 人権全般に対する意識について

問1 あなたは、基本的な人権は侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されていることを知っていますか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問2 今の社会は、「人権」が尊重されている社会だと思いますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問3 あなたは、「人権」について、ふだんどのように思っていますか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 非常に大切なことだと思っている | 2 大切だと思っている |
| 3 あまり意識していない | 4 自分には関わりがないと思っている |
| 5 よくわからない | |

問4 子どもたちが支える未来は、「人権」が尊重される明るい社会になっていくと思いますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問5 差別や偏見はなくなるとよく言われますが、どう思いますか。

- 1 なくなっていくと思う
- 2 学習することによってなくなっていくと思う
- 3 どちらかといえばなくなっていくと思う
- 4 なくなっていくと思う
- 5 その他 ()

問6 人権に関する学習をどう思いますか。

- 1 大切な学習なので関心がある
- 2 あまり関心はない
- 3 学習の必要性を感じない
- 4 よくわからない
- 5 その他 ()

問7 今まで学習してきた人権学習を通じて、あなた自身に何か変化がありましたか。
該当するものすべてを選んでください。

- 1 自分が大切であると同時に他の人も大切であるとの思いが高まった
- 2 多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった
- 3 人の意見をしっかり聴けるようになった
- 4 社会の出来事に関心が向くようになった
- 5 日常生活において、人権の視点から考えることが多くなった
- 6 今後も継続して学習する必要があると思うようになった
- 7 あまり変化はなかった
- 8 人権に関する学習はあまりやっていない
- 9 よくわからない
- 10 その他 ()

問8 あなたの周りでは、個人の考え方や生き方が大切にされていると思いますか。

- 1 大切にされていると思う
- 2 どちらかといえば大切にされていると思う
- 3 どちらかといえば大切にされていないと思う
- 4 大切にされていないと思う
- 5 よくわからない
- 6 その他 ()

Ⅲ 人権問題への対応について

問1 次の人権課題について、あなたの関心がある人権問題は何ですか。

3つ選んでください。

1 女性	2 子ども
3 高齢者	4 障がいのある人
5 同和問題	6 外国人
7 ハンセン病問題	8 患者等（エイズ・H I V感染）
9 インターネットによる人権侵害	10 プライバシーの保護
11 消費者	12 犯罪被害者等
13 刑を終えて出所した人	14 性同一性障がいのある人
15 性的指向	16 帰国した中国残留邦人とその家族
17 ホームレス（路上生活者）	18 北朝鮮当局による拉致の問題
19 自殺対策	20 人身取引
21 アイヌの人々への偏見や差別	22 その他（ ）

※エイズ：ヒト免疫不全ウイルスに感染することによって、免疫機能が破壊される病気

※H I V感染：ヒト免疫不全ウイルスの感染者

※性同一性障がいのある人：「からだの性」と「こころの性」が合致せず苦悩している状態

※性的指向：性愛の対象が同性や両性に向かい、差別や偏見を受け精神的に不安定な状態

問2 あなたは差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか

1 感じたことがある 2 感じたことはない 3 よくわからない

問3 問2で「感じたことがある」と回答された方は、どのようなことで人権が侵害されたと感じましたか。該当するものをすべて選んでください。

1 あらぬ噂、他人からの悪口	2 名誉・信用のき損、侮辱
3 プライバシーの侵害	4 セクシュアル・ハラスメント
5 パワー・ハラスメント	6 ストーカー行為
7 警察官、公務員等による不当な扱い	8 地域などでの差別待遇
9 暴力・脅迫・強要など	10 インターネット等での悪質な書き込みや、嫌がらせ
11 労働強制や解雇等の不当の待遇	12 公共機関や社会福祉施設等での不当な扱い
13 なんとなく	14 その他（ ）

※セクシュアル・ハラスメント：相手の意に反して行なわれる性的な嫌がらせの言動

※パワー・ハラスメント：職務上の地位や権力を利用した嫌がらせ（身体的・精神的な苦痛）

問4 問2で「感じたことがある」と回答された方で、そのときあなたはどうされましたか。
該当するものをすべて選んでください。

- 1 友だち・同僚・家族などに相談した
- 2 職場の上司に相談した
- 3 公共機関（警察・市役所・法務局・県など）に相談した
- 4 人権擁護委員・民生委員・弁護士などに相談した
- 5 自分で抗議し処理（解決）した
- 6 何もしないで、がまんした
- 7 その他（)

問5 もし、あなたの人権が侵害された場合、どのような対応をしますか。
1つだけ選んでください。

- 1 自分で抗議し処理（解決）する
- 2 人に相談する
- 3 何もしないでがまんする
- 4 よくわからない
- 5 その他（)

問6 あなたは、他の人の人権を尊重していると思いますか。

- 1 尊重している
- 2 どちらかといえば尊重している
- 3 あまり尊重していない
- 4 尊重していない
- 5 その他（)

問7 あなたは、今までに、他の人の人権を侵害したことがあると思いますか。

- 1 ないと思う
- 2 自分では気づかなかったが、あるかもしれない
- 3 あると思う
- 4 よくわからない

問8 あなたは人権について、家族や知人と話すことがありますか。

- 1 よくある
- 2 たまにある
- 3 ほとんどない
- 4 ない

問9 人権問題の解決のために、どのような方策が有効だと思いますか。

3つ選んでください。

- 1 学校や地域における人権教育の充実
- 2 人権が侵害された場合の救済・支援の充実
- 3 人権課題に対する専門の相談機関の充実
- 4 教職員・行政など人権教育に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚
- 5 人権に関する情報の収集及び提供等の充実
- 6 人権意識を高めるための市民・企業などへの啓発の充実
- 7 その他（)

問7 市民一人ひとりの人権を尊重しあうために、心がけたり行動すべきことはどのようなことだと思いますか。 3つまで選んでください。

- 1 人権に対する正しい知識を身につけること
- 2 自分の生活している地域の人々を大切にすること
- 3 因習や誤った固定観念にとらわれないこと
- 4 自分の権利ばかりでなく、他人の権利を尊重すること
- 5 家庭内での話し合いやお互いの権利を大切にすること
- 6 職場で人権を尊重する意識を高めあうこと
- 7 地域活動等へ積極的に参加すること
- 8 その他 ()

V さまざまな人権課題の意識や考え方について

問1 女性に関して

(1) あなたは女性に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 男女の固定的な役割分担意識（男は仕事、女は家庭など）
- 2 職場における差別待遇（賃金、昇給、昇格、職種など）
- 3 痴漢やストーカーなど性的暴力
- 4 職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）
- 5 夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力（DV）
- 6 いわゆる「援助交際」を含む買春・売春
- 7 特に問題はないと思う
- 8 その他 ()

(2) 女性の人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 各種審議会など市の政策決定の場に女性をもっと多く登用する
- 2 学校教育・社会教育の中で男女平等などの教育を充実させる
- 3 働く場での男女格差をなくすよう企業等に働きかける
- 4 保育などの施設や制度を整え、安心して働けるようにする
- 5 女性のための各種相談業務を充実させる
- 6 健康対策や母性保護対策を進める
- 7 各種活動のリーダーとなる女性を養成する
- 8 男性への啓発活動を進める
- 9 その他 ()

問2 子どもに関して

- (1) あなたは子どもに関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 「仲間はずれ」や相手を「無視する」などのいじめの問題 |
| 2 親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題 |
| 3 子どもが学校に行けない不登校の問題 |
| 4 教職員等による体罰の問題 |
| 5 インターネットや携帯電話の利用上の問題 |
| 6 障がいのある子どもたちの学習環境の問題 |
| 7 児童買春や児童ポルノ等の性に関わる問題 |
| 8 特に問題はないと思う |
| 9 その他 () |

- (2) 子どもの人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 子どものための人権相談、カウンセリングを充実する |
| 2 子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する |
| 3 子どもにとって有害な環境を浄化する |
| 4 家庭教育に対する支援を充実する |
| 5 教員の人間性や資質を高める |
| 6 学校教育等で他人を思いやるなどの心を育てる教育を充実する |
| 7 子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身に付けさせる |
| 8 いじめや非行、虐待の早期発見や予防対策の充実に努める |
| 9 その他 () |

問3 高齢者に関して

- (1) あなたは高齢者に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 就業が困難であったり、賃金などの労働条件が不利に扱われる |
| 2 悪徳商法、振り込め詐欺被害 |
| 3 高齢者が暮らしやすい生活環境の問題 |
| 4 保健・福祉・医療サービスの充実 |
| 5 暴力をうけるなどの虐待 |
| 6 迷惑がられたり、中傷されたり、邪魔者扱いされる問題 |
| 7 経済的な保障が不十分（年金等）な問題 |
| 8 特に問題はないと思う |
| 9 その他 () |

(2) 高齢者の人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。

3つまで選んでください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 高齢者のための人権相談を充実する |
| 2 福祉サービスや利用施設を充実する |
| 3 就業機会や働く場を確保する |
| 4 高齢者と他の世代との異世代間交流を促進する |
| 5 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動を推進する |
| 6 保健・医療サービスを充実する |
| 7 高齢者介護などの支援を社会全体で支える気運を高める |
| 8 その他 () |

問4 障がいのある人に関して

(1) あなたは障がいのある人に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。

3つまで選んでください。

- | |
|----------------------------|
| 1 結婚問題で周囲に反対される |
| 2 就業上、不利益な扱いをされる |
| 3 人権上の配慮を欠いた差別的な言動がある |
| 4 スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない |
| 5 じろじろ見られたり、避けられたりする |
| 6 人々の障がいのある人に対する理解が足りない |
| 7 学齢期の子どもを中心に「いじめ」がある |
| 8 特に問題はないと思う |
| 9 その他 () |

(2) 障がいのある人の人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。

3つまで選んでください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 就業の機会や働く場を確保する |
| 2 障がいのある人との交流を促進する |
| 3 障がいのある人のための人権相談を充実する |
| 4 建物や公共機関のバリアフリー化を進める |
| 5 障がいのある人の人権を守る教育・啓発活動を推進する |
| 6 本人の意思に基づいて生活できるよう支援する |
| 7 医療やリハビリテーションを充実する |
| 8 早い時期から障がいのある人に対する理解を深める教育を行う |
| 9 その他 () |

(3) 平成28年4月1日に、障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）が施行されたことを知っていますか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問5 同和問題に関して

(1) あなたは同和問題に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

- | | | |
|---|--------------------------|---|
| 1 | 結婚問題等で周囲に反対される | |
| 2 | 就業上で不利益な扱いをされる | |
| 3 | インターネット等を利用して差別的な情報を掲載する | |
| 4 | 身元調査をする | |
| 5 | えせ同和行為がある | |
| 6 | 人権上の配慮を欠いた差別的な言動が見られる | |
| 7 | 特に問題はない | |
| 8 | よくわからない | |
| 9 | その他 (|) |

(2) 同和問題を解決するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

- | | | |
|---|------------------------|---|
| 1 | 人権教育・啓発活動を推進する | |
| 2 | えせ同和行為を排除する | |
| 3 | 学校教育中での人権学習を充実する | |
| 4 | 自由な意見交換ができる環境をつくる | |
| 5 | インターネットの利用等に関わる規制を強化する | |
| 6 | 利用しやすい人権相談体制を充実する | |
| 7 | よくわからない | |
| 8 | その他 (|) |

問6 性的少数者に関して

(1) あなたは性的指向および性同一性障害のある人の人権に関しどのような問題が起きていると思いますか。
3つまで選んでください。

- | | | |
|---|-------------------------------|---|
| 1 | 職場・学校で嫌がらせやいじめを受けること | |
| 2 | 就職・職場で不利な扱いを受けること | |
| 3 | 差別的な言動を受けること | |
| 4 | じろじろ見られたり避けられたりすること | |
| 5 | アパートなど住宅への入居が容易でないこと | |
| 6 | 宿泊施設・店舗などへの入店や施設利用を拒否されること | |
| 7 | 性的指向及び性同一性障害のある人に対する理解が足りないこと | |
| 8 | よくわからない | |
| 9 | その他 (|) |

